

三毛猫の二次創作妄想置き場

伝説の超三毛猫

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ここは、私・伝説の超三毛猫の創作物から生まれた妄想の倉庫です。お暇な方は見ていくください。

??注意??

以下の内容を含みます

- ・クロスオーバー
- ・見切り発車

・自作の小説知識持ち前提のデータ

特に自作品の知識は必須です。作者名から以下の作品をお調べください。

『きららファンタジア 魔法工学教師は八賢者』

<https://syosetu.org/novel/1809>

『まちカド暗黒神』

<https://syosetu.org/novel/2077>

『夢の中のバク先生』

<https://syosetu.org/novel/2358>

『一ノ瀬花名は表裏一体である』

<https://syosetu.org/novel/2347>

26/

『地学者真中あおの取材レポート』

https://syosetu.org/novel/2261

04/『Ghost Flowered』

https://syosetu.org/novel/3015

00/『伊地知さんちのおじいちゃん』

https://syosetu.org/novel/3047

26/『HENTAIの野望♪キヅオトス同人誌化珍道中♪』

https://syosetu.org/novel/3117

89/

目 次

きららファンタジア編

| | | |
|---------------------------------|----|----|
| ゲーム・きららファンタジア風ボイス集：白沢夢美 | —— | 1 |
| ゲーム・きららファンタジア風ボイス集：一ノ瀬カナ | —— | 6 |
| ゲーム・きららファンタジア風ボイス集：神原黒男 | —— | 10 |
| ゲーム・きららファンタジア風ボイス集：真中あお（地学者） | 14 | 1 |
| ゲーム・きららファンタジア風ボイス集：鴻上光生 | —— | 19 |
| クエスト・八賢者チャレンジクエストラッシュ！／ローリエ | 24 | —— |
| きらファン八賢者×モンストコラボ設定資料集 | —— | 29 |
| きらファン八賢者×モンストコラボ設定資料集② | —— | 40 |
| メダパニをとなえた！ ○○のあたまはこんらんした！ | 58 | 58 |
| シャドウバース×きらファン八賢者カード集 | 64 | —— |
| F a t e ／ G r a n d O r d e r 編 | 64 | —— |
| 英靈データ：ローリエ | —— | —— |
| 英靈データ：アルシーヴ | —— | —— |
| 英靈データ：フエンネル | —— | —— |
| 英靈データ：ハツカ | —— | —— |
| 英靈データ：カルダモン | —— | —— |
| 英靈データ：ジンジャー | —— | —— |
| 英靈データ：シュガ | —— | —— |
| 英靈データ：ソルト | —— | —— |
| 英靈データ：セサミ | —— | —— |
| 英靈データ：千束 | —— | —— |

英靈データ：たきな

英靈データ：八仙繁

英靈データ：間島スバル

大乱闘スマッシュブラザーズ編

スマブラS P風ファイター技一覧・ローリエ

スマブラS P風ファイター技一覧・クロウ

スマブラS P風ファイター技一覧・シヤミ子

スマブラS P風ファイター技一覧・ベロニカ

スマブラS P風ファイター技一覧・博麗霊夢

スマブラS P風ファイター技一覧・きらら

スマブラS P風ファイター技一覧・アリーナ

スマブラS P風ファイター技一覧・エトワリア大神殿

スマブラS P風・ローリエと仲間の通信記録 in エトワリア大神殿

198
スマブラS P風・きららと仲間の通信記録 in エトワリア大神殿

モンスターストライク編

モンスト×リコリス・リコイル『G h o s t F l o w e r e d』コ

ラボ

魔法少女ルーラー

第一話：魔法少女大戦

238

233

164 161 158 155 151 148 144 140

134 128 124

きららファンタジア編

ゲーム・きららファンタジア風ボイス集：白沢夢美

プロフィール&登場作品&CV

翼や琉姫と共に文芳社女子漫が家寮に住む漫が家。
ペンネームは皇^{すめらぎ}猿之進。

小学生の頃から超人気作を描き続けている超一流作家だが、人並みの倫理・道徳に疎く、それらを軽視する一面もある。

登場作品：こみつくがーるず異伝 夢の中のバク先生

CV：ゆいゆい＊カンパニー社長

召喚時（☆5そなりよ）

「どうもく、白沢夢美です。」

『ニラカナ』や『夢コロ』でおなじみの神作者が、
そなりよとして貴方のキズを癒やしに来ました～！
……え？ まんがのネタにされるかもつて？
大丈夫！ 大怪我を放置する事を想え、そんな
些細な事誰も気にしないんだから～！」

タイトルコール

「きららファンタジア。今日はどんな夢に会えるかな？」

ゲーム起動時挨拶

「待つてたよ。それじや、ネタ探しの始まり始まり～。
「おはよ～。いい夢見れだし、今日もガンバロー～！」
「およおよ、徹夜とは熱心だねえ～…！」

ホーム画面会話

- ①「私は白沢夢美。ペンネームは皇^{すめらぎ}猿之進。超人気作・夢の中のコロコロルは、私が描きました。」
- ②「頑張れ～。君なら出来るぞ～～絶対……いや、多分……きっと……メイビー？」
- ③「私ほどになると、見ただけでネタになる人…じゃない、良い人

かどうかが分かるんだよ!!」

④「叶えたい夢の為ならば、どんな物でも犠牲に出来ない?って
言つたら皆に引かれた。なんでだろ……?」

ルーム会話

「きょーかちゃんもここに来れたら……あ、きょーかちゃんってのは
私の担当さんね」

「ここの経験をネタにすれば、『夢コロ』が神を超える……!?」

「ここにいるみんな、ネタの宝庫すぎない? ちょっと、使い切れるか
心配かも~」

里訪問

「最高のまんがを描くには最高の経験値を!」

「いや〜、私こんな幸福あつていいのかな?」

「ふふふふふふふ……あ、私の事は気にしないで〜〜?」

「忘れないうちに原稿に書きとめよう…!」

クエスト出発

「さて、準備万端! 行きますか〜!」

バトル開始 or 交代時

「面白い敵だね〜。」

サクッと攻撃

「それ〜」

「えい〜」

ガツツリ攻撃

「決めるよ〜!」

攻撃スキル

「祟められてもサインしか出ないよ〜〜」

「こういうものに惹かれても仕方ない〜」

補助スキル

「後々効いてくる補助行動です〜」

「これでまた怪我できるね〜」

応援スキル

「きつと君なら私の心に残ってくれるよ～！」

とつておき発動

「この皇 猛之進の真體を見せてやるう～！」

ダメージ

「痛～い！」

「やめて～！」

状態異常

「う～ん、寝不足気味かな～？」

戦闘不能

「もうムリ～～」

バトル勝利

「よしよし、また一つ、ネタゲットだよ～！」

「このヒヤヒヤ感も、良いネタだよ～！」

バトル敗北

「ま…まんがの女神様に……なりた、かつ、た……ぐふつ」

タツチボイス

「や～～ん、エツチー♥」

「あんまり触るとゲス役でまんがに出すよ～？」

レベルアップ時

「新たな境地に行けた氣がするよ～！」

「ほうほう～！なるほどなるほど～！」

限界突破時

「皇 猛之進、成長あるのみ～！」

進化時

「ふふふ～、どうだ！カッコいいでしょ～？」

ミッショントラック表示時

「ねえねえ～、ちょっとコレ手伝つて～！」

ミッショントラック達成時

「ありがと～～！ まだお願ひするかもだから、よろしくね～！」

トレーニング出発

「ちょっと行つてくるね～～！」

トレーニング終了

「ただいま～～～！ コレお土産ね～！」

ルーム挨拶

「おはよう～。今ちようど原稿があがつたんだ～♪」

◇◆◇◆◇◆◇

クリエメイトコミュ

N.O. 1：白沢夢美をパーティに編成し任意のクエストを50回クリアする

報酬：白沢夢美のポスター・進化前（ルームアイテム）

N.O. 2：白沢夢美のとつておきのレベルを20にする

報酬：白沢夢美のポスター・進化後（ルームアイテム）

N.O. 3：白沢夢美の専用ぶきのレベルを100にする

報酬：称号『空前絶後の漫画家』

N.O. 4：白沢夢美を含む『こみつくがーるず』のキャラクターを3人以上パーティに編成して任意のクエストを200回クリアする

報酬：エトワリウム

N.O. 5：白沢夢美含む『こみつくがーるず』のキャラクターを5人以上パーティに編成して任意のクエストを50回クリアする

報酬：称号『神の如き鬼才の漫画家』

◇◆◇◆◇◆◇

獲得できる称号

【女子寮のまんが家】

称号取得条件：白沢夢美（☆5・そなりよ・風）を加入させる

【皇 猛之進】
すめらぎはくのしん

称号取得条件：白沢夢美（☆5・そなりよ・風）のLV.を最大にする

【空前絶後の漫画家】

称号取得条件：白沢夢美のクリエメイトコミュN.O. 3をクリアする

る

【神の如き鬼才の漫画家】

称号取得条件・白沢夢美のクリエメイトCOMMUNO. 5をクリアする

ゲーム・キャラファンタジア風ボイス集：一ノ瀬力ナ

プロフィール&登場作品&CV

活発で皆をも巻き込む明るい子。でも、ちょっとだけおバカ。
ある理由から、花名の中に生まれた「もうひとつ花名の姿」^{人格}であり、

本来の気遣いできる優しい花名^{主人格}と折り合いをつけて面白おかしく暮らしている。

登場作品：スロウスター異伝 一ノ瀬花名は表裏一体である
CV：声帯は花名ちゃんと同じ

召喚時（☆5アルケミスト）

「ここにちは！それがし、一ノ瀬花名と申す！
鍊金術士として腕を振るう所存でござる!!
……冗談だよ、私は一ノ瀬力ナ。」

花名ちゃんの……えっと、一番の理解者??
く、詳しくはおいおい話すから、その時にね！」

タイトルコール

「さて、きららファンタジア・レッツスタート!!」

ゲーム起動時挨拶

「大切な一步は、大胆かつド派手に行こう！」
「ふああ……なんだか人格が混線してて気が…」
「早めに寝ないと、明日が辛いんだよねー」

ホーム画面会話

- ①「それがし……一ノ瀬花名と申す者！ここの地理には明るくない故、色々教えていただけないと助かる……!!」
- ②「えつ、いつもの花名ちゃんとキャラが違う？ あははは、氣のせいなんじやないかなー？……って無理があるか。」
- ③「私の事は力ナつて呼んでよ。私も呼び捨てにするからね。」
- ④「うわあ……すごいなあ……私も負けてられないね、どんどん派手

に行こつか！」

ルーム会話

「誰かと友達になるのに、理由がいるかな？」

「ママとパパには一瞬で見抜かれたんだ、私。親ってスゴイね」

「花名ちゃんはちょっとだけ他と違うだけなんだ。優しくしてあげてね？」

里訪問

「耳栓…？　ああ、また花名がつけっぱだつたのかな」

「栄依子ちゃん、大人っぽさの是非は見た目だけじゃないんだよ？」

「たまて…いい響きだね。私、たまてちゃんの名前好きだよ」

「冠ちゃんは一体、あれだけのご飯をどこに入れてるんだろう…？」

「ううつ、走つたら筋肉痛……おのれこの貧弱ボディ…！」

クエスト出発

「それじゃ、派手に行こうか！行つてきまーす！」

バトル開始○r交代時

「このカナちゃんに任せなさい！」

サクッと攻撃

「えいっ！」

「これでっ！」

ガツツリ攻撃

「恨まないでねつ！」

攻撃スキル

「気合の一発!!」

「耐えられるかなつ！」

「来ても良いよ？…来れるものならね！」

補助スキル

「大丈夫？もう平氣だからね」

「これをこうすればもうオッケーー！」

応援スキル

「さあさあ、行きますよ～！」

とつておき発動

「このすゞくすゞい必殺技をへらえつ！」

「後悔のないよう、思いきりド派手な一撃をつ！」

ダメージ

「おぶふつ!?」

「ぎやーす！」

状態異常

「だ…だい…大、ダメ……」

戦闘不能

「花名ちゃんボディで無理しすぎた！」

バトル勝利

「ふつふつふ…はーーっはつはつはーーー!!」

「カナちゃんの大勝利ー！ブイツ!!」

バトル敗北

「わ、私は忘れないからね…！」

タツチボイス

「おやあ…私に興味があるのかな…??」

「花名ちゃんの嫌がることはダメだぞ！」

レベルアップ時

「じゃーん！大人の魅力が出来ました！」

「ふつふつふ、花名は急成長中なのだ！…なんちて。」

限界突破時

「四天王最強はこの私だー！」

進化時

「これで体力アップだね！」

ミッショントラブル時

「そこの人！…ちよいと頼まれちゃあくれませんか？」

ミッション達成時

「ありがとうありがとう！君の恩は忘れないよ！」

トレーニング出発

「いつてつきまーす!!…あつ、今そこに可愛いお姉さんが！」

トレーニング終了

「たつだいまー！どうぞ、この戦利品の数々は！」

ルーム挨拶

「おはよう！ 花名ちゃんなら、まだ寝てるんだ～」

◆ ◆ ◇ ◆ ◇

クリエメイトコミュ

N.O. 1：カナをパーティーに編成し任意のクエストを50回クリアする

報酬：カナのポスター・進化前（ルームアイテム）

N.O. 2：カナをパーティに編成し任意のクエストを200回クリアアする

報酬：カナのポスター・進化後（ルームアイテム）

N.O. 3：カナの専用ぶきのレベルを45にする

報酬：称号『忘れられない記憶』

N.O. 4：カナのとつておきのレベルを25にする

報酬：エトワリウム

N.O. 5：カナの専用ぶきのレベルを100にする

報酬：称号『花名とカナ ふたりでひとつ』

◆ ◆ ◇ ◆ ◇

獲得できる称号

【四天王の裏の顔】

称号取得条件：カナ（☆5・アルケミスト・炎）を加入させる

【もうひとつの大秘密】

称号取得条件：カナ（☆5・アルケミスト・炎）のLV. を最大にする

【忘れない記憶】

称号取得条件：カナのクリエメイトコミュN.O. 3をクリアする
【花名とカナ ふたりでひとつ】

称号取得条件：カナのクリエメイトコミュN.O. 5をクリアする

ゲーム・きららファンタジア風ボイス集：神原黒男

プロフィール&登場作品&CV

15歳のある朝、暗黒神の力に目覚め右手が溶鉱炉の中みたいな色に変化した男子高校生。

祖先である暗黒神ラブソーンに導かれ、かつて暗黒神を封印した賢者七人の末裔を葬るために動く…

……事はなく、平穏に暮らすためにたままでくとしての活動名は「神原クロウ」。

CW：最近諸窓孟進と化したアンダーワールドの英雄

召喚時（☆5まほうつかい）

一神原黒男た 気軽にクロウと呼んでくれ

一応、暗黒神の後継つていう物騒な肩書を持つてはいるが、悪い事はしない…というかできないから安心して欲しい。うちのゴミ先祖共々宜しくな。」

タイトルコール

「アハラーナンタシノ
ニヨウカツミテ
さて 始まりだな！」

田の鬼、田鬼。二ノ子田鬼荒、二ノ子ナギ

「ふあああ…………すまん…朝は弱いんだ……」

無理は体に毒だよ
夜更しは程々にな

① 「神原クロウだ。暗黒神ラプソーンの子孫……になつたばかり

の、元人間魂魔族だ。よろしくな。」

よ。うちのゴミ先祖ろくでもねーし。」

③「マヨネーズは至高の食材だ。かけてよし、飲んでよし、何でも良し。君もマヨラーにならないか？」

④「世界征服には興味ないよ。俺はミカンや仲間達と平和に暮らせればそれでいいんだ。」

ルーム会話

「マヨネーズが……マヨネーズが足りないッ……！」

「うちのゴミ先祖がまた女の子を誘惑してやがる…燃やさなきや」

里訪問

「ここの人達はみんな暗黒神に優しいんだな」

「マヨネーズは料理にも使えるんだぜ」

「これもまた幸せ、だな」

クエスト出発

「さあ、行くぞゴミ先祖」

バトル開始 or 交代時

「俺の出番だな……任せてくれ！」

サクッと攻撃

「そりやつ！」

「たあつ！」

ガツツリ攻撃

「終わりだ！」

攻撃スキル

「本気の一撃！」

「これでどうだ！」

補助スキル

「トランスマッシュ！」

「いのちだいじに、つてね！」

応援スキル

「大丈夫だ、俺がいる！」

とつておき発動

「行くぞ、俺のとつておきを受けてみろ！」

ダメージ

「うわっ!?」

「くつ!?!」

状態異常

「うおお……これは一体……」

戦闘不能

「ごめん……ミカン……」

バトル勝利

「よし、勝てた！」

「皆のおかげだ！」

バトル敗北

「これで勝ったと思うなよ……」

タッチボイス

「ん、なんだ、ミカン?」

「シャミ子、どうしたんだよ急に?」

レベルアップ時

「強くなつた感覺だ……！」

「これがレベルアップか……！」

限界突破時

「まだまだ俺は強くなる……！」

進化時

「これで、皆を守れる！」

ミッショング表示時

「頼みたい事があるんだ。引き受けてくれないか?」

ミッショング達成時

「ありがとう!助かつたぜ、また困つたら頼むな」

トレーニング出発

「それじゃあ、ちよつくら行つてくる!」

トレーニング終了

「待たせたかな?これが今回の成果だよ」

ルーム挨拶

「おはよう。今日も一日頑張ろうな。」

◆ ◇ ◇ ◆ ◇

クリエメイトコミュ

N o. 1：クロウをパーティに編成し任意のクエストを50回クリアする

報酬：クロウのポスター・進化前（ルームアイテム）

N o. 2：クロウをパーティに編成し任意のクエストを200回クリアする

報酬：クロウのポスター・進化後（ルームアイテム）

N o. 3：クロウの専用ぶきのレベルを45にする

報酬：エトワリウム

N o. 4：クロウの専用ぶきのレベルを100にする

報酬：エトワリウム

N o. 5：クロウのとつておきのレベルを30にする

報酬：称号『がんばれクロウ！』

◆ ◇ ◇ ◆ ◇

獲得できる称号

【たま市の住人】

称号取得条件：クロウ（☆5・まほうつかい・月）を加入させる

【つよつよ暗黒神】

称号取得条件：クロウ（☆5・まほうつかい・月）のLV.を最大にする

【がんばれクロウ！】

称号取得条件：クリエメイトコミュN o. 5をクリアする

ゲーム・さらさらファンタジア風ボイス集・真中あお（地 学者）

プロフィール&登場作品&CV

地学部の天文班でみらと運命的な出会いを果たし、二人は研鑽の果てに「小惑星あお」を見つける。だが、夢はいつしか更に広がり、宇宙と地球の謎をもつと解き明かしたいと燃えている。

ゆえに彼女は今もなお、地学者を名乗り続ける。

登場作品：恋する小惑星異伝 地学者真中あおの取材レポート

CV：高校時代のあおと同じ

召喚時（☆5まほうつかい）

「初めまして。地学者の真中あおです。

…ひよつとして、高校時代の私も

ここにいるのかな？

もしそしたら、私のことは内緒でお願いします。夢は叶えるものだけ、叶うつて分かつてちゃつまらないからね。」

タイトルコール

「きららファンタジア、始まります。」

ゲーム起動時挨拶

「昼間でも星は見えるんだよ。ちよつと、見えづらいけど…」

「昨日は遅くまでケーキ作りの練習してたから、眠い…」

「良い星空でしょ？ さて、今日はどんな発見があるかな…」

ホーム画面会話

①「私の名前は真中あお。職業は、地学者。高校時代の私とみらともども、宜しくね。」

②「例え夢が叶った後でも、離れ離れになつても、みらは私の親友

だよ。」

③「辛いこと、苦しいことがあつたら……少しだけ、上を向いてみるといいよ。」

④「諦めなければ、きっと何か見つかるよ。…『小惑星あお』のようにな」

ルーム会話

「おっ、これ：“アレ”に似てる…！」

「みらは元気にやつているかな？」

「エトワリアの星空つて面白いね」

里訪問

「ここからなら空が良く見えるね」

「喋る岩やオリハルコンは…さすがにないか」

「エトワリアつて思つたより宇宙人が身近なんだね」「このきらきら光つてているものは…？」

クエスト出発

「…よし。準備は万端！」

バトル開始 or 交代時

「頑張ります！」

サクッと攻撃

「それっ！」

「やつ！」

ガツツリ攻撃

「当たつて！」

攻撃スキル

「さつ、本氣でいくね」

「まとめて一気に決めちゃうよ！」

補助スキル

「もう安心して」

「これは保険代わりね」

応援スキル

「大丈夫。夢は叶うよ」

とつておき発動

「さ、セーの、で行くよ?」

ダメージ

「ううっ!」

「わあっ!」

状態異常

「ううううううう……」

戦闘不能

「私とした事が、油断したつ……！」

バトル勝利

「ふう……これでおしまいかあ。良かつたね
「ちよつと危なかつた……かな?」

バトル敗北

「うう……ごめんなさい……」

タツチボイス

「セクハラですよ?」

「わつ、なんの用でしよう?」

レベルアップ時

「な、なんかいける気がする!」

「わあ……すごい……!」

限界突破時

「これで、もつと頑張れるね!」

進化時

「新しいもの、見つかるかな……?」

ミッショントラック表示時

「これ、手伝ってくれないかな?」

ミッショントラック達成時

「ありがとう、助かつたよ。これで次の研究が出来る……!」

トレーニング出発

「準備よし。それじゃ、行つてくるね」

トレーニング終了

「今回の取材の成果はこんな感じだよ」

ルーム挨拶

「おはよう。コーヒー淹れたんだ。飲む?」

◇◆◇◆◇

クリエメイトコミュ

N o . 1 : 真中あお (地学者) をパーティーに編成し任意のクエストを50回クリアする

報酬 : 真中あお (地学者) のポスター・進化前 (ルームアイテム) N o . 2 : 真中あお (地学者) をパーティに編成し任意のクエストを200回クリアする

報酬 : 真中あお (地学者) のポスター・進化後 (ルームアイテム)

N o . 3 : 真中あお (地学者) のとつておきのレベルを20にする

報酬 : 称号『流浪の天文学者』

N o . 4 : 真中あお (地学者) のとつておきのレベルを25にする

報酬 : エトワリウム

N o . 5 : 真中あお (地学者) のとつておきのレベルを30にする

報酬 : 称号『恋する小惑星の女の子』

◇◆◇◆◇

獲得できる称号

【地学者】

称号取得条件 : 真中あお (地学者) (☆5・まほうつかい・陽) のLV. を最大にする

【小惑星あおの発見者】

称号取得条件 : 真中あお (地学者) (☆5・まほうつかい・陽) のLV. を最大にする

【流浪の天文学者】

称号取得条件 : 真中あお (地学者) のクリエメイトコミュ N o . 3 をクリアする

【恋する小惑星の女の子】

称号取得条件・真中あお（地学者）のクリエメイトコミュニティNO.

5

ゲーム・きららファンタジア風ボイス集・鴻上光生

プロフィール&登場作品&CV

ふとしたきつかけで生まれ変わった世界を勘違いしていた、伊地知虹夏の祖父。

鴻上ファウンデーションの名誉会長であり、もうすぐ80歳には思えないくらいにエネルギーッシュ。

「欲望」と「誕生」に価値を見出している。ケーキ作りが趣味。

登場作品：ぼつち・ざ・ろつく！異伝 伊地知さんちのおじいちゃん

ん

CV：大御所・ブラックエンペラー元総長

召喚時（☆5そりよ）

「鴻上ファウンデーション名譽会長の鴻上光生だ！」

早速だが、ここにキッチャンとケーキの材料はあるだろうか？

私と君達の出会いを祝してケーキを作れればと思うのだ！

出会いとはすなわち縁の誕生……そう、『誕生』だ！

祝うべき慶事である！ハッピーバースデイ！

タイトルコール

「きららファンタジア。さあ…その手を進めたまえっ！」

ゲーム起動時挨拶

「生きるとは欲すること。君も貪欲になりたまえっ！」

「登りゆくこの朝日さえ…新たな誕生だつ！」

「夜とは人の欲望が暴れる時間帯！くれぐれも用心するのだつ！」

ホーム画面会話

① 「鴻上ファウンデーション名譽会長の鴻上光生だ。今はまあ、虹夏と星歌の祖父という認識で構わん。」

② 「この世のあらゆるものは、全て「欲しい」と願つたからこそ存在するのだ！」

③「生きるとは欲すること。赤子でさえ「欲しい」と言つて泣くのだよ。」

④「欲望を抑えていいのかね？ソレは決して、見苦しい事ではないぞ。」

ルーム会話

「欲望とは生きるエネルギーなのだ！」

「今日はどのような誕生日ケーキを作るかね…」

「年を取るのも悪いことばかりではないようだ

里訪問

「素晴らしい！これも欲望の産物か！」

「里中君のような秘書が欲しくなるところだ」

「素晴らしいっ！！良い欲望だつ！！」

クエスト出発

「しばし留守を任せんぞ」

バトル開始 o_r 交代時

「私達の欲望は止まらんぞ！」

サクッと攻撃

「はつ！」

「はあつ！」

ガツツリ攻撃

「これも欲望だつ！」

攻撃スキル

「私の欲望に耐えてみろ!!」

「満たされているかね？」

補助スキル

「素晴らしい欲望だ！」

「もつと欲しがりたまえ！」

応援スキル

「欲望に勝るエネルギーはない！」

とつておき発動

「君の欲望を、私に見せてみろ！」

「とくと味わえ！これが、私の欲望だああつ！！」

ダメージ

「ぐつ!?」

「ぬう…！」

状態異常

「何たる失態…！」

戦闘不能

「寄る年波には勝てない、か…！」

バトル勝利

「さあ…祝いのケーキを作ろうか!!」

「この程度では終わらん。次だ。」

バトル敗北

「年寄りの冷水とはこのことか…！」

タツチボイス

「個人の契約なら後にしてもらおう。」

「それもまた欲望だつ！」

レベルアップ時

「もつとだ…もつとつ！」

「これもまた欲望…素晴らしいツ！」

限界突破時

「強くなりたい……それも欲望！」

進化時

「これが欲望の為せる業だ！」

ミッショントラブル

「君！少し頼まれてはくれないかね？」

ミッション達成時

「ありがとうツ！これからも、ますます励んで欲しい！」

トレーニング出発

「少し出張に行つてくる！」

トレーニング終了

「良かつたよ…これ、お土産だ！」

ルーム挨拶

「おはよう！ 朝食はしつかり食べてきただかね？」



クリエメイトコミュ

N o. 1：鴻上先生をパーティに編成し任意のクエストを50回クリアする

報酬：鴻上先生のポスター・進化前（ルームアイテム）

N o. 2：鴻上先生をパーティに編成し任意のクエストを200回クリアする

報酬：鴻上先生のポスター・進化後（ルームアイテム）

N o. 3：鴻上先生の専用ぶきのレベルを60にする

報酬：称号『素晴らしいツツ!!!』

N o. 4：鴻上先生のとつておきのレベルを30にする

報酬：エトワリウム

N o. 5：鴻上先生のとつておきのレベルを35にする

報酬：称号『欲望こそ生きるエネルギー!!』



獲得できる称号

【虹夏の祖父】

称号取得条件：鴻上先生（☆5・そなりよ・土）を加入させる

【鴻上ファンデーション名誉会長】

称号取得条件：鴻上先生（☆5・そなりよ・土）のLV.を最大にする

【素晴らしいツツ!!】

称号取得条件：鴻上先生のクリエメイトコミュN o. 3をクリアする

【欲望こそ生きるエネルギー!!】

称号取得条件：鴻上先生のクリエメイトコミュN o. 5をクリアする

る

クエスト・八賢者チャレンジクエストラッシュユ！／

ローリエ

ローリエ
HP : 506300

属性 : 陽

チャージカウント : 4

【概要】

ローリエは八賢者チャレンジクエストラッシュユのメを飾る最後の賢者。

裏ボスで登場した時よりも更に攻撃が複雑になり、難易度はアルシーヴやハツカを上回る。

月属性特攻攻撃やHPを1にまで減らす攻撃の他、最大の違いとしてヘイトを完全無視するようになる。

月属性の攻撃のタイミングを見図つて、一気に勝負を決めよう。

【行動パターン】

「パターンA……開幕の行動」

もう手加減はナシだぜ、かわいいレディ：自身の全属性耐性が大アップ、状態異常無効、チャージカウントをMAXにする。

バーストチャージ：自身のチャージカウントをMAXにする。チャージカウントがMAXになった後、チャージダウンされた時に使用。

【必殺技】ロケットランチャー：全体に999の陽属性固定ダメージ。最初に一度しか使わない。

↓パターンBへ移行

「パターンB……ロケットランチャー使用後」

フレイムショット：一体に炎属性（物理）ダメージ。

ファイアバラージ：全体に炎属性（物理）ダメージ。

ウォーターショット：一体に水属性（物理）ダメージ。

アイスバラージ：全体に水属性（物理）ダメージ。

ウインドショット：一体に風属性（物理）ダメージ。

ストームバラージ：全体に風属性（物理）ダメージ。

ストーンショット：一体に土属性（物理）ダメージ。

クエイクバラージ：全体に土属性（物理）ダメージ。

ブラツクショット：一体に月属性（物理）ダメージ。

ダークバラージ：全体に月属性（物理）ダメージ。

【必殺技】メタルジャケット・フルファイア：敵全体に陽属性（物理）の中ダメージ。

「パターンC……残りHP75%以下に突入後」

調子に乗ると痛い目見るぜ？自身のDEF、MDF、SPDが中アップ、チャージカウントをゼロにする。HP75%以下かつフルチャージ時でない時使用。次に『G型魔道具』を使用する。

G型魔道具：全体に555の陽属性固定ダメージ&高確率でよわき、ふこう、かなしばり付与。一度だけ使用。

ルーンドローン起動：全体に陽属性（物理）ダメージを与えるスキルカード（3）を1~3枚設置。

ニトロアント起動：一体に陽属性（物理）大ダメージを与えるスキルカード（1）を1~2枚設置。

サイレンサー：一体に月属性（物理）ダメージ&中確率でちんもく付与。

跳弾：全体にランダムで3~8回の陽属性（物理）ダメージ。

閃光弾：全体に陽属性（物理）ダメージ&クリティカル率ダウン&低確率でこんらん付与。

明滅弾：全体に月属性（物理）ダメージ&SPDが中ダウン&低確率でこりつ付与。

散弾：全体に陽属性（物理）小ダメージ。

サスケ・インビジブル：自身に2回まで攻撃を無効化するバリアを張る&とつておきゲージを少し減少。

【必殺技】メタルジャケット・フルファイア：敵全体に陽属性（物理）の中ダメージ。

「パターンD……残りHP50%以下に突入後」

至高の魔弾：一体に【残りHP-1】の陽属性固定ダメージ&リキヤスト大アップ&陽・月属性耐性が特大ダウソ、チャージカウントを1ダウソ。硬直が長め。

跳弾：全体にランダムで3～8回の陽属性（物理）ダメージ。

ルーンドローン起動：全体に陽属性（物理）ダメージを与えるスクリカード（3）を1～3枚設置。

ニトロアント起動：一体に陽属性（物理）大ダメージを与えるスクリカード（1）を1～2枚設置。

散弾：全体に陽属性（物理）小ダメージ。

ギア・オリジナル：自身のATKが中アップ、次攻撃時クリティカル確定、自身のDEF、MDFが中ダウソ。

ソニックブートル：自身に一定ターンクイックドロウを付与&SPDが超特大アップ。

【必殺技】メタルジャケツト・フルファイア：敵全体に陽属性（物理）の中ダメージ。

「パターントD……残りHP30%以下に突入後」

心無き血戦：全体に【残りHP-1】の陽属性固定ダメージ&自身のチャージカウントを2ダウソ。硬直が長め。

ギア・オリジナル：自身のATKが中アップ、次攻撃時クリティカル確定、自身のDEF、MDFが中ダウソ。

ジ・エクリプス：自身を月属性にする&全体にランダムで16回の月属性（魔法）ダメージ。

スタークメット：自身を陽属性にする&一体に1000の陽属性固定ダメージ&自身に5回までダメージを25%カットするバリアを張る。

メテオ：全体に777の自属性固定ダメージ使用時のローリエの属性によつて月属性攻撃か陽属性攻撃か決まる。硬直が短い。

【必殺技】メタルジャケツト・スペシャル：全体に自属性の割合ダメージ（最大HPの50%）。

↓必殺技使用後、一度だけパターントEに移行

「パターントE……1度目の『メタルジャケツト・スペシャル』使用後」

これで終わりにしてやる：自身に3回までダメージを70%カットするバリアを張る。次に『3』を使用。

3：自身のデバフをすべて解除&SPDを中ダウン。次に『だましうち』を使用する。

だましうち：全体に自属性の割合ダメージ（残りHPの85%）&高確率でふこう、かなしばり、こりつ付与&自身のチャージカウントをゼロにする。次に『手加減ナシと言つただろ』を使用。

手加減ナシだと言つただろ：自身のチャージカウントをMAXにする。

【必殺技】メタルジャケット・ジ・エンド：全体に自属性の割合ダメージ（最大HPの99%）。硬直がとても長い。

↓必殺技使用後、パターんDへ戻る

「パターんF……残りHP50%以上かつ月属性のクリエメイトがいる場合。優先される」

シャドースナイプ：一体に陽属性（魔法）ダメージ&高確率でねむり付与＆状態異常耐性低下。こちらのパーティに月属性せんしがいる場合、そのキャラに対して使用。

ナイトオブバレット：一体に陽属性（物理）ダメージ&MAT&SPDが特大ダウン。こちらのパーティに月属性まほうつかいorアルケミストがいる場合、そのキャラに対して使用。

「パターんG……自身が必殺技を76回使用した後。優先される」

これ以上は興醒めだな：自身に10回までダメージを99%カットするバリアを張る＆チャージカウントをMAXにする。次に『真・天衣無縫の魔弾』を使用。

【必殺技】真・天衣無縫の魔弾：全体に99999の陽属性（物理）固定ダメージ。一度これを使用すると、以降これしか使わなくなる。

【ローリエの特徴】

- ・ヘイト効果が一切効かない。とはいえる前にいるクリエメイトほど狙われやすい傾向はあるが、ナイトのクラススキルで攻撃を釘付けにはできない。

・DEFとMDFに差はない。とはいっても、相手の攻撃はほぼ物理攻撃なため、せんしの方が耐えやすい。

・SPDが高くなつております。ほぼ先手を取られる。

・月属性のせんし・まほうつかい・アルケミストがパーティにいると狙い撃ちにされる。基本はサブに引っ込めておこう。

・HP割合攻撃やランダム複数回攻撃が多い。硬直は長めだが、硬い仲間も一瞬で倒されかねない。

・77回目の必殺技が全体即死になる。

きららファン八賢者×モンストコラボ設定資料集

基本仕様

ガチャ『きららファンタジア 魔法工学教師は八賢者』とコラボ降臨クエスト、配布の三種類の入手方法アリ。また、SSボイスは全キャラ3種類あり、コラボ期間中はゴールド交換やミッショングリリアで入手可能。

ガチャ『きららファンタジア 魔法工学教師は八賢者』

火属性

☆6 召喚士 きらら&女神候補生 ランプ

反射 砲撃型 亜人族

聖典の加護ステージ移動時、確率でHPを全回復する。「ユイの応援」等と似た性能で、発動時に特殊演出あり。／アンチウインド／カウンターキラー

ゲージ：アンチ魔法陣／超アンチワープ

SS：コール＆シャイニング・ダイアリー【16+4ターン】

クリエメイトを呼び出して駆け回る＆停止後にシャイニング・ダイアリーで追い打ち

ボイス

①きらら「ランプ、準備は良い?」ランプ「もちろんです、きららさん!」「ストライクショット!!」

②きらら「私達の旅路がひとつになつて…」ランプ「新たな聖典が、今ここに生まれます!」

③二人「私達は、絶対に諦めない!」ランプ「どんなに打ちのめされても…」きらら「仲間がそばにいる限り!」

友情コンボ：クロス分身弾+超強貫通ホーミング12

水属性

☆5 聖典綴るエトワリアの女神 ソラ

反射 バランス型 亜人族

聖典の加護ステージ移動時、確率でHPを全回復する。「ユイの応援」等と似た性能で、発動時に特殊演出あり。／マイインスイーパーE

L

超アンチ重力バリア／魔法陣ブースト

SS：聖典の栄光【12ターン】

自身のスピード＆パワーアップ＆触れた味方のHPを回復＆減速率をダウンさせる

ボイス

- ①「私は女神としての責務を果たします！ストライクショット！」
- ②「聖典の光が…溢れる…！」
- ③「もう大丈夫よ！すぐに治すわ！」

友情コンボ：反射分裂弾

木属性

☆5 呪術師の妹 アリサ・ジャグランテ

貫通 スピード型 亜人族

状態異常レジスト／反風／友情ブースト

ゲージ：アンチダメージウォール／底力

SS：フレアドライブ【16ターン】

自身がスピードアップ＆最初に触れた敵にフレアドライブを放つ

ボイス

- ①「兄さん：私を見てて。ストライクショット!!」
- ②「あなたの力はもう見切つた！」
- ③「この身に宿る全魔力を燃やせ：気持ちで負けるな!!」

友情コンボ：衛星弾8

【解説】

仮面ライダービルドのような、☆4—5枠で超火力を出すSSを持つキヤラ。

自強化1・5倍、追撃は打撃かつ10倍の威力を誇る。そのため属性相性と強化次第でワンパンが可能もある。

光属性

☆6 「黒一点の」 八賢者 ローリエ

反射 バランス型 魔人族

超アンチダメージウォール／対弱点M／闇耐性

ゲージ：アンチ魔法陣／超アンチ減速壁

S S：真・天衣無縫の魔弾【20+6ターン】

自身のスピードがアップ＆停止後に敵を斬りつけ、真・天衣無縫の魔弾で追い打ち

ボイス

①「悪いな、俺は諦めが悪いんだ…ストライクショット！」

②「大事なモンのためならば…この古びた魂、いくらでも使ってやらア!!!」

③「俺は負けない…自分が正常だと勘違いしている、お前のようなヤツにはな！」

友情コンボ：超強跳弾＋クロス爆撃

【解説】

本コラボのワンパン枠。S Sは特殊で、自強化倍率は攻撃力の1.2倍→1.3倍、追加攻撃の斬撃は攻撃力の0.5→0.75倍×7、最後の銃撃は攻撃力の9→12倍とかかり、ダメージは次ゲージに持ち越すことも可能で、接待によつてはワンパンが可能である。

闇属性

☆6 エトワリアの筆頭神官 アルシーヴ

貫通 バランス型 亜人族

超マインスイーパーM／アンチ魔法陣

ゲージ：アンチブロツク／連撃キラーL／状態異常底力

S S：ルナティック・ミーティア【12+12ターン】

自身がスピードアップ＆停止後、画面全体の敵にルナティック・ミーティアを放ち、敵の攻撃ターンを遅延させる

ボイス

①「為すべきを為すまで、私は倒れるわけにはいかん！」

②「私の、最大の奥義をもつて、貴様を打ち倒す！」

③「それ以上、私の友に手出しさせない！」

友情コンボ：オートジャベリン+全敵ロツクオンレーザーL

【解説】

アルシーヴのSSは自強化倍率（1.25倍→2.25倍）だけでなく、画面全体の敵に攻撃（固定ダメージ120万→385万）&遅延効果（1ターン→2ターン）がある強力なもので、ゲージ飛ばしも可能である。しかしワンパン性能を持つというよりかは、攻防一体のSSと考えるべきだろう。

配布キヤラ

光属性

☆6 ローリエ&きらら

反射 バランス型 亜人族

無属性耐性／アンチダメージウォール

ゲージ：アンチ減速壁／SSターン短縮

SS：突入します！【21ターン】

自身のスピードがアップ&触れた最初の敵をニトロアントで爆破
&『コール』したクリエメイトが総攻撃

ボイス

①きらら「突入します！」ローリエ「さて、クリエメイトを返して
もらうぞ！」

②きらら「人を洗脳して、使い潰す…あなたみたいな人を許すわけ
にはいかない！」

③ローリエ「最初に言つたはずだ：『やめれば許してやる』つてな
！」

友情コンボ：乱気弾

【解説】

コラボ開始時に一体だけ配布される。コラボクエスト『輪・廻・転・生』を周回することでも入手が可能で、ラックを99にすることも可能。

SSは最初に触れた敵を追撃するSSで、ニトロアントの爆破は固定ダメージ（95万）、その後のクリエメイトの総攻撃に打撃倍率が乗る、ダメージは次ゲージに持ち越されない。

余談だが、『コール』するクリエメイトは宮子、八神コウ、くるみ、トオル、カレン、あやめ、紺のうち3体がランダムで呼び出されるが、ダメージに変化はない。

闇属性

☆6 ローリエ&アルシーヴ

貫通 砲撃型 亜人族

全属性耐性（ラックラック1で全属性耐性（無印）のダメージ軽減率の半分ほど、ラックが上がる毎に軽減率が上がり、ラック99で全属性耐性Mと同等の軽減率となる。）／マイインスイーパーM

ゲージ：アンチ重力バリア／SSターン短縮

SS：落第点代わりに鉛玉でも欲しいか？【12ターン】

自身のスピードとパワーが超特大アップ＆ブロック、減速壁、二一ドル、魔法陣を無効化する

ボイス

①ローリエ「戦い方も女の子の抱き方もなつてないぜ。落第点代わりに鉛玉でも欲しいか？」

②ローリエ「こつちに向かつてきた奴から撃つ」アルシーヴ「ただで済むと思うなよ…！」

③アルシーヴ「私は為すべきを為す。貴様らを蹴散らすのも…為すべき事だ…！」

友情コンボ：クロスステインガー

【解説】

「ローリエ＆きらら」からスライド進化することで入手可能。

スライド進化は、コラボクエスト『わたしの鏡士様』をクリアすることで可能になる。

SS倍率は攻撃力は1・5倍、スピードは2・25倍、減速率2割減と優秀。

降臨

火 ☆4 サルモネラ

『そいつの名はサルモネラ』

水 ☆5 セレウス

『エトワリアのジャック・ザ・リッパー』

木 ☆5 ナット

『大地の神兵』 ※常設クエスト

光 ☆4 ビブリオ

『金の亡者の呪い』

光 ☆6 優しき理想郷の体現者 木月桂一

『輪・廻・転・生』 ※超究極

闇 ☆5 01型57号

『名もなき殺意』

闇 ☆5 デトリア

『燃える魂と燃えない魂』

闇 ☆6 不燃の魂術 ドリアーテ

『わたしの銃士様』 ※超究極

【解説】

「サルモネラ」「セレウス」「ビブリオ」「01型57号」「デトリア」は道中ドロップ、ボスドロップ、クリア報酬・ノーコン報酬・ラック報酬によって入手することができます。

「ナット」はボスドロップによってのみ入手できます。また、クエストにコラボ限定キャラを編成していくと、追加ドロップが出る可能性があります。また、1日1回クリアで7体ずつ入手することができます。

『輪・廻・転・生』は、特定の条件「そいつの名はサルモネラ」「金の亡者の呪い」「大地の神兵」の全難易度クリアをクリアすることで挑戦することができるようになります。また、同クエストでは、「ローリエ&きらら」がクリア報酬・ノーコン報酬・ラック報酬から必ずドロップしますキング・ブラッドレイやメルエム、獣の巨人ジークと同じ方式。「優しき理想郷の体現者 木月桂一」は、入手することができますせんドラえもんコラボのギガゾンビ等と同じ。

各クエストの初クリア報酬は、オーブ5個となつております。

火属性

☆5 砂漠の盗賊 サルモネラ

貫通 スピード型 亜人族

アンチワープ／亜人キラー

ゲージ：アンチ重力バリア／妖精キラー

SS：弱い奴からやるのは狩りの定石だろ【16ターン】

狙った方向に、弱点を追尾する矢を放つ

ボイス

① 「動けない奴からやる……狩りの定石だろ！」

② 「お前達の命、オレ様がもらい受けるッ!!」

③ 「獲物は獲物らしく、ただ逃げ回ることだけやりやがれッ！」

友情コンボ：全敵ロックオン衝撃波

水属性

☆6 慄懃無礼な魔術師 セレウス

貫通 砲撃型 亜人族

超アンチウインド／アンチ重力バリア／毒キラー

SS：幻影霧揉矢刃嵐【22ターン】

最初に触れた敵に幻影霧揉矢刃嵐を放つ

ボイス

① 「ここを貴様らの死に場所と愚考しろ！」

② 「かかつたな！ 狹いは最初から貴様よ！」

③「調子に乗るなよ……！」

友情コンボ：超爆発

木属性

☆6 大地の神兵 ナット

反射 パワー型 亜人族

プロテクション／マイインスイーパーL／アンチワープ

ゲージ：アンチブロック／ダッシュユ

S S：冥土印兵琉【25ターン】

自身のスピード＆パワーアップ＆近くの敵に冥土印兵琉を放つボイス

- ①「さあて……もうちつと準備運動に付き合つてくれや」
- ②「この姿で戦うの久しぶりだな。ちと加減を忘れそうだ」
- ③「メンドくせえ……まとめてブツ飛ばしちまうか！」

友情コンボ：防御アップ

光属性

☆5 暴利貪る金の亡者 ビブリオ

反射 パワー型 亜人族

鉱物キラーEL／アンチ減速壁

ゲージ：亜人キラーム／アンチブロック

S S：サブジエクト【18ターン】

狙つた方向にいる敵にサブジエクトをかけ、攻撃ターンを遅延させる

ボイス

①「命令だ。何に替えてもアイツらを皆殺しにするんだああな！」

②「サブジエクト……コレでオラの思うがままなんだああな！」

③「この偽善者が！オラの商売の邪魔するんじやあねえんだああな！」

友情コンボ：ヨーヨー弾

！」

闇属性

☆6 ドリアーテの操り人形 01型57号

貫通 スピード型 亜人族

アンチダメージウォール／毒無効／混乱無効

ゲージ：バイタルキラー／SSターン短縮
SS：滅殺の狂剤【30ターン】

一定ターン、自身の攻撃力、防御力、スピードが大アップ&最大H
Pが減少

ボイス

- ① 「対象、戦闘継続可能と判断。」
- ② 「暗殺プランをDに変更。」
- ③ 「ドリアーテ様の行動は全て正しい。」

友情コンボ：超強次元斬

☆6 不燃の魂術 ドリアーテ

反射 バランス型 魔王

アンチダメージウォール

ゲージ：アンチワープ

SS：プロミネットバースト【24ターン】

自身のスピード＆パワーアップ＆停止後に画面全体の敵にプロミネットバーストを放つ

ボイス

- ① 「消え失せろカス共が!!」
- ② 「賢者も女神もエトワリアも！まとめて消えろ！」
- ③ 「人は誰しも、自分のために生きる！私の願いは自由に生きること！」

友情コンボ：超強ブレス

クエスト演出・ボイス

火☆4—5『そいつの名はサルモネラ』

登場時「クリエメイトの命は、このオレ様がもらい受けるツ!!」
撃退時「あつぶね!!……んだよ、ただの子供だったんじゃねーのかよ」

撃破時「ぐおはアア――――――ツ!!!?」

水☆5—6『エトワリアのジャック・ザ・リッパー』

登場時「話は済んだか？ おそらく最期になるであろうからな。」

撃退時「このセレウスの霧化魔法に弱点はない！」

撃破時「私が負けるはずがないのだ!! ただの人間の！ 何十倍も！」

価値ある私が、こんな女に――」

木☆5—6『大地の神兵』

登場時「お前らの討伐依頼を受けたのさ。：悪く思うなよ」

撃退時「さ、そろそろ本番と行きますか!!」

撃破時「：悪いねえ、若いのに巻き込んでしまってよ」

光☆4—5『金の亡者^{イモルトドロ}の呪い』

登場時「この小娘に傷をつけられたらなかつたら、武器を捨てて大人しくするんだああな!!」

撃退時「道具は黙つてオラに従ええええええええ!!」

撃破時「あ…………り、え、ないん…………だ…………な…………」

光☆6『輪・廻・転・生』

登場時「まだ、戦いは終わっていないよ」

撃退時「力を自重して何も守れず死ぬよりかはマシだよ。違うかい？」

？」

撃破時「油断だけはしちゃダメだよ。真新しい墓前で懺悔したくなかつたらね」

闇☆5—6『名もなき殺意』

登場時「対象、発見――、暗殺を開始します」

撃退時「貴方が私を咎める理由は何ですか？」

撃破時「そう：ですね。花の、面倒を、見ることができないのが

……ざん、ねん――」

闇☆5—6『燃える魂と燃えない魂』

登場時「まさか、誰一人殺せず死ぬとは。これから役立たずは嫌

いなのだ…」

撃退時 「前座に付き合っている暇はないのだ！」

撃破時 「この私を苛立たせた罪は…その命で償つてもらうぞ…！」

闇☆6 『わたしの銃士様』

登場時「楽には殺してやらないからな……覚悟しろ、カス共が…！」

登場時2きらら&ランプ、きらら&ローリエ、ローリエ&アルシーグ、ローリエのいずれか（つまりきららかローリエがいるキャラ）を編成してボス戦に突入でこちらの台詞に変更「私は私の為に生きる：貴様ら異常者を根絶やしにして、別世界に行つてやる!!」

撃退時「私は…支配者だぞッ!! こんなこと、あつていいはずがない!!!」

撃破時「やめろ…私を…私を…！ 私を一人にするなアアアアアアアア!!!」

※撃破時、ソラの転送魔法で宇宙へ送られる演出アリ。

きらフアン八賢者×モンストコラボ設定資料集②

基本仕様

ガチャ『きららフアンタジア 断たれた絆と蘇る理想郷』とコラボ
降臨クエスト、配布の三種類の入手方法アリ。また、SSボイスは全
キャラ3種類あり、コラボ期間中はゴールド交換やミッショングリア
で入手可能。

ガチャ『きららフアンタジア 断たれた絆と蘇る理想郷』

一弾

火属性

☆5 ユミーネ教傭兵团員 マランド

反射 パワー型 亜人族

超マインスイーパー／アンチワープ／亜侍封じL

ゲージ：アンチブロツク／超SSターン短縮／ダッシュユM

SS：決定的瞬間激写【24ターン】

スピードアップ＆触れた味方のクリティカル率をアップ & 停止後
にすべての敵の防御力を下げる

ボイス

- ① 「すぐにシユールさん達に報告しないと…！」
- ② 「ご武運を祈ります…！」
- ③ 「生きてください！生きていれば…きっと何かを成せます！」

友情コンボ：攻撃アップ

ラックスキル：シールド

水属性

☆6 ユミーネ教傭兵团長 シユール・ストレミング

反射 バランス型 亜人族

超アンチワープ／超アンチ減速壁／鳥獣封じM

ゲージ：アンチ重力バリア／バリア付与／底力M

SS：神剣シュナップス【24+4ターン】

最初に触れた敵に神剣シユナップスを放つ

ボイス

①「ストレミング剣殺法・奥義！神剣シユナップス！」

②「私は、私の責務を全うする。この命を賭けてでも、この街を守る！」

③「この一撃に全てを…限界を超えた全てを籠める！」

友情コンボ：ダブルエナジーサークル+超強スパークバレット
ラックスキル：クリティカル

木属性

☆6 ユミーネ傭兵団員 ロシン・K・カンテラス

反射 スピード型 獣族

超アンチ重力バリア／超マイインスイーパーL／アンチワープ
ゲージ：渾身／アンチ減速壁／SSターン短縮

SS：エーテルソード【19+4ターン】

最初に触れた敵にエーテルソードで攻撃＆貫通タイプになつて駆け回る＆停止後に追撃

ボイス

①「ストレミング剣殺法・異端！エーテルソードッ!!」

②「覚悟しろリアリスト！俺が必ず、お前らを討つ！」

③「俺は絶対に奴らを許さねえ：復讐は絶対に為し遂げる！」

友情コンボ：超強破裂斬撃弾+超強次元斬

ラックスキル：クリティカル

「解説」

SSは、最初に触れた敵に張り付いて打撃したあと、貫通タイプになつて加速する、というもの。FFコラボのスコールに似ているが、貫通化と停止後の追撃はオマケのようなものである。なお、追撃は近くの敵に飛んでいく上に非直殴りである。

光属性

☆6 スクライブギルド長 メディア

貫通 砲撃型 亜人族

アンチ重力バリア／アンチ転送壁／スピードオーラ

ゲージ：状態異常回復／アンチ魔法陣／アンチ減速壁

S S：聖典の陽光【12+6ターン】

自身のスピードとパワーがアップ＆停止後に味方全体を回復＆一定ターン状態異常を無効化する

ボイス

- ① 「どんな綺麗事も、信じなくつちや叶わない！」
- ② 「聖典の教えが、私達を照らす光になるんです！」
- ③ 「聖典の世界じゃなくていい、あなたにここにいて欲しいんです、うつっさん！」

友情コンボ：ルミナスレイ+コピ－

【解説】

闇属性

☆5 大神官 コツド

貫通 砲撃型 亜人族

超反ダメ壁／超メインスイーパー／反風

ゲージ：アンチ転送壁

S S：ブリザード【20ターン】

スピードとパワーアップ＆停止後にすべての敵をブリザードで攻

撃

ボイス

- ① 「言つたろう。君は儂らが守ると」
- ② 「お主とて、こんな“死にぞこない”に下されたくなからう？」
- ③ 「人の意志は、貴様の“真実”などには負けぬ!!!」

友情コンボ：超絶全敵氷塊

二弾

火属性

☆6 タイキックの伝道士 タイキックさん

反射 スピード型 妖精

超アンチ重力バリア／アンチウインド／魔封じEL

ゲージ：超アンチワープ／ 超SSスターん短縮／底力M

SS：タイキック【18+8ターン】

スピードとパワーがアップ&最初に触れた敵にタイキックを放つボイス

- ① 「貴様の大罪：タイキックを以て味わうがいい！」
- ② 「誰かにしてあげた事は、巡り巡つて、自分の為になるんだ。そんな気がする。」
- ③ 「タイキックとは、我が脚技にあらず：私の生き方そのものだッ！」

友情コンボ：超強スパークバレット+防スピアアップ
ラックスキル：クリティカル

水属性

☆5 未来を見る女神候補生 ランプ

貫通 スピード型 亜人族

超マインスイーパー／超アンチ減速壁／回復

ゲージ：アンチ転送壁／アンチダメージウォール

SS：シャイニング・ダイアリー【16ターン】

スピードとパワーがアップ&触れた味方の防御力をアップする&最初に触れた敵にシャイニング・ダイアリーで攻撃

ボイス

- ① 「こう見えて私だつて、神殿の一員なんです！」
- ② 「ご安心を、きららさん！ 私が、皆さんをお守りします！」
- ③ 「正解のない世の中で、少しでも前に進む為に聖典がある！」

木属性

☆5 ランプの保護者 マツチ

反射 バランス型 妖精

飛行／水属性耐性／アンチ魔法陣

ゲージ：超アンチワープ／SSターンチャージ

SS：マッチの援護【16ターン】

スピードとパワーがアップし、ふれた味方のパワーを一定期間アップ＆ガイドを付与する

ボイス

①「これでも君の保護者なんだ。これくらいの甲斐性は出させてくれよ」

②「やれやれ、これだからランプはほつとけない」

③「僕はペツトじやない！保護者だ！」

友情コンボ：壁バウンド弾

【解説】

光属性

☆6 絆を繋ぐ伝説の召喚士 きらら

反射 バランス型 亜人族

超マインスイーパーM／アンチ魔法陣／ゲージ倍率保持

ゲージ：アンチ減速壁／ドレインM／状態異常底力

SS：コール＆ミラクル【12+12ターン】

クリエメイト達を『コール』で召喚して駆け回る＆停止後にすべての敵に総攻撃

ボイス

①「クリエメイトの皆さん、力を貸して！」

②「思い出して！あなた達の絆は、決して弱くない！」

③「人の絆を勝手に切つて、踏みにじる…そんな人なんて、絶対に許さない！」

友情コンボ：バウンドヒール＋超強防御ダウンブラスト
ラックスキル：シールド

【解説】

停止後の総攻撃は、敵の最大HPに依存する割合攻撃（1段階目11・5%、2段階目15・7%）。敵全体に安定した火力を出すこと

が出来る。

闇属性

☆6 勇気を貰い進む者 住良木うつつ

反射 スピード型 亜人族

バリア／ノーダメヒール／超アンチ減速壁

ゲージ：アンチ転送壁／アンチ魔法陣

S S：私が何者だろうと……【16+6ターン】

パワーがアップ＆スピードがダウン＆ふれた味方を回復＆停止後に闇の力と絆の力を召喚して攻撃

ボイス

- ①「私は人間だよ…臆病で、ちっぽけで…でも、ひとりじゃない！」
- ②「人が目の前で死んでいく…そんなのもう嫌！たくさんだよ！」
- ③「私が何者だろうと…メディアだけは守りたいんだあつ…！」

友情コンボ：友スピアップ＋コピー

ラツクスキル：友情クリティカル

【解説】

S Sは、停止後の追撃がボスに飛ぶS S。直殴りと非直殴り、割合ダメージの複合攻撃であり、ワンパンが狙えるS S。乙骨のようなS Sと感覚は似ているが、スピードがダウンする点には要注意。

配布キヤラ

光属性

☆6 八賢者ローリエ＆召喚士きらら

反射 バランス型 亜人族

無属性耐性M／超アンチダメージウォール

ゲージ：超アンチ減速壁／S Sターン短縮／カウンターキラー

S S：一斉掃射＆『コール』【21ターン】

ローリエときららで駆け回る＆停止後に最初に触れた敵を二ト口アントで爆破し、『コール』したクリエメイトが総攻撃ボイス

きらら「ローリエさん、お願ひします！」ローリエ「OK。露払いは任せな！」

友情コンボ：乱気弾+超強跳弾

【解説】

コラボ開始時に一体だけ配布される「ローリエ&きらら」を、獣神化させることで入手可能。書庫に復活するコラボクエスト『輪・廻・転・生』を周回することでも入手が可能で、ラツクを99にすることも可能。

SSは最初に触れた敵を追撃するSSで、ニトロアントの爆破は固定ダメージ(140万)、その後のクリエメイトの総攻撃に打撃倍率が乗り、ダメージは次ゲージに持ち越されるようになる。

余談だが、『コール』するクリエメイトは宮子、八神コウ、くるみ、トオル、カレン、あやめ、紺に加えてココア、桃、トモカネ、平沢唯を含めた11人のうち4人がランダムで呼び出されるが、ダメージに変化はない。

闇属性

☆6 神殿の要 ローリエ&アルシーヴ

貫通 砲撃型 亜人族

全属性耐性(ラツクラツク1で全属性耐性(無印)のダメージ軽減率の半分ほど、ラツクが上がる毎に軽減率が上がり、ラツク99で全属性耐性Mと同等の軽減率となる。)／超マインスイーパーM／超アンチ重力バリア

ゲージ：アンチブロック／SSターンチャージ

SS：レント&イービルストーム・デミニッショ【12ターン】

自身のスピードとパワーが超特大アップ&ブロック、減速壁、二一ドル、魔法陣を無効化する＆停止後にイービルストーム・デミニッショで全ての敵を攻撃

ボイス

アルシーヴ「デカいのを放つ。ローリエ、援護しろ！」ローリエ「了解！時間はたっぷり稼いであげるさ」

友情コンボ：ハイクロスステインガーラウンドバースト

【解説】

「ローリエ&きらら」「ローリエ&アルシーヴ」からスライド獣神化することで入手可能。

スライド進化は、コラボクエスト『わたしの銃士様』をクリアすることで可能になっていたが、こちらの獣神化に特に条件は必要ない。SSは攻撃力は1・5倍、スピードは2・25倍、減速率2割減と優秀な倍率はそのままに、敵全体を非直殴りで追撃するようになつた。基本的に安定した火力は出るが、特殊なステージや高難易度では火力が出にくい点に注意。

降臨①

火 ☆4 リコリス&ヒナゲシ

『我らはリアリスト』

火 ☆5 エニシダ

『はじめらなかつた物語』 ※常設クエスト

水 ☆5 ロベリア&スズラン

『うつのはひとりぼっち』

水 ☆5 スイセン

『ご注文はゲリラですか?』

木 ☆4 ダチュラ

『“毒手”のダチュラ』

光 ☆5 サンストーン

『連鎖する悪夢』

闇 ☆5 ハイプリス

『終わつて始まる物語』 ※超究極

【解説】

「リコリス&ヒナゲシ」「ロベリア&スズラン」「スイセン」「ダチュラ」「サンストーン」は道中ドロップ、ボスドロップ、クリア報酬・ノーリコン報酬・ラック報酬によつて入手することができます。「ハイプリス

ス」はクリア報酬・ノーコン報酬・ラック報酬から必ずドロップしますキング・ブラッドレイやメルエム、獣の巨人ジークと同じ方式。

「エニシダ」はボスドロップによつてのみ入手できます。また、クエストにコラボ限定キャラを編成していくと、追加ドロップが出る可能性があります。また、1日1回クリアで7体ずつ入手することができます。

火属性

☆5 真実の手 “弓手” のヒナゲシ & “左手” のリコ里斯
貫通 スピード型 亜人族

アンチ減速壁／アンチダメージウォール／亜人キラーM
SS：スコールボルト&ハリケーネスリリー【18ターン】

自身がスピードアップし、ヒナゲシが弓で援護射撃＆停止後に全ての敵にハリケーネスリリーを放つ
ボイス

リコ里斯「理解できない紙束は、全部燃やしてあげる！」ヒナゲシ
「お姉様、援護するの！」

友情コンボ：超強貫通拡散弾EL5

火属性

☆5 真実の手 “歌手” のエニシダ

反射 砲撃型 亜人族

アンチ減速壁／アンチ重力バリア

ゲージ：アンチ転送壁

SS：ワタクシの歌に酔いしれなさい！【20ターン】

スピードとパワーがアップ＆停止後に呪いの歌で範囲内の敵を攻

撃

ボイス

「ワタクシの歌に酔いしれなさい！」

友情コンボ：全敵ロックオン衝撃波3
ラックスキル：クリティカル

水属性

☆6 真実の手 “妙手” のロベリア & “魔手” のスズラン

反射 バランス型 亜人族

アンチ魔法陣／火属性耐性

ゲージ：アンチ転送壁／妖精キラーM

S S：デモンスキャッター＆進攻計【12ターン】

触れた敵すべてにデモンスキャッターで追い打ち&味方全体の攻撃力をアップさせる

ボイス

ロベリア「払つた分の仕事くらいしなさい！」スズラン「へいへい、勿論やらせてもらいますよつと」

友情コンボ：マーキングボム

ラックススキル：友情クリティカル

水属性

☆6 真実の手 “射手” のスイセン

貫通 砲撃型 亜人族

マインスイーパーM／火属性キラー

ゲージ：アンチワープ

S S：ブランクショット【18ターン】

スピードとパワーがアップ&触れた最初の敵にブランクショットで追い打ち

ボイス

「聖典じやあ、お腹は満たせないんよ！」

友情コンボ：超強跳弾

ラックススキル：ガイド

木属性

☆5 真実の手 “毒手” のダチュラ

反射 スピード型 亜人族

アンチ減速壁／アンチ転送壁／毒無効

ゲージ：アンチ重力バリア／毒キラー

S S：この毒、イツマデ耐える？【12ターン】

スピードとパワーがアップ&触れた敵からHPを吸収し、毒状態にする

ボイス

「この毒…イツマデ耐え、られる？」

友情コンボ：超強中距離毒拡散9

光属性

☆6 真実の手 “右手” のサンストーン

反射 バランス型 亜人族

超アンチウインド／闇属性キラーレ

ゲージ：アンチワープ

S S：暁光・絶【20ターン】

ふれた最初の敵に暁光・絶で攻撃

ボイス

「これで終わりだ…すべて断ち切る！」

友情コンボ：超強次元斬

ラツクスキル：クリティカル

闇属性

☆6 リアリストの首魁 ハイブリス

貫通 スピード型 亜人族

マインスイーパー／アンチ転送壁／リジエネM（ラツク）

ゲージ：アンチ減速壁／SSターン短縮

S S：シャドウ・オブ・デスペア【24ターン】

スピードとパワーがアップ&停止後にすべての敵をシャドウ・オブ・デスペアで攻撃

ボイス

「お前たちに、真実の絶望を見せてやる。」

友情コンボ：グリッターボール

ラックスキル：ガイド

降臨②

火 ☆5 ベニバナ

『ベニバナ・ザ・デザイナー』

水 ☆4 インディゴ

『Pを求める者／さまよえる藍色』

木 ☆5 リネン&ソイ&マリファ

『壊れた心をボンドで繋げ』

光 ☆5 マーベリー

『絶望からの帰還者』 ※常設クエスト

光 ☆6 新世界 “エリュシオン”の主宰神 木月桂一

『レント・アンド・エリュシオン』 ※超究極

闇 ☆6 彷徨える断罪者 サンストーン

『姉妹』 ※超究極

闇 ☆4 クローブ

『全てを賭して』

【解説】

「ベニバナ」「インディゴ」「マーベリー」「クローブ」は道中ドロップ、ボスドロップ、クリア報酬・ノーコン報酬・ラック報酬によつて入手することができます。

「リネン&ソイ&マリファ」はボスドロップによつてのみ入手できます。また、クリアにコラボ限定キャラを編成していくと、追加ドロップが出る可能性があります。また、1日1回クリアで7体ずつ入手することができます。

「彷徨える断罪者 サンストーン」は超究極クエストとして降臨します。クリアすると「クリアボーナス」として「サンストーン（光・☆5）」の「彷徨える断罪者 サンストーン（闇・☆6）」へのスライド進化が解放されます。

「新世界 “エリュシオン” の主宰神 木月桂一」は特定の条件「ベニ

「バナ・ザ・デザイナー」「壊れた心をボンドで繋げ」「絶望からの帰還者」「姉妹」を全てクリアをクリアすることで、超究極クエストとして常時出現し挑戦することができるようになります。クエストをクリアすると「クリアボーナス」として「優しき理想郷の体現者 木月桂一（光・☆6）」が運極で1体ゲットできます！また、「優しき理想郷の体現者 木月桂一」は「新世界『エリュシオン』の主宰神 木月桂一」へのスライド進化が可能です！

火属性

☆6 新世界の神デザイナー ベニバナ

貫通 バランス型 亜人族

アンチ重力バリア／幻竜封じ

ゲージ：超アンチダメージウオール（ラック）／バイタルキラー

SS：チノとノダミキと色彩魔法【26ターン】

スピードとパワーがアップ＆停止後にすべての敵に色彩魔法をかけ、攻撃ターンを増加させるボイス

「アタシのデザインは世界一！こんな天職、他にないんだから！」

友情コンボ：超強全属性ホーミング弾15

ラックスキル：シールド

水属性

☆5 新世界のヒーロー志望 インディゴ

反射 バランス型 亜人族

マイインスイーパー／魔法陣ブースト

ゲージ：アンチ転送壁／ダッシュ

SS：擬似・武装明晰夢【14ターン】

スピードとパワーがアップ＆最初に触れた敵に再現した武装明晰

夢を放つ

ボイス

「悪い奴は絶対にゆるさない！それが正義つてものだろ？」

友情コンボ：衛星弾6

木属性

☆6 新世界に蘇る絆 リネン&ソイ&マリファ

反射 砲撃型 魔族

アンチ重力バリア／アンチ転送壁／アンチウインド

S S：擬似・三人の魔法少女【16ターン】

リネンとソイとマリファで駆け回る＆最初に触れた敵に再現した魔法少女たちの力で総攻撃

ボイス

リネン「力を貸して、ソイ、マリファ！」ソイ「勿論だよりネン」マ

リファ「あなたを1人にはしないから！」

友情コンボ：超強貫通ホーミング12

ラックスキル：ガイド

光属性

☆6 新世界の音楽の鬼才 マーベリー

貫通 パワー型 亜人族

アンチ転送壁／アンチ魔法陣

ゲージ：アンチ減速壁／アンチブロツク

S S：擬似・夢魔の力【16ターン】

狙った方向に、音符とベアリング弾を放つ

ボイス

「これは私の音楽……これは私の命そのもの！」

友情コンボ：三方向追撃貫通弾

ラックスキル：友情クリティカル

光属性

☆6 優しき理想郷の体現者 木月桂一

反射 バランス型 亜人族

超反重力バリア／反風／超レーザーストップ

ゲージ：超アンチダメージウォール

S S：創世魔法『エリュシオン』【23ターン】

スピードとパワーがアップ&触れた敵の攻撃力と防御力を吸収&

停止後にHPが全回復

ボイス

「これが私のエリュシオン：悪意など存在しない、優しい世界だ…」

友情コンボ：全敵貫通分裂弾

ラックスキル：クリティカル

光属性

☆6 新世界『エリュシオン』の主宰神 木月桂一

反射 砲撃型 神

アンチダメージウォール／アンチ転送壁／全属性キラー（ラック）
ゲージ：アンチ減速壁／バイタルキラー（ラック）／状態異常回復

S S：レント秘奥義・魔拳『冥王』【23ターン】

最初に触れた敵に魔拳『冥王』で攻撃

ボイス

「歯を食いしばれ、死ぬより痛いぞ。魔拳『冥王』!!」

友情コンボ：ランページウォールボム

ラックスキル：クリティカル

闇属性

☆5 新世界のゲームマスター クローバー

貫通 スピード型 亜人族

マインスイーパー／幻獣キラー／獣キラー
ゲージ：アンチダメージウォール／アンチ転送壁

S S：契約魔法・ポーカーフエイス【12ターン】

スピードとパワーがアップ&停止後に全ての敵に契約魔法をかけ、確率でマヒさせる

ボイス

「私の契約は絶対の魔法。破れる者など存在しません」

友情コンボ：超強プラズマ

闇属性

☆6 彷徨いし断罪者 サンストーン

貫通 パワー型 亜人族

アンチ重力バリア（ラック）／アンチウイング
ゲージ：アンチブロツク／ダッシュM

S S：黎明・絶【24ターン】

スピードとパワーがアップ&停止後に最初に触れた敵に黎明・絶を放つ

ボイス

「ウウウツ……ウ、アアアアアアアアアアアツ!!!」

友情コンボ：超絶トライブパルス

ラツクスキル：クリティカル

クエスト演出・ボイス

火☆5—6『ベニバナ・ザ・デザイナー』

登場時：「アタシにも輝ける場所がある、だから退くわけにはいかないのよ」

撃退時：「この仕事は天職よ、アタシの力で勝ち取ったの！」

撃破時：「あーあ…これでアタシ、また職なしかあ…」

水☆4—5『Pを求める者／さまよえる藍色』

登場時：「父ちゃんと母ちゃんのため：お前らはここで倒す！」

撃退時：「ヒーローなんだろ…だつたらなんで悪者を庇うんだ！」

撃破時：「父ちゃん、母ちゃん、ゴメン…俺…間違つてた…！」

木☆5—6『壊れた心をボンドで繋げ』

登場時：マリファ「こつから先には、絶対に行かせない！」ソイ「行かせたら、またリネンが壊れちゃうから…！」

撃退時：リネン「援護お願い！」マリファ「オーケー、リネン」ソイ「任せて、リネン」

撃破時・リネン「嫌だよお…また一人ぼっちになっちゃうよお…！」

ソイ「リネン…」

光☆5—6『絶望からの帰還者』

登場時：「私は…自分の耳で曲を書きたい！」

撃退時：「必死になるとも…自分の命がかかっているんだから」

撃破時：「次はなんの曲を書こうかな…」

光☆6『レント・アンド・エリュシオン』

登場時：「よく来たね。じやあ…始めよう」

登場時2ローリエ&アルシーヴ、アルシーヴのいずれか（つまりアルシーヴがいるキャラ）を編成してボス戦に突入でこちらの台詞に変更・アルシーヴ「返してもらうぞ木月桂…私の、大切な人をツ!!」

登場時3きらら&ランプ、きらら&ローリエ、きららのいずれか（つまりきららがいるキャラ）を編成してボス戦に突入でこちらの台詞に変更・きらら「いっぱい悩んだし、苦しかつた時もあった。けど、それが私達の道です!!」

登場時4ヒナゲシ&リコリスト、エニシダ、ロベリア&スズラン、スイセン、ダチュラ、サンストーン、ハイプリスのいずれか（つまりアリストのうち誰か）を編成し、かつきららかローリエかアルシーヴがいるキャラを編成していない時にボス戦に突入でこちらの台詞に変更・テロリストに対話の余地はない。ひとり残らず、責任を持って処刑してあげよう

撃退時：「言つたはずだ。『私は勝ちに行く』ってね…！」

撃破時：「どうしてなんだ…どうして、マキナがツ！うあああ、ああ、あ、あ、あ、あーツ!!」

撃破時2きらら&ランプ、きらら&ローリエ、きららのいずれか（つまりきららがいるキャラ）のSSで撃破でこちらの台詞に変更・木月「甘すぎる…そんなに甘いと、またハイプリスみたいな悪党に殺されてしまうよ?」きらら「一人じゃないなら、木月さんみたいな人にも負けません！」

闇☆6『姉妹』

登場時：「わ、わた、私、は…ウ、ア、アアアアアアアアアツ！」

登場時 2きらら＆ランプ、きらら＆ローリエ、きららのいづれか（つまりきららがいるキャラ）を編成してボス戦に突入でこちらの台詞に変更：きらら「待つて。絶対助けるよ！だつて私は……お姉ちゃんだから！」

撃退時：「に……逃げ、ろ……今すぐに……！」

撃破時：「また、助けられてしまつたな……」

撃破時 2きらら＆ランプ、きらら＆ローリエ、きららのいづれか（つまりきららがいるキャラ）のSSで撃破でこちらの台詞に変更：きらら「大丈夫。もう、平気だからね」サンストーン「姉、さん……！」

闇☆4—5『全てを賭して』

登場時：「私の平穏な道のどこに、悪党が出てきた？」

撃退時：「負けて下さいとは言いません。どうか私の気持ちを汲んで欲しいのです……」

撃破時：「貴女がたら、もしかしたら、奇跡起こせるかもしだせん……」

メダパニをとなえた！　○○のあたまはこんらんした！

きらら

・きららはコールをつかおうとした。…しかしだれをよぼうとしたのか忘れてしまった！

「…あれえ？ 誰を呼ぼうとしたんだつけ…？」

・きららはとつぜんツンツーンをとりだして（敵）にかけようとした！ しかしきかなかつた！

「これにはツンツーンがよく合うんですよ！」

・きららは コール＆レスポンスをはなつた！ しかしなにもおきなかつた！

「きらら☆スカーレットストーム！」

ランプ

・ランプはいきなりカメラをとりだし サッ見えいをはじめた！

「みなさんのあんなところやこんなところを撮つちやいますよ！うへへへへ…！」

・ランプは 突然メイド服にきがえだした！

「子供扱いしないでください！ わたしだつて…！」

・ランプは 聖典をとりだしてよみはじめた！ しかしながらおこらなかつた！

「えーと、こういう時の打開策は…!!」

メディア

・メディアはじゅもんをとなえ…しまつた！ ジュもんをド忘れしてしまつた！

「イオ…えーと、な、なんでしたつけ??」

・メディアは 聖典をとりだしてよみはじめた！ しかしながらおこらなかつた！

「ええと、あの敵ができるだけ派手にやつつけるためには…!!」

・メディアは アイドル活動をはじめた！ しかしながらおこらな

かつた！

「スクライブギルドのメデイアですっ！ よろしくお願ひします！」

うつつ
・うつつは ホームシックにかかつて いる！

「はあ……日本が 恋しい…」

・うつつは（敵）にボールを投げた！ しかし当たらなかつた！
「うう…あの球みたいに曲がらないよお…」

・うつつは正気に戻つた？ …いいや、やっぱり正気に戻つていな
い！

「わたしは しようきに もどつた！」

アルシーヴ

・アルシーヴは 受け身の体制をとつた！ しかしなんの意味もな
かつた！

「くつ……殺せ！」

・アルシーヴは急に親父ギャグを思い出した！

「温泉といえばフーコ……くつ」

・アルシーヴはは 覚悟をきめた！ しかしなにもおこらなかつた

！

「最も恐れるのは……この怒りがやがて風化してしまわなかつた
とだ……！」

ソラ

・ソラは 聖典のしめきりで焦りだした！

「うわああ！ 原稿の締め切りがあああ!!」

・ソラは イースターエッグを取り出し なではじめた！

「うふふ…私のかわいいこども…」

・ソラは とつぜんおうえんをはじめた！ しかしなにもおこらな

かつた！

「がんばれ ♡ がんばれ ♡」

シユガ一

・シユガ一は 盆踊りを おどつて いる！

「はあどつこい！ はあよいしょ！」

・シユガードは とつぜん なきだした！ しかしなにもおこらなかつた！

「うえーん！おうちに帰りたいよう！」

・シユガードは いきなりガツツポーズを決めた！ しかしなにもおこらなかつた！

「やつたぜシユガード！」

セサミ

・セサミは 装備をぬぎはじめた！ しかしこれ以上はあぶなすぎた！

「ふう……」は暑いですね……」

・セサミは（敵）にナンパをはじめた！ しかし（敵）は聞いていない！

「君が求めているのは、このオレさ！」

・セサミは 急に一斗缶をあたまにかぶつた！マヌーサ状態になる。

「これで防御は完璧です……！」

カルダモン

・カルダモンは 急にまきわりをはじめた！ しかしながらおこらなかつた！

「そいやー！ そいやー！」

・カルダモンは いきなり説教をはじめた！ しかしながらおこらなかつた！

「違いを楽しみ、楽しみが続けば種を好む。尊敬には信頼が加わり紛れを生み出していく。」

・カルダモンのこうげき！ しかしいきおいあまつてすつころんだ！ さいわいケガはなかつた！

「遅……きやああつ！」

ソルト

・ソルトは とつぜん英語で手紙を書き始めた！

「イロハニホヘト…チリヌルウオ……」

・ソルトは（敵）に説教をはじめた！ しかし（敵）は聞いていな

い！

「いいですかシユガ一。なにも怒りたいわけじゃありません。ここに座つてください。」

・ソルトは 小石をひろつて投げつけた敵1～3体に極小ダメージ。しかし大抵ミスる。！

「こ、これが、ソルトのオペレーションです！」

ジンジャー

・ジンジャーは とつぜんウサミミになつた幻覚を見だした！

「わ、私の耳があく!? もうおしまいだ……！」

・ジンジャーは 暗黒勇者のモノマネをはじめた！ しかしながらおこらなかつた！

「封印されし暗黒の炎を今こそ解き放つてやろう！」

・ジンジャーは ふいうちをしようとした！ しかしうまくいかなかつた！

「私は笑つて、普通に歩いて近づいて……アレ、なんだつけ？」

フエンネル

・フエンネルは急に アルシーヴの花嫁姿を妄想しだした！
「あああああ！私のアルシーヴ様があああ！」

・フエンネルはとつぜん くやしさと快感を感じだした！

「悔しい…わたくしにはアルシーヴ様がいるのに…！」

・フエンネルは アルシーヴの布教をしだした！ しかし（敵）は

聞いていない！

「いいですか、アルシーヴ様とはですね……」

ハツカ

・ハツカは いきなり同人誌のモブを演じはじめた！

「うほほつ、くつこうさせてやるぜー。」

・ハツカは なぞのじゅもんをとなえた！ しかしなにもおこらなかつた！

「情報結合の解除を申請する。」

・ハツカは 狩り物競争をはじめた！ なんとイノシシが突撃してきたハツカ以外の誰か1人に極小ダメージ。！

「任務達成。肉・捕獲完了！」

ローリエ

・ローリエは（味方の女性ひとり）にナンパをはじめた！しかし
ふられてしまった！

「どうだ？この後一緒にお茶でも……おつと、手厳しいな…」

・ローリエはあぶないみずぎをとりだした！しかしデザインが
気に入らなかつた！

「寛容だつた時が過ぎ去つてしまつたアアアーーーッ！」

・ローリエは新兵器をとりだした！しかしきわどすぎで使えなかつた！

「ネオアームストロングサイクロンジエットアームストロング砲
だアアー!!」

コリアンダー

・コリアンダーはハチマキで自分の目を塞いだ！そのままマヌーサ状態になる。

「大丈夫、俺最強だから」

・コリアンダーは魔道具の納期におわれて いる！

「しまつた！このままでは間に合わないーツ！」

・コリアンダーは覚悟をきめた！しかしながらおこらなかつた

！

「覚悟はいいか？俺はできる」

アリサ

・アリサは流し目を送つた！しかし（敵）は気にしなかつた！
確定で失敗する。

「駄目ですよ…私みたいな子供にそんな目を向けちゃあ……」

・アリサは（敵）に道をたずねた！しかし（敵）は答えてくれない！

「あのお…ザザンビーグにはどうやって行つたらいいでしようか？」

・アリサは（味方の女性ひとり）にぱふぱふをしてあげた！しかし（味方の女性ひとり）は気にしなかつた受ける相手によつてメツセージが異なる。セサミとソラは勝ち誇り、ランプ・うつ・ソルト

は嫉妬の目を向ける。いずれも味方の行動への影響なし。
「い、一生懸命がんばります…ぱふぱふ…ぱふぱふ…」
！

シャドウバース×きらファン八賢者カード集

八賢者・ローリエ コスト：4

クラス：ネメシス レア：レジエンド
タイプ：| 3／3→5／5

結晶1；カウンタダウン3

自分の場にアーティファクト・フォロワーが出るたび、それは突進を持つ。

自分がアーティファクト・カードをプレイするたび、自分のPPを1回復。この効果は1ターンに3回まで働く。

ラストワード：理想郷の顕現者・木月桂一を1枚手札に加える。
—————

『進化前』

ファンファーレ・とつておきとつておきとして記載されている数値以降のターンの場合に発動する。とつておきを持つカードが自分の手札にあるとき、自分の場のフォロワーが進化すると、手札のとつておきの値がー1され、1ターン早く働くようになる。15：相手のリーダーに15ダメージ。

『進化後』

進化時：自分の山札をX枚にするように山札のカードを消滅させる。Xは「現在の山札の枚数の半分」である。その後G型魔道具5枚、ルーンドローン5枚、ニトロアント5枚、ソニックビートル5枚をデッキに加える。

G型魔道具 コスト：1

クラス：ネメシス レア：レジエンド

タイプ：アーティファクト 2／1→4／3

『進化前』

ファンファーレ・ラストワード：カードを1枚引く。

『進化後』

ルーンドローン コスト：2

クラス：ネメシス レア：レジエンド

タイプ：アーティファクト $2 \swarrow 3 \downarrow 4 \searrow 5$

《進化前》

ファンファーレ：ルーンドローンを1体出す。

《進化後》

ニトロアント コスト：1

クラス：ネメシス レア：レジエンド

タイプ：アーティファクト $3 \swarrow 1 \downarrow 5 \searrow 3$

《進化前》

突進

ラストワード：相手のリーダーに3ダメージ。

《進化後》

突進

ラストワード：相手のリーダーに5ダメージ。

ソニックビートル コスト：2

クラス：ネメシス レア：レジエンド

タイプ：アーティファクト $3 \swarrow 2 \downarrow 5 \searrow 4$

《進化前》

疾走

守護を無視して攻撃できる。

ファンファーレ・連携20：進化する。

《進化後》

疾走

守護を無視して攻撃できる。

理想郷の顕現者・木月桂一 コスト：7

クラス：ネメシス レア：レジエンド
タイプ：— 6／6→8／8

アクセラレート1；八賢者・ローリエを手札に加える。

アクセラレート3；エリュシオンカードの中からランダムに異なる4枚をデッキに加える。その後、アクセラレートを持たない理想郷の顕現者・木月桂一を1枚、デッキに加える。カードを1枚引く。

《進化前》

ファンファーレ：自分のデッキをエリュシオンカードのデッキにする。

《進化後》

虚構の雷帝 コスト：5

クラス：ネメシス レア：レジエンド

タイプ：— 6／6→8／8

《進化前》

疾走

ファンファーレ：ブリッツツアーティファクト2枚を出す。それらは+2／+0され、「ターン終了時にこのフォロワーを破壊する。」を持つ。

《進化後》

疾走

隠蔽の化身 コスト：7

クラス：ネメシス レア：レジエンド

タイプ：— 10／5→12／7

《進化前》

ファンファーレ：相手の場のカードを3枚消滅させる。

《進化後》

強欲なる蝙蝠 コスト：6

クラス：ネメシス レア：レジエンド

タイプ：— 8／3↓10／5

《進化前》

疾走

ドレイン

相手の能力で選択できない。

《進化後》

進化前と同じ能力。

悪辣の戦獅子 コスト：9

クラス：ネメシス レア：レジエンド

タイプ：— 13／13↓15／15

《進化前》

突進

このフォロワーの6以上のダメージは5になる。
このフォロワーは1ターンに3回攻撃できる。

《進化後》

進化前と同じ能力。

諦念の蛇使い コスト：4

クラス：ネメシス レア：レジエンド

タイプ：— 4／4↓6／6

アクセラレート0；相手のフォロワー1体に3ダメージ。諦念の蛇
使い1枚をデッキに加える。

アクセラレート1；相手のフォロワー1体に3ダメージ。諦念の蛇
使い1枚を手札に加える。

《進化前》

ファンファーレ：相手のフォロワー1体に5ダメージ。

—————

『進化後』

進化時：相手のフォロワー2体に8ダメージ。

救済に奉ずる者 コスト：2

クラス：ネメシス レア：レジエンド
タイプ：— 2／4↓4／6

『進化前』

ファンファーレ：自分のEPを2回復する。

『進化後』

進化時：相手のリーダーは「残り体力が10以上、またはデツキが残り15枚以上の時、進化をすることができない」を持つ。

煉獄のドラゴネット コスト：8

クラス：ネメシス レア：レジエンド
タイプ：— 7／7↓9／9

『進化前』

ファンファーレ：相手のフォロワー全ては1／1になり、「このフォロワーは攻撃できない」を持つ。その後、相手の場が最大になるまで、煉獄の燃えカスを出す。

ターン終了時、ランダムな相手のフォロワー1体と相手リーダーに6ダメージ。

『進化後』

ターン終了時、ランダムな相手のフォロワー1体と相手リーダーに8ダメージ。

煉獄の燃えカス コスト：1

クラス：ネメシス レア：レジエンド
タイプ：— アミュレット

カウントダウン2

自分のフォロワーが破壊された時、相手の場に煉獄のドラゴネットがいれば、カウントダウンを+1する。

このアミュレットが場を離れた時、自分のリーダーに1ダメージ。

天秤を握るもの コスト：3

クラス：ネメ시스 レア：レジエンド

タイプ：— 4／5→6／7

《進化前》

ファンファーレ・相手のリーダーは「次の次のターン終了時まで、受けるダメージを+2する」を持つ。自分のリーダーは「次のターン終了時まで、受けるダメージを+1する」を持つ。

《進化後》

レント・アイスエイジ コスト1

クラス：ネメ시스 レア：レジエンド

タイプ：— スペル

次の相手のターン終了時まで、相手リーダーの手札のスペルのコストを+10する。

次の自分のターン開始時まで、自分のリーダーは「2以上の受けるダメージを1にする」を持つ。

レント・アマノムラクモ コスト3

クラス：ネメ시스 レア：レジエンド

タイプ：— スペル

相手のフォロワーかアミュレットを1体消滅させる。相手リーダーにXダメージ。Xは「この効果で選択したカードのコストと同じ数字」である。

レント・ヨモツヒラサカ コスト5

クラス：ネメ시스 レア：レジエンド

タイプ：— スペル

相手の場のフォロワー全てを破壊する。

レント・ヤタノカガミ コスト1

クラス：ネメ시스 レア：レジエンド

タイプ：— スペル

カードを2枚引く。

自分のリーダーは「次のターン終了時まで、自分がダメージを受けた時、自分ではなく相手のリーダーにダメージを与える」を持つ。

八賢者・カルダモン コスト：3

クラス：ヴァンパイア レア：レジエンド

タイプ：— 2／2↓3／3

《進化前》

疾走

ファンファーレ・とつておき7：+1／+1して、進化する。

ファンファーレ・エンハンス5：+1／+1して、「このフォロワーはEPを消費せずに進化できる（1ターンに1体までしか進化できない上限は変わらない）」を持つ。

《進化後》

疾走

このフォロワーは、2回攻撃できる。

八賢者・フェンネル コスト：4

クラス：ロイヤル レア：レジエンド

タイプ：兵士 3／5↓5／7

アクセラレート2：クイックブレーダー1体とシールドガードィアン1体を出す。

—————

《進化前》

守護

相手リーダーがフォロワーを選択するとき、このフォロワーしか選択できない。

ファンファーレ・とつておき8：相手のフォロワー1体に7ダメー

ジ。「このフォロワーは、カードの能力によつて破壊されない（ダメージによつては破壊される）」を持つ。

《進化後》

進化時：フォートレスガードを2体出す。その後、この効果を除了した連携が10以上の時、自分のフォートレスガードすべてを+1/+1する。

守護

相手リーダーがフォロワーを選択するとき、このフォロワーしか選択できない。

八賢者・シユガ－ コスト：3
クラス：エルフ レア：ゴールド
タイプ：| 2 / 1 ↓ 4 / 3

《進化前》

ファンファーレ：八賢者・ソルトを1体出す。このターン中に（このフォロワーを含めず）2枚以上プレイしていたなら、相手のリーダーがフォロワー1体に3ダメージ。

ファンファーレ・とつておき7：相手のフォロワー1体に5ダメージ、相手のリーダーに3ダメージ。

ターン終了時、自分の手札にあるフェアリーウィスプをランダムで1体+1/+1する。

《進化後》

ターン終了時、自分の手札にあるフェアリーウィスプをランダムで1体+1/+1する。

八賢者・ソルト コスト：3
クラス：エルフ レア：ゴールド
タイプ：| 1 / 2 ↓ 3 / 4

《進化前》

ファンファーレ・八賢者・シユガ－を1体出す。このターン中に（このフォロワーを含めず）1枚以上プレイしていたなら、自分のデッキ

からフォロワー以外のカードを1枚手札に加える。

ファンファーレ・とつておき7：自分の場のフォロワー全てを+1/+1し、このフォロワーは「交戦時・ダメージを与えあう前に交戦する相手フォロワーに2ダメージ。」を持つ。

ターン終了時、フェアリーウィスプを手札に加える。

《進化後》

ターン終了時、フェアリーウィスプを手札に加える。

八賢者・ジンジャー コスト：5

クラス：ドラゴン レア：レジエンド

タイプ：— 4／3→6／5

アクセラレート3；自分のPP最大値を+1する。その後、攻撃力1／体力1の八賢者・ジンジャーを出す。

《進化前》

突進

ファンファーレ・とつておき9：相手フォロワーを1体破壊する。相手リーダーに3ダメージ。相手のデッキを5枚消滅させる。

ターン終了時、自分のEPが相手よりも多いならば、このフォロワーの体力を最大値まで回復する。

《進化後》

突進

ターン終了時、自分のEPが相手よりも多いならば、このフォロワーの体力を最大値まで回復する。

八賢者・セサミ コスト：5

クラス：ウイツチ レア：レジエンド

タイプ：— 2／3→4／5

《進化前》

スペルブースト：コスト—1

ファンファーレ：スペルブーストする。

ファンファーレ・とつておき8・相手の場のフオロワー全てに3ダメージ。その後、相手のターン終了まで、相手のリーダーは「自分の直接召喚能力は働かない」を持つ。

『進化後』

進化時：次のどちらかをチョイスして手札に加える。この効果で手札に加えたカードのコストを—3する。

- ・氷像の召喚
- ・アイシクルランス
- ターン終了時、スペルブーストする。

八賢者・ハツカ コスト：2

クラス：ネクロマンサー レア：レジエンド
タイプ：— 2／2↓4／4

このカードが葬送によつて墓地に送られた時、八賢者・ハツカを1枚デッキに加える。

このカードがリアニメイトによつて場に出た時、それは「突進」と「ラストワード」。破壊されたターン終了時に八賢者・ハツカを「デッキに加える」を持つ。

『進化前』

ファンファーレ・とつておき8・秘術『夢幻仙鏡』を1枚手札に加える。

『進化後』

進化時：八賢者・ハツカを2体出す。自分の場のすべての八賢者・ハツカを+X／+Yする。Xは『このバトル中に破壊された八賢者・ハツカの数』である。Yは『このバトル中に破壊された八賢者・ハツカの数の半分（端数は切り捨て）』である。

秘術『夢幻仙鏡』 コスト：1

クラス：ネクロマンサー レア：レジエンド
タイプ：— スペル

自分のフォロワー1体は、「ラストワード・自分の他のフォロワーとリーダーを1回復する」を持つ。

それが八賢者・ハッカである場合、更に+X/+Xして、「このフォロワーは攻撃されない」と「攻撃時・守護フォロワーに攻撃した場合、ダメージを与えあう前にそのフォロワーを破壊する。」を持つ。
Xは「自身の墓場の数」で決まる。

Xは「自身の墓場の数」で決まる。

6以下の場合は、X=1。

7以上の場合は、X=2。

12以上の場合は、X=3。

24以上の場合は、X=4。

31以上の場合は、X=5。

筆頭神官・アルシーヴ コスト：6

クラス：ビショップ レア：レジエンド

タイプ：— 4/4↓6/6

《進化前》

ファンファーレ・とつておき10：相手のフォロワー1体に3ダメージ。その後相手のフォロワー全てに4ダメージ。

ファンファーレ：自分のリーダーは「自分のリーダーが回復するた
び、以下の能力が順番に発動する。上限は1ターンに6回。」を持つ。
リーダーはこの能力を重複して持たない。

1. 自分のフォロワーすべては+1/+1する。
2. 相手のランダムなフォロワー1体に3ダメージ。
3. 自分のランダムなフォロワー1体を+2/+1する。

ターン終了時、自分のリーダーを3回復。

《進化後》

ターン終了時、自分のリーダーを3回復。

女神ソラ コスト：4

クラス：ニュートラル レア：ゴールド

タイプ：— 3/4↓4/5

『進化前』

ファンファーレ：八賢者・シユガード、八賢者・ソルト、八賢者・カルダモン、八賢者・セサミ、八賢者・ジンジャー、八賢者・フエンネル、八賢者・ハツカ、八賢者・ローリエ、筆頭神官アルシーヴの中から、ランダムで1体を出す。

ファンファーレ・とつておき8・ランダムで1体を出すのではなく、3枚チョイスして場に出す。その後、それらは進化する。

『進化後』

進化時：八賢者・シユガード、八賢者・ソルト、八賢者・カルダモン、八賢者・セサミ、八賢者・ジンジャー、八賢者・フエンネル、八賢者・ハツカ、八賢者・ローリエ、筆頭神官アルシーヴの中から、このカードの能力で出したフォロワーとは名前の異なる1体をランダムで出す。

召喚士きらら コスト：3

クラス：ニュートラル レア：レジエンド
タイプ：— 3／2→5／4

『進化前』

ファンファーレ：ファンファーレ能力を持つフォロワーを1枚、自分のデッキから手札に加える。

このフォロワーをプレイした時、このバトルが始まってからカードを合計12枚以上プレイしていたなら、女神候補生ランプとマッチを出す。

『進化後』

進化時：自分のPPを1回復。自分の手札の「とつておき」を持つ「フォロワー」すべてのとつておきを—2する。

女神候補生ランプ コスト：4

クラス：ニュートラル レア：レジエンド
タイプ：— 2／2→4／4

『進化前』

ターン終了時、自分の手札が5枚以下なら、5枚になるようにカードを引く。

ラストワード：新たなる聖典を1枚出す。

《進化後》

ラストワード：新たなる聖典を1枚出す。

新たなる聖典 コスト：4

クラス：ニュートラル レア：レジエンド

タイプ：— アミュレット

ファンファーレ：女神候補生ランプ1体とマツチ1体を出力。カウントダウン2

ターン終了時、自分のフォロワー全てを+1/+1する。

ラストワード：新たなる聖典1枚か2枚をデッキに加える。このバトル中に破壊された新たなる聖典が（これを含めずに）1枚なら、カードを2枚引く。

2枚なら、相手のランダムなフォロワー1体を破壊する。

3枚なら、自分のリーダーを5回復。

4枚以上なら、このバトルに勝利する。

マツチ コスト：4

クラス：ニュートラル レア：レジエンド

タイプ：— 1/1↓3/3

《進化前》

守護

このフォロワーへの2以上のダメージは1になる。

《進化後》

進化前と同じ能力。

英靈デーツ：ローリエ

ローリエ・ベルベット

【召喚】

(男性版)

「アーチャー・ローリエ、召喚に応じ参上奉った。

……ここ、カルデアか？マジか…え、なんでそんなこと知ってるかつて？

ま、それはおいおいな。これからよろしく。」

(女性版)

「アーチャー・ローリエ、召喚に応じ参上奉った。

……君みたいな可愛い子に召喚してもらえるとは、男の榮誉だな。余計なお世話かもしけんが、これからどうぞよろしく。』

【基本データ】

クラス：アーチャー

ランク：☆5

天地人：人

属性：中立・善

出典：『きららファンタジア 魔法工学教師は八賢者』

I L L U S T：三毛猫

C V：中途半端な田舎の魔獣

パラメータ：

筋力・A

耐久・B

敏捷・B+

魔力・E

幸運・EX

宝具・EX

【スキル】

道具制作A+

己の身に宿した知識をもとに新たな武器を作成する。

そうしてできた発明品は、エトワリアならではの技術をこれでもかと搭載しておきながら、用途や見た目がどこか物騒に見える。

狙撃A

所持する拳銃で敵を狙い撃つ。

彼は生前、エトワリアの政府的組織である神殿の最高幹部・八賢者のひとりであつた。

神殿の仇になるものを1撃で仕留めることなど、朝飯前なのである。

神機妙算A

策を巡らせて、敵を罠にはめる。

一度指揮を握らせたら、信じられない手腕で敵を翻弄し、突き崩す。相手が自ら滅んでいくような戦略の冴えはすさまじく、まるで長きにわたつて生き残ってきた老猾な指揮官のようだ。

【宝具】

鋼鉄魔法銃メタルジャケット・フルファイア

ランク：B+

種別：対人宝具

レンジ：50

最大捕捉：5人

召喚した銃の数々で敵を蜂の巣にする。

レンジも威力も申し分なく、並大抵の雑魚はあつという間に殲滅できるだろう。

しかし、サーヴァントになつた存在に銃が効くかどうかは怪しく、実力差があるとまったく通じなくなるかもしれない。

神魔再現術レント

ランク：EX

種別：不明

レンジ：不明

最大捕捉：不明

自身の記憶にある、『物語の登場人物』のスペックを再現する魔法。己が知つてさえいれば、例え天変地異のような存在でも、サーヴァントの宝具でさえも再現が出来る。

その恐るべき魔法の限界は、彼のみぞ知る。

【個人的プロファイル】

好きなもの

「色んなものを作つてる時間とか、美味しい飯とかあるけど……1番はやっぱ、カワイイ女の子だろ！ そういう意味では、このカルデアも悪い場所じやない…のかもな？」

嫌いなもの

「バロット……つて知つてるか？ ああ、知らないなら調べちゃダメだぜ。あれだけはどうしても受け付けなかつたんだ。あとお化けも無理。だつて撃てないじやん…」

聖杯に願うこと

「あー…その聖杯さ、アンリ・マユに侵されちゃつてない？ 大丈夫？ ならなに願おうかなー……誰よりも大金持ちになる…違うな、水蜜桃のような美女美少女たちのハーレム……いや、うーん……やっぱりここは、エトワリアのみんなと会うことかな！うん！」

イベント開催中

「おー、お祭りやつてるみたいじやん！ 一緒に行こうぜマスターちゃん！」

「（男性版）男同士、派手に楽しもうじやんか！」

「（女性版）え、ナンパかつて？ はは、違う違う！ ただの遊びのお誘いさ！」

【性格】

エトワリアで唯一の男性八賢者であつたローリエは、口を開けばナ

ンパとセクハラを繰り返す、いわばお調子者な女好きの性格だ。

神殿に住まう最高幹部・八賢者の一員として仕事をこなしつつ、上司や同僚の女性を口説きまわっていたらしい。

本来、エトワリアにいたという賢者は七人だつたらしいが、なんの因果か「賢者が八人いる世界」からカルデアに召喚されてしまった。本人はカルデアについて何か知っているらしく、「フェイト・グランドオーダー」という単語を出すが詳細は不明。

マスターに対してはフランクに、かつ表裏のないように接している。

——彼には実は、前世がある。

ローリエと名付けられる前の彼の名は、木月桂一きづきけいいち。

平成・令和日本と限りなく近い世界・時代において、30代でありながら総理大臣の座につき、たつた2年で日本経済と教育を立て直した傑物である。

ただ、その過程で切り捨てられる者に容赦がなかつた。邪魔者はあらゆる手を使い、自らの手を汚さずに排除した。そのため反感を買ひ、演説中に暗殺されてしまつた。

しかし、彼就任以前の腐敗が、木月総理誕生後からはほぼなくなつており、また多くの人々の救いになつてゐるため彼の功績は認められ尊敬されることが多い。

【対人関係】

フローレス・ナイチングールに対して：

「アルシーヴちやッ……!? す、すまない、人違いだつたようだ…あまりに、知人と声が似ていたものだから。」

葛飾北斎に対して：

「ソラちゃんっぽい声が聞こえると思つたら、アレが葛飾北斎だつて

?あの「富岳三十六景」の!……折を見てサインを貰いにいこつかな。」

玉藻の前に対して：

「誰か一人を愛し続ける事つて、本当に尊いことだと思うし、並大抵な覺悟じやあ出来ないと思つてるよ。…………だからさアア、俺の金玉を蹴ろうとするなッ!!安倍晴明『レント』するぞッ!!」

浅上藤乃に対して：

「なんかあの子、ほっとけないんだよね。え、なんでつて?……エトワリアにいた頃の俺の生徒に似てんだよ、声が。」

千代田桃に対して：

「桃ちゃん、どうしてここに!……つて、当然つちや当然なのか。君は世界を救つたもんな、あの那由他誰何から。…………え、どこかで会つたかって?まあリアルでは初対面だけど……“魂の写し身”とは結構な知り合いでな!……何言つてるか分からない?まあ……そりやな。そらそうだ。」

ジョナサン・ジョースター、ジョセフ・ジョースター、空条承太郎に対して：

「うおおおおおおー!ジョジョがいる!やつたああ本物だ!握手してからサイン貰つちやおうかなー!」

桐ヶ谷和人に対して：

「えええええ!キリトちゃん!なんでいるの!?なんでいるんだ!?まあいいや、この際だからサインの一つや二つ、貰つてやるぜエエ!!猪突猛進!」

保登心愛、天々座理世、小路綾、風色琴音、志摩リンに対して：

「……なあ、マスターちゃん。ひとつ質問いいかな?……どうして、彼女達が英靈としてカルデアにいるんだい?……彼女たちは、英靈として生まれるはずのない人達だ……偉業こそしていながら、平穏に、平和に生きるはずだった少女達だ。頼む、今回は大マジだ。真剣に答えてくれ。返答次第では……君達との付き合い方を、変えないといけなくなる。」

【各英靈の反応】

浅上藤乃：

「あの方が先生、ですか…？ ふふ、数学とか理科とか得意そうですよ。ただ、その…女性への態度は、改めて頂ければいいかな、と…」

ジョナサン・ジョースター：

「君は女性に対する言動がまつたくもつて紳士じやない！ レディは尊重しなくつちやあ駄目なんだ!!」

空条承太郎：

「やれやれ…」

アルシーヴ：

「なあ、マスター。ローリエが…あの馬鹿が迷惑をかけていないだろうか？ ……なに、覗きがバレて女性サーヴァントと追つかけっこ中？ ……命知らずなヤツめ。」

桐ヶ谷和人：

「俺、一般人のはずなんだけどな。サインを欲しがるなんて、変わってるよ。」

英靈データ：アルシーヴ

アルシーヴ

【召喚】

「サーヴァント・キヤスター。本名は…アルシーヴという。貴方が私のマスターだろうか？」

【基本データ】

クラス：キヤスター

ランク：☆4

天地人：人

属性：秩序・善

出典：『きららファンタジア 魔法工学教師は八賢者』

I LLUST：きゅづき

CV：国民的ヒロインみゆきち

パラメータ：

筋力・C

耐久・C

敏捷・D+

魔力・A++

幸運・B

宝具・A

【スキル】

カリスマA

あふれ出るカリスマで仲間と配下を鼓舞する。

神官のトップは時に女神を支え、時に神殿の長として皆を引っ張つていかねばならない。

それこそ、筆頭神官の矜持なのだ。

高速詠唱A

魔法発動の為の呪文を詠唱する。

筆頭神官たるもの、高位の呪文の暗唱くらいできて当たり前であ

る。

氣負いB

為すべき事を為し、その責任は自分で背負う。その精神から生まれたスキル。

味方の状態異常を自分自身に移すことが出来るが、多用は厳禁。

【宝具】 極大魔法・遊星召喚

ランク：A+

種別：対軍宝具

レンジ：100

最大捕捉：10000人

彗星のごとき遊星を呼び出して、敵にぶつけて大爆発を引き起こす。

遥か宇宙の果てから、自滅しないように召喚される、その精密な詠唱と魔力操作は誰にも真似できない。

さらに、英靈になつたことで魔法自体の威力が増し、別物ではないかというレベルで進化している。

【個人的プロファイル】

好きなもの

「好きなもの……そうだな、ソラ様が描く聖典と、エトワリアに住まう人々。彼らの営みを守れる仕事だというだけで、私の誉れなんだ。」

嫌いなもの

「嫌いなもの……特に思いつかないが、エトワリアに脅威をもたらす存在は、倒さねばならないと思つていてる。」

聖杯に願うこと

「エトワリアに、永久なる平穏の訪れんことを…」

イベント開催中

「何か、催し事が行われているみたいだな。行つてみてはどうだ?」

【性格】

生真面目で己の使命に對して忠実な性格。

エトワリアにおいて筆頭神官に長きにわたり就いていたこともあり、責任感も強く、それが原因で道を踏み外す事もあつた。

だがプライベートにおいてはその生真面目さからか周囲に振り回されることが多く、休暇を貰つた際には休み方が分からぬなど、ワーカホリック染みている面もある。

ローリエとも面識があり、彼女は「賢者が八人いる世界線」から来たアルシーヴだと推察する。しかし、賢者が一人増えようが減ろうが彼女の仕事量は変わらず、責任感と使命感の強い性格はおそらくそのままだろう。

【対人関係】

ローリエ・ベルベットに対して：

「マスター！ローリエを見ていいのか!? あの大バカ者……私の下着を全部：あ、あ、あられのないものにすり替えていったのだ!! 今日ばかりはあの男、許さん！彗星の塵にしてくれる!!!」

フエンネルに対して：

「わ、私を追つてきたのか?! だが、しかし……そうだな。来てしまつたからには、また私の警護をして貰えるだろうか?」

ソルトに対して：

「ソルト…まさかそんな姿で召喚されたと言うのか？お前はもつと年を取つたあたりから我々の力になつていたような気がするが……ああいや、自分で容姿が変えられるというのなら、一考の余地があるたんだが、己の意志でないなら仕方がないな。」

マシユ・キリエライトに対して：

「マスターを最初から守り続けていると聞いた。彼はきっと、幸せだつただろう。私にも、近くで守り続けてくれた者たちに覚えがあるからな……これからも、マスターを守り続けて欲しい。」

【各英靈の反応】

ローリエ・ベルベット：

「アルシーヴちゃんさ、ここに来てまた無理ばつかするんだよ。生前エトワリアでも誰にも言わずに一人で抱え込もうとしちまうんだから……そういうのは、もうやめて欲しいのさ。え、下着の件？それはアレだ……俺の趣味だ、良いだろう？」

アルトリア・ペンドラゴン：

「アルシーヴという神官……私は、あの者にかつての私を見るのです。どうか、彼女には、私と同じ道を歩んで欲しくないものですね。」

マシュ・キリエライト：

「先輩、最近私、アルシーヴ様と仲良くなつたんですよ。エトワリアの話や、其処に住まう人々についても教えて下さつて……ただ、私を見る目が、その。大切な配下を見るような目なんです。だ、大丈夫です！私はいつも、先輩のサーヴァントですから！」

英靈データ・フェンネル

フェンネル

【召喚】

「わたくし、セイバーのフェンネルと申します。……貴方が第二の主ですわね？ これから、どうぞ宜しくお願ひ致しますわ。」

【基本データ】

クラス：セイバー

ランク：☆4

天地人：人

属性：秩序・善

出典：『きららファンタジア』

I LLUST：中山幸

C V：シンデレラガールズゆきんこ

パラメータ：

筋力・B+

耐久・EX

敏捷・C

魔力・C+

幸運・D+

宝具・B

【スキル】

デヴオート・マイロードEX

アルシーヴに対し忠義の姿を示し、状態異常回復+耐性付与、無敵貫通付与、さらに魔力バフを行う。アルシーヴ以外には状態異常回復を行う。

彼女が仕える主は、今も昔も…そして、死して英靈となつた未来でさえもただ一人である。

集中B

集中し、技の練度を高める。

そこから繰り出される剣技は、かつて「暴力剣士」として名を馳せた傭兵時代のそれよりも格段にキレが増す。

パリングB-1

攻撃を弾いて無効化する。

彼女は近衛の騎士であり、後ろには守るべき主がいる。それらを害そうとするあらゆる攻撃を、自分の身を呈しても防ぎきることが出来るからこそ、神殿の最高幹部たる七賢者に選ばれたのだ。

【宝具】
月虹盾劍陣ムーンランブ・ファンテ

ランク：B

種別：対人宝具

レンジ：半径約5メートル

最大捕捉：10人

レイピアで描いた魔法陣から無数の魔法剣を突き出す。本来は己の背中にいる人物を守る為、襲い掛からんとする敵を返り討ちにする目的で使われる技であるので、こちらから仕掛ける際には使い勝手の悪い宝具と言わざるを得ない。しかし、防御に回った際の無敵の防御力は、目を見張るものがある。

【個人的プロファイル】

好きなもの

「好きなもの……それは勿論、アルシーヴ様ですわ！あの方さえいれば、わたくしは幸せなのです。」

嫌いなもの

「アルシーヴ様が傷つく姿は、とうてい見たいものではありませんわね……あの方の盾たる者、いかなる障害からも必ず守らなければ。」

聖杯に願うこと

「アルシーヴ様と結ばれたいか、ですって？……見くびらないでくださいまし。わたくしは、あの方が幸せであるならばそれで良いので

す。それこそ盾の本懐というものですわ。……え、では何を願うのか、ですって？もう、先程も申し上げましたのに……」

イベント開催中

「なにか、外で祭りがある様子。アルシーヴ様がお出かけになるというのならば、わたくしもお供いたしますわ。」

【性格】

エトワリア七賢者の、『眞面目で誠実な』七賢者という異名の通り、誠実な性格をしており、不正を見逃せない性格をしている。筆頭神官のアルシーヴに心酔しており、その忠誠心の大きさから「彼女が黒と言えば白いものも黒と言う」と言わしめる程。

かつては凄腕の傭兵として戦場を渡り歩いていたが、気に入らないからとアルシーヴに挑み、返り討ちにされた後で実力を称賛され、スカウトされてからどんどんアルシーヴにのめりこんでいった。

カルデアのマスターに対してはサーヴァントとして一定の敬意は払っているものの、眞の忠誠は別の人物に向けられている。

【対人関係】

アルシーヴに対して：

「勿論でございますわ、アルシーヴ様。この身と忠誠は、例え肉体が滅び英靈となつても、アルシーヴ様の御意思のままに。」

ローリエ・ベルベットに対して：

「あの男は何なのですか、マスター！あんなにアルシーヴ様に『デレデレと……は、八賢者？馬鹿な事を仰らないでくださいまし。賢者は七人しかいませんし、ましてやあんな浮ついた男など神殿におりませんわよ！しかも、わたくしの追撃を悠々と振り切れるのがまた腹立たしい……！」

モードレッド。r呂布に対して：

「マスター。貴方にとつて、仕える主を裏切つて命を狙う者をどのように思いますか？……わたくしの常識では、騎士は主には最期まで忠実であるべきだと思いますし、刃を向けるなど言語道断だと考えていい

たのですが……すみません、気分の良い話ではありませんでした。

忘れてください」

エミヤに對して：

「エミヤさんは、茶菓子もお上手なのですね、マスター。わたくし、色々勉強させていただきました。全てはアルシーヴ様に至福のティータイムを送つていただくため……あ！もちろん、マスターも茶会にはお誘いいたしますわ！」

紅闇魔に對して：

「マスター……最近、紅闇魔という方と厨房でお会いしたのですが、その……料理のいろはを手厳しく叩き込まれまして……いえ！不満ではないのです！アルシーヴ様を想えばこの程度……と、思ったのですが、目指す道のりは遠いですわ…」

〔各英靈の反應〕

ローリエ・ベルベット：

「あれが、『本来の』フエンネルなのね……相変わらずアルシーヴちゃんへの依存度がパネエのなんの。言葉尻も荒くなつて、俺の知るフエンネルとは違うよな……え、かつては凄腕の傭兵で暴力剣士！？そんなバナナ：じやない、バカな。俺の知ってるフエンネルは、代々騎士の家に生まれた、良いトコのお嬢様だぞ！？まあ、アルシーヴちゃんへの忠誠心はだいたい一緒だけれども。」

紅闇魔：

「茶菓子というのは、料理の中のほんの一握りしかないでち。フエンネルはそれがすべてだと思い込んでいるようで、なかなか問題児でちね。とりあえず、計量具を使わせるところから叩き込まなければいけないでち。」

エミヤ：

「マスター、少し席を外させてもらう。あのフエンネルという騎士、またいい加減な調理で茶菓子を……ええい、もう見ていらん！」

英靈データ：ハツカ

ハツカ

【召喚】

「我が名はハツカ。エトワリア七賢者……兼、サーヴァント・ルーラー。」

【基本データ】

クラス：ルーラー

ランク：☆4

天地人：人

属性：秩序・善

出典：『きららフアンタジア』

ILLUST：薄荷屋さんの漫画家どの

CV：紅みゆなにしてみのりん

パラメータ：

筋力・D

耐久・C

敏捷・B

魔力・A

幸運・B+

宝具・EX

【スキル】

対魔力（睡眠）A+

相手の睡眠効果を付与する魔法に対し耐性を持つ。

自分自身が夢や眠りに関する魔法に長けていたが故に、その対処法も知っている。

幻術・夢幻A++

エトワリアでは危険とされ、アルシーヴに秘蔵される程の夢幻魔法。彼女は、それを使用することができます。

夢の世界に強制的に閉じ込めて、記憶を自由自在に閲覧・改竄し、更には二度と目覚めなくすることも可能。

この魔法に抗うことのできる術は、決して多くない。

変化（属性）B

纏の降魔と呼ばれる術式を用いることで、自身の纏う属性を自由自在に変化させることができる。

周囲を焼く炎に渦巻く水、吹き荒ぶ風に動かざる大地……彼女は全ての力を纏う事ができるのだ。

【宝具】
ひじゅつ
秘術『夢幻開闢・夢幻仙境』

ランク：EX

種別：対界宝具

レンジ：70

最大捕捉：30人

夢幻魔法を最大出力で発動し、己を含めた全ての生命体を対象ごと夢幻の世界へ引きずり込む。

その世界で起こる事は全て彼女の掌の上であり、一度夢幻世界に引きずり込まれたらマトモに戦うことすら不可能になる。

力ずくで無理矢理抜け出そうにも、本来の肉体は“眠っている状態”である事を認識できなければそれすら困難である。

【個人的プロファイル】

好きなもの

「セサミやフェンネルの茶菓子。そして、アルシーヴ様。」

嫌いなもの

「我が身の秘密を暴こうとする者。この身は禁則事項多し。不用意に語るものに非ず。」

聖杯に願うこと

「……しばし、思考時間を拝借。」

〈紹5〉

「決定。我が願いは：無し。現時点で十分に幸福。聖杯は、誠に求める者に譲るべし。」

イベント開催中

「特別祭事、開催中。期間限定。」

【性格】

とても口数が少なく、語り口調も古風な言い回しが多い、謎を与える性格。

しかしそれは、アルシーヴの協力によつて自身の強力な魔法の価値を理解しているがゆえ、余計な事を話さないようにしているのではないかと推測される。

だが根っこは善良…というより純粹かつ自己意識が希薄で、アルシーヴの言葉に従つて生きてきた節がある。

カルデアにおいてもそれは変わらず、必要最低限の言葉でコミュニケーションを取ろうとしている姿が見受けられる。マスターに対してもその古風で寡黙な言い回しは変わらない。

【対人関係】

アルシーヴに対して：

「異世界においても貴女様に仕えられる幸福、この上無し。」

ローリエ・ベルベットに対して：

「…摩訶不思議な男なり。エトワリアに存在せぬ道具を作りながら、エトワリアの八人目の賢者を名乗る者。彼の者の正体や如何なるものか？いと興味惹かれる存在……しかし、痴漢せくはらお断り。」

マーリンに対して：

「彼の者も夢操る者…もしや、夢魔？…我が聖典の知識には、夢魔のクリエメイトの情報あり。それと酷似している可能性大。」

シャミ子に対して：

「聖典の夢魔。我が魔術と酷似した能力を持ち、親近感の対象。」

BB、コロンブスに対して：

「マスター。英靈は皆善良とは言い難し。自らに刃を剥ぐ可能性も無

きにしも非ず。人物の選定を推奨する。」

【各英靈の反応】

ローリエ・ベルベット：

「このハツカちゃんはなんというか……守りたくなるな。まあ英靈になつた以上守られるだけの存在じやあないことは分かつてるんだが……え？ 恋愛の対象内かつて？ ……何当たり前のこと聞いてんだマスターちゃん。」

アルシーヴ：

「ハツカ、このカルデアは様々な人物がいる。善人も悪人も知り尽くして、よく考えることだ。……難易度は非常に高いだろうから、私もついてやるさ。」

シェイクスピア：

「マスター聞いて下さいよ！ 先程ハツカ様に夢幻魔法について聞いたところ、全身を吹き飛ばされて、口を聞いてくれなくなつてしまいまして……マスターは何か聞いていませんか？ 彼女の夢幻魔法について！」

BB：

「…ふふふ、大丈夫ですよセンパイ、私はまだ彼女に何もしませんつたら。」

レオナルド・ダヴィンチ

「ハツカ君の夢幻魔法なんだがね……聞いたものよりも威力があるんだよ。おそらく英靈になつた影響だろうね……いいかい、彼女から目を離してはいけないよ？」

英靈データ：カルダモン

カルダモン

【召喚】

「やあ、マスター。あたしはエトワリア七賢者が一人、カルダモンだよ。よろしくね。」

【基本データ】

クラス：アサシン

ランク：☆4

天地人：人

属性：中立・中庸

出典：『きららファンタジア』

I LL U S T：アフロの漫画家

C V：田村少年

パラメータ：

筋力・B

耐久・C+

敏捷・A++

魔力・C

幸運・D

宝具・B

【スキル】

回避A

持ち前の機動力で攻撃を回避する。

彼女にとつて、並大抵の攻撃は止まつたように見えるとのこと。

気配遮断B+

自分の気配を絶ち、相手に気づかれないようにするアサシン特有のスキル。

彼女は様々な場所を飛び回っていたため、現地に違和感なく潜入す

るための技術は必須だつたのだ。

調停 B

対立している者同士をあらゆる手を使つて調停・和解させる。

彼女は生前、調停官として争いを未然に防いだり、戦争を終わらせようとしてきた。しかし、必ずしも上手く行つたとは限らず、泥沼化してしまつた紛争もあつたという。

しかし、それでも彼女は諦めない。より『面白い』未来に手を届かせるために。

【宝具】 シン・スワiftエッジ 神速の双刃

ランク：B

種別：対人宝具

レンジ：約5メートル

最大捕捉：2人

目には見えない速度で、敵を切り刻む。

“迅速果断な”七賢者と呼ばれた彼女は、その身の速度も七賢者ピカイチだ。その速度は、戦いに慣れていない召喚士やクリエメイトを一方的に、かつ何もさせずに叩きのめすことが出来る程。

瞬きせずに見たとしても、既に斬り終わつた彼女の姿しか見えないだろう。

【個人的プロファイル】

好きなもの

「そうだね。色々あるんだけど…全部ひつくるめて言うなら………『面白いもの』かな？」

嫌いなもの

「退屈なものは嫌いだよ。人にせよ事象にせよ。……それと、諦める事も、それなりに嫌がな」

聖杯に願うこと

「これ一つで、世界から争いがなくなるとは到底思えないね。マス

タ一、聖杯で願いが叶うなんて、罠かもしれないって一度も考えなかつたの？」

イベント開催中

「外が騒がしいね。面白そうだから、一緒にきてくれないかな？」

【性格】

元々、各地を巡つては問題を解決する調停官だつたこともあり、知見が深い。

冷静で落ち着いていて、さらに飄々とした性格をしており、また判断力もある。

退屈が大の苦手で、好奇心が強いため、様々な英靈と関わつては問題を起こしたり、問題を起こす一因になつたり、問題を解決するため振り回したり振り回されたりしているため、カルデアの問題児組の予備軍として認識されている。しかし、本人に悪気はない上、進んで悪質な問題を起こすわけでもないため、要警戒の対象には入っていない。

彼女自身は『賢者が七人いるエトワリア』から召喚されたため、八人目の賢者との面識はない。しかし、彼女にとつては面白ければ何でもいいと思っている節があるようだ。

彼女の生まれは戦場であった。

紛争地帯で育ち、いつどこでバイオレンスな事態が起こり、命を落としてもおかしくない世界。そこはまさしく弱肉強食で、生き残り続けるために強くなつたのだ。もし神殿のスカウトがなかつたらずつと瓦礫の中で暮らしてただろうとは彼女の言だ。

【対人関係】

アルシーヴに対して：

「やあ、アルシーヴ様。お互い、面白いところに呼び出されちゃつたね。折角の機会だから、色々楽しませてもらうよ。」

ローリエ・ベルベットに対して：

「へえ。賢者が七人じやなくつて、八人いる世界線もあるのか。確か

：聖典の用語で『パラレルワールド』、と言つたかな？…その世界線でのあたしの話も聞いてみたいな。あとは…賢者が増えた事による違いとかあればいいんだけど。」

ジャック・ザ・リッパーに対して：

「こんな子が斬り裂き魔とは、世も末だね。こういう子供たちは、一緒に遊んでもあげるのが一番さ。さあ、何して遊ぶ？…………え、そのナイフを使うの？…参つたな、そういうのは慣れてるんだけどさ…」

玄奘三蔵に対して：

「仏…教…？ふーん、こんな教えがあるんだね。いや、別に入信する気はないんだけどさ、この仏像の意匠、エトワリアではお目にかかるないものでね。うん、実に興味深い」

メルトリリス、B.B.、パツショソリップ、キングプロテアのうち二騎以上いる時：

「ねえマスター。このカルデアには、物凄くそつくりなサーヴァントが何人もいるんだね。ちょっと混乱しそうだよ。時間が空いている時で良いから、見分け方とどうして別々なのかを教えてくれないかい？」

フェンネルに対して：

「相変わらずの忠誠心だね。でも、アルシーヴ様含めてあたしたち全員、一応マスターのサーヴァントだつてことは忘れないでよ？」

エミヤに対して：

「……大多数を救うためにごく少数を切り捨てる、か。悪いけど、あたしはそこまで効率的に…かつ、退屈な手段は認められないかな。あたしもあたしなりに戦場を回つてから気持ちはよく分かるけど…：本当に戦争を起こすやつ一人を暗殺しただけで、紛争が止まつた試しとかあるのかな？」

【各英靈の反応】

アルシーヴ：

「カルダモン、頼むから少し自重してくれ……エトワリアにはないものに興味を惹かれるのはお前らしいのだが……迷惑をかけたら、しわ

寄せは全て私に来るのだぞ……？」

ローリエ・ベルベット：

「え、八賢者の世界線のカルダモン？……うーん、基本的には同じかな。俺の発明品に興味を示してくれたりしたけど。あと、ガードが堅いのよ。もつと緩めてくれても……え、セクハラ野郎相手だつたら当然？……お、俺ちゃん、凹んじやうぞ……？」

玄奘三蔵：

「仏像を眺めるだけじゃあ御仏の教えなんてわかりませんよ、カルダモンさん！ 説法と修行もやらなければ、わかるものもわかりませんから！」

エミヤ：

「彼女も彼女なりに苦労しているはずだ。思い通りにいかない調停もあつただろうに、まだ諦めていない。私には少々、眩しすぎる話だな」

エミヤ・オルタ：

「……フン、甘ちゃんが。」

英靈データ：ジンジャー

ジンジャー

【召喚】

「七賢者のジンジャーだ！さーうあんと？とやらになつたみたいだが、まあ良いだろう！これから宜しくな！」

【基本データ】

クラス：セイバー

ランク：☆4

天地人：人

属性：秩序・善

出典：『きららファンタジア』

ILLUST：腹痛ダイナーのかづほ

CV：舞 ネーム イズ 渕上

パラメータ：

筋力・A++

耐久・C+

敏捷・D

魔力・E+

幸運・B+

宝具・EX

【スキル】

市長のカリスマB

豪胆で豪快な精神力で人々を導く。

エトワリアの中心部、言の葉の都市で市長を任せていることから、内政の手腕が伺えるだろう。

怪力A+

他の英靈とは比べ物にならないほどの力を持つ。

生前は、市街地で起こつた火事を、拳の風圧だけで消し飛ばし、延

焼を防いだことがある。

英靈になつた今でも、それがジンジャーの頼れる武器になつていてる事には間違いない。

黄金律B

持ち前の財力で装備や資材を調達する。

言の葉の都市の市長であつたジンジャーは、お金に困る事は無い。

ただ、彼女は持てる財力は己のためだけに使う事は決してなく、市民や街全体の助けにするために使う。

【宝具】
ショート・メガバッショ・スライダー
爆裂猛打三連撃

ランク：EX

種別：対人宝具

レンジ：10

最大捕捉：1人

手に持つたバットで、敵を殴り抜ける。

実にシンプルな宝具だが、その威力は約束された勝利の剣にも及ぶ。そもそもその筈、この宝具はもともとジンジャーの三つの必殺技を一つにまとめたものだからだ。

ショートバースト、メガバッショMk32、アンブッシュスライダー……これら3つを強引に一つにまとめた、超火力の宝具……それが、爆裂猛打三連撃である。その攻撃が放たれた後に残るのは、獅子のごとき市長だけだ。

【個人的プロファイル】

好きなもの

「私が守つている街と、そこに住む市民たちだ！……え、他には無いのかつて？…………ああ。これといってはないかな。」

嫌いなもの

「あー、そうだな…勝負事とかで、勝てねえからつて人質とつて脅しかけてくる奴、とか？」

聖杯に願うこと

「な、何でも願いが叶う!? やべえな、何を願えばいいんだ? ちょっと市民にアンケート取つてみるか。目安箱設置して、困ったことがあつたら聞いてみつか……なに? そういうことに使うモンジやあないつて?」

イベント開催中

「お、いいお祭りやつてんじやねーか! マスター、折角だから行つてみようぜ!」

【性格】

大胆かつ活気な性格であり、捕虜に対しても反抗しない限りは友好的に接し、敵対する者にも誉めるところは素直に誉めるなど、比較的に器が大きい人物として振る舞う。

また、主君にあたる筆頭神官アルシーヴのやり方には内心疑問を抱いているが、七賢者の身であるため彼女から与えられた命令には忠実に遂行する。例えばアルシーヴが命を削つてまでオーダーを使う理由を探ろうとしたり、きらら達の覚悟を確かめるため、全力で立ちふさがるなどがこれに当たる。

エトワリアの最大都市の統治者でもあり、そこの街の平和と住人たちの安全を最優先に考えているため、女神ソラの側に仕えることも元々少なく、そのほとんどは最大都市で構えている屋敷で生活している。

そんな不器用ながらも豪快で器の広い人物になつたのには、ワケがある。

幼少期のジンジャーには強く優しい、まさに憧れの存在といえる金髪の女性がいた。大切なものを守るためという、金髪の女性と同じ信念を抱くも不器用だったジンジャーは不器用なりにも金髪の女性から提示されたトレーニング（幼少期のジンジャー曰く「こんなにやつたら死んじやう」）を重ね続けることで現在の強さを手に入れたようだ。

そんな過去があつたからか、エトワリアでの「オーダー」の事件が

きつかけで金髪好きになり、クリエメイトの大宮忍や松原穂乃花から
からかわれるようになつた。

カルデアでは豪快な姉貴分としてマスターに接し、時に親身に、時
に厳しい姿勢を見せている。

【対人関係】

アルシーヴに対して：

「貴方もこつちに來ていたんだな。 いつでも使ってくれよな。 …え、
賢者が何人かって？ そりや七人に決まつてるでしょう。 ……なん
です、その顔は？」

ローリエ・ベルベットに対して：

「あの男…白兵戦の動きやテクニックが私の使うそれとほぼ同じなん
だ。私は弟子を取つた記憶はないんだけどな……一体何者———
きやあああ！さ、さりげなくおっぱいに触るんじゃねえ！」

(再臨第二段階以降)

「なあマスター。『ばられるわーるど』つてやつについて教えてくれな
いか？…というのも、ローリエから、私は賢者が七人いる世界線から
來た可能性が高いって言われてな。 ローリエも説明してくれたんだ
が、何が何やらなんだよな……」

アルトリア・ペンドラゴンに対して：

「聞いたぞ、かつてアリスやカレンの故郷……イギリスで王国を築い
ていた王様だつて。あんたと比べちゃあ私の守つてる規模は小さい
にも程があるが……同じ為政者同士、仲良く出来れば嬉しいぜ。」

大宮忍・松原穂乃花に対して：

「お、お前ら…ここに呼ばれてたのか？……おい、なんだその生暖かい
目は！ お前らほど金髪にぞつこんつてワケじやねえよ！」

刑部姫に対して：

「ずっと引きこもつてちやあ、精神が参つちまうぜ？ 私と一緒に筋ト
レでもしないか？」

姐己に対して：

「…マスター。 英靈つてのは、あんなヤツもいるのか？ お前が人間に

とつて大事なモン背負つてるのは分かるけどよ、足を引っ張りやあしないか？…いや、足を引っ張る程度ならまだしも…背中を刺されるかもしれないねえぜ？…その為の私だつて？…頼りにしてくれるのは嬉しいがな…まあいいか。」

【各英靈の反応】

アルシーヴ：

「ジンジャー、トレーニングルームを自由に使うのはいいが…備品を壊すなよ？英靈になつて、自分の身体のスペックが上がつているのは分かつてるはずだろうに。」

ローリエ：

「ジンジャーまでも俺を覚えてないとは…地味にキツイぜ…」

（ジンジャー再臨第二段階以降）

「マスターちゃん、パラレルワールドと言つたら、やつぱり衛宮士郎の話でしょ！選択肢によつてどう成長するか…その結果がまったく違う。その事をジンジャーに話したんだが、分かつてもらえないつてな。次はもうちょっと詳しく話す予定だ…。（エミヤ・イシュタル・エレシユキガル・パールヴァアティー・カーマ所持時）…え、本人いるからやめとけつて？士郎とセイバーはともかく…凛と桜なんていたつけ？」

刑部姫：

「まーちゃん助けて!!この人がいじめ、でぐる、!!!!」

ケツアルコアトル：

「最近やつてきたジンジャーさんつて、気が合いそう！今度トレーニングに誘つてみようかな？」

大宮忍：

「マスター、実はジンジャーさんつて、金髪の子が大好きなんですよ！確かメイド長さんも金髪だつた筈です！え、メイド長さんの名前ですか？…………し、しまつた！聞き忘れてしました…」

アルトリア・ペンドラゴン：

「よろしくお願ひします、ジンジャー。…ですが、ブリタニアの事は

あまり掘り返さないでいただけすると幸いです。」

英靈データ：シユガード

シユガード

【召喚】

「七賢者のシユガードよ！一生懸命頑張るから、よろしくね……あ、ソルトとかアルシーヴ様は来てるかなー？」

【基本データ】

クラス：ライダー

ランク：☆4

天地人：人

属性：秩序・善

出典：『きららファンタジア』

ILLUST：ゲスかおすの産みの親

CV：最近キュアらんらんになつたゆかち

パラメータ：

筋力・C+

耐久・C

敏捷・B

魔力・D+

幸運・E+

宝具・C

【スキル】

騎乗A-

サーヴァント・ライダーが持つスキル。

エトワリアに存在する生物は、ほとんどが地球とは違った進化をした生物である。そういう生き物を乗りこなす事が出来るようになる。

愉快型魔術礼装（砂糖）C

シユガードのぶきに眠る、名もなきお菓子の精霊が彼女の攻撃をサ

ポートする。

並々ならぬ魔力で彼女をサポートするものの、お菓子へのこだわり無しでは効果を発揮しない。

特に、甘い者にはこだわりが強いのか、甘味のクオリティによつて攻撃力も変化する。

ティータイム（甘味）EX

甘々なお菓子と紅茶を皆にもてなす。

例え血なまぐさい戦場でも、優雅さは忘れない。

ただし、彼女の味覚が子供なため、砂糖多めの練乳多め。

【宝具】
最終兵器砂糖乱舞

ランク：B+

種別：対人宝具

レンジ：10m

最大捕捉：50人

シユガーノ必殺技。魔法でケーキを作り出して、拳のラッショと共に追いかける。

甘党以外の人物には効果観面で、たちまちケーキの一部となつて戦意を失つてしまうだろう。

甘党であつても油断はできず、シユガーノ本人並みの甘党でなければ耐えるのは難しい。

【個人的プロファイル】

好きなもの

「甘いものだよ！マスターもいっぱい食べようよ！」

嫌いなもの

「にがいものと辛いものはきらーい。」

聖杯に願うこと

「甘いお菓子をいーっぱい食べたい！！」

イベント開催中

「おまつりやつてるんだって！一緒に行こうよ、おにーちゃん（おねーちゃん）！」

【性格】

初対面の相手にも親しく接する無邪気な人物であり、クリエメイトに対してもフレンドリーに振る舞うほか、時折わがままな態度をとる幼稚な性格である。また、かわいいものには舐めようとする癖がある。

しかし、アルシーヴからの命令ならば平然とに目的を遂行しようと一面をもつが、前述のようにフレンドリーな性格が災いして油断することも多く、動搖すると「あばあばば」どこかで聞いたような口癖が出る。

普段は同じ七賢者にして双子の姉であるソルトと行動を共にしているが、いざ単独行動になると行動の端々に“甘さ”が出てしまうことも。

たとえ年上でも敬語は一切使わず、○○おにーちゃん（又はおねーちゃん）と呼び、友達のように接している。まさしく天真爛漫。英靈の中でもとびつきり無害な存在ともいえるだろう。

【対人関係】

アルシーヴに対して：

「あれ？ アルシーヴ様も来てたんだー！ マスターのおにーちゃん（おねーちゃん）のために一緒に頑張ろうね！」

ソルトに対して：

「あ、ソルト！ ここでも会えるなんて奇跡だねー！ ここでもさ、エトワリアにいた時みたいに一緒に頑張ろうね！…………え、甘いものは食べ過ぎてないかって？ だ、だだだだいじょーぶだよー！ それよりも！ ソルトはソルトでどうなの！ しょっぱいもの、食べ過ぎてるんじやないのー？」

ローリエ・ベルベットに対して：

「ローリエおにーちゃんつて不思議だね。エトワリアや、アルシーヴ様や、きららおねーちゃんやシュガーダ達についていっぱい知ってるんだもん。……同じエトワリア出身なの!?へえー、すごい!ねえ、どこ出身なの?」

エミヤに対して：

「うわーん!つまみ食いしたのは謝るから、許してよー!!」

紅闇魔に対して：

「紅闇魔つておねーちゃんにね、前すつごく怒られたんだ。「砂糖を無駄遣いするな」つて。でもさ、お砂糖いっぱいの方が甘くて幸せだと思わない?おにーちゃん(おねーちゃん)もそう思うでしょ!?」

【各英靈の反応】

アルシーヴ：

「そうだな、シュガー……また、あの時のように、ソルトと共に私の…ひいてはマスターの力になつて欲しい。」

ローリエ・ベルベット：

「シュガーチゃんの甘つたるいお菓子はね、正直あまり好きじやないんだけど……それでも、あの子を思い出す味をしてたもんでき。久しぶりに食べた時、ちょっとほろつとしちゃつたんだ。……これ、俺とマスターちゃんの二人きりの秘密な。本人にバレたらきっと調子に乗るから。」

エミヤ：

「……マスター。砂糖の減りがやけに早いことに心当たりがあつたらそう言つてくれ。あやうく幼気な子供に宝具を放つところだつた。……まあ、それでつまみ食いの件を不問にはしないがな。」

茨城童子：

「あやつの作る菓子は絶品だ!是非とも子分にしてほしいところじやが、「子分じやなくて友達がいい」などとほざいて断られたのだ。あやつめ、吾が何者か分かつておるのか?」

モリアーテイ：

「オジサンね、あんまり甘すぎるお菓子は苦手なんだよネ。アラフイ

「からすれば、もうちょっと…かなり？」

砂糖を控えたやつが欲しい

んだ」

英靈データ：ソルト

ソルト

【召喚】

「七賢者のソルトと申します。シユガーヌの姉です。あの子が迷惑をかけていませんでしょうか？」

【基本データ】

クラス：ランサー

ランク：☆4

天地人：人

属性：秩序・善

出典：『きららファンタジア』

ILLUST：ゲスかおすの産みの親

CV：英語が特技のカータレットさん

パラメータ：

筋力・C

耐久・C+

敏捷・B

魔力・B-

幸運・D

宝具・B

【スキル】

陣地作成C+

本来はキヤスターのスキルであつたが、エトワリアでは“計算高い”七賢者として名を馳せたために使用可能になつたスキル。自らに有利な陣地「工房」を作るスキルだが、ソルトが作り出すのは防衛に特化した拠点たる「城」である。

変化A |

ソルトは変身魔法の使い手であり、そのクオリティは見ただけでは

本物と区別がつかない程に高い。ただし、中身までは変化することは出来ない為、相手を欺くには、対象になりきる演技力が必要不可欠になる。

コンビネーション（姉妹）A

特定の人物と共に闘する際に、どれだけ戦闘力が上昇するかを発揮するスキル。

ソルトの場合、シユガード組んでいれば、互いの実力は2倍どころか3倍にも4倍にもなる。お互いが似てていることを利用し、どちらからどちらの技がくるか分からないようにさせて、相手を混乱させることが可能。

【宝具】
オペレーシヨン・オブ・ソルト
塩味風な殲滅作戦

ランク：B

種別：対軍宝具

レンジ：100

最大捕捉：100人

エトワリア特有の生物「クロモン」を、ソルトに変身させて一斉突撃させる。

変身したソルト軍団の中に本物のソルトも混ざり、敵を攪乱して、本物を誤認させる。

敵の統制はたちまち崩れ去り、策士として生きた小さな少女が、本命の敵を違わずに仕留めるだろう。

【個人的プロファイル】

好きなもの

「ソルトはしそつぱい食べ物が好きなのです。他は…そうですね、頭を使うボードゲームなども嗜みますよ」

嫌いなもの

「甘いものはあまり好みません。シユガードは…妹は、そういうものを

好むのですが」

聖杯に願うこと

「すみません、それを分析しても良いですか？材質・特質・魔力……。それがどういうメカニズムで持ち主の願いを叶えるのか、合理的に判断してみたいのです。何でも叶うなんて非合理的なことはないはずですので」

イベント開催中

「限定イベント中ですね。期間限定のものに目を通しておくと良いと思います」

【性格】

誰にでも礼儀正しく、清楚で丁寧な言葉遣いをする。また、爛漫な妹を持つていたためか、相手の要求がある程度は対応するという柔軟さを持ち合わせる。

一方で、主君にあたるアルシーヴからの命令ならば、目的を遂行する冷静さもあり、用心深いため、敵対者の情報を分析して徹底的に策を練る等、知略を活かした作戦に長けている。しかし、相手の性格面までは考慮しておらず、シュガーハーとは違った意味で詰めの甘い部分がある。また、誰かに変身する能力を宿しており、これを作戦や戦闘で有効に活用している。

普段は妹であるシュガーハーと組んでいる。用心深く相手をよく見て知略を練れるソルトと、相手の心情に寄り添うことができ予想外の事態に反射で動くことが出来るシュガーハー。二人そろそろ向かうところに敵は殆どないのである。

【対人関係】

アルシーヴに対して：

「アルシーヴ様、ソルトも最もお役に立てる姿になれるとと思ったのですが……この姿になつたらなつたで活用のしがいがあるというものの。貴方のため、しいてはマスターの為に、このソルトの知恵と変身を使うことを誓います」

シュガーハーに対して：

「久しぶりですね、シュガーハー。甘いものは食べ過ぎていませんか？英

靈だからって、食生活には気を付けないといけませんよ。……ソルトですか？ソルトは節度を守っているから良いのです。」

ローリエ・ベルベットに対して：

「……これは計算外です……ソルトの元いた世界に、ローリエ・ベルベットなどという人物は神殿にいませんでした……エトワリアはエトワリアでも、全く違う世界から来た侵略者の可能性があります。……で、ですかからソルトは、絶対に食べ物に懷柔されません！」

エミヤに対して：

「申し訳ありません、うちの妹がさんざん迷惑をおかけしまして……マスター？どうしたつて……またシユガールがつまみ食いをしたのです。はしたないからやめろと言ったはずなんですけどね……」

モリアーテイに対して：

「ソルトは、ソルトの知恵を悪用するつもりはありません。」

ティーチに対して：

「シユガールとソルトに近づかないでください。人を呼びますよ？」

【各英霊の反応】

ローリエ・ベルベット：

「……このソルトの塩対応は、出会った当初を思い出すよ。あの時みたいに、ちょっと塩氣のあるお菓子で釣ろうと思ったんだが、あの時よりも粘つててね……マスターちゃん、ちょっと塩氣のあるお菓子に心当たりはないかい？なかつたら、そういうの知つてそうなサーヴァントを紹介して欲しいんだ」

モリアーテイ：

「若いというのは、未熟さもひとしおというもの、とは言つたね？ということは、まだ幼いソルト君の未熟さは言わずもがなだろう。知恵も回るし、実に有望な少女だと思わんかね？ちよいと数学の授業をばと思つたのだが、見事に断られてしまったよ。あつはつは」

ティーチ：

「ぬほおおおおつ！あんな清楚系丁寧語がデフォのソルトたんに蔑まれるとか、最高でござるな……あ、ちょっと、本当に人を呼ぶのは……」

やめてください……

英靈データ：セサミ

セサミ

【召喚】

「七賢者のセサミといいます。エトワリアでは、アルシーヴ様の秘書を務めておりました。」

【基本データ】

クラス：キヤスター

ランク：☆4

天地人：人

属性：秩序・善

出典：『きららファンタジア』

I LLUST：猫梅

CV：87会のちーなつちゃん

パラメータ：

筋力・C

耐久・B

敏捷・D+

魔力・B+

幸運・B+

宝具・A

【スキル】

陣地作成B

キヤスター専用のスキル。自身に有利な「工房」を作り出す。

セサミの場合、水属性の魔法に最適な雨が降り続ける空間を生み出すことが可能。

高速詠唱（水）A

通常よりも素早い詠唱を行う。セサミの操る水魔法は、まさしく変幻自在にして優雅。

ウォーターオールB+

水で生み出した防壁を張り、あらゆる攻撃から身を守る。

元々アルシーヴに秘書であつたセサミは、この術で重要人物の護衛が可能。

更に、使われる水はほぼ純水であるために、物理攻撃や炎はもちろん、雷系統の攻撃も防ぎきることができる。

【宝具】
極大魔水砲
ハイドロバースト

ランク：A

種別：対人宝具

レンジ：100

最大捕捉：10人

極限まで圧縮した水をキヤノン砲のように放つ。

凄まじい水圧はそのまま切斷力や破壊力になり、敵に襲い掛かる。更に、水に包まれた敵から酸素を奪い、強制的に意識を奪うことまで可能。そうなつてはもはや、二度と立ち上がる事はないだろう。

【個人的プロファイル】

好きなもの

「最近はお弁当作りに凝つております。食材を人に模する…いわゆるキヤラ弁は、得意分野ですよ？」

嫌いなもの

「そうですね…敢えて言うならば、真面目な勤務を茶化すような方はちよつと、といったところでしょうか。」

聖杯に願うこと

「アルシーヴ様の身が少しでも休まりますように。」

イベント開催中

「只今、期間限定イベントの開催中でございます。マスター、早速向かいますか？」

【性格】

生真面目で誠実、誰にでも丁寧に接する、知的な雰囲気を出す人物。かつてはアルシーヴの秘書を務めており、彼女の命令に真摯に取り組み、時には任務遂行のために手段を選ばない一面もある。

しかし、基本的に悪意はなく善意で動くような人間であり、また生真面目すぎるがゆえに視野が狭くなったり捕虜に言いくるめられたりと若干天然な一面もあるようだ。

マスターに対しては身の回りの整理整頓を自ら申し出て、アルシーヴとマスターの秘書のような役割を担っている。その過程で、一部の女性サーヴァントともめ事になる事もしばしばあるようだ。

【対人関係】

アルシーヴに対して：

「貴方様への忠誠は今も揺らぎません。しかし、この度呼び出した方はアルシーヴ様をも配下に加えて……私は、これまで通りアルシーヴ様の秘書だけをしていた方が良いのでしょうか？それとも……」

ローリエ・ベルベットに対して：

「……マスター。あの男は、どうして私やアルシーヴ様を知っているのでしょうか？……賢者が八人いる世界線から来た？にわかに信じがたいですね……セクハラも激しいですし、アルシーヴ様に近づきたいだけではありませんか？」

清姫に対して：

「清姫さん。貴方の行動…スキンシップのつもりかどうかは知りませんが、過度にもほどがあると存じます。改めていただけますでしょうか。」

BBに対して：

「BBさん、あまりマスターを困らせるのはやめてください。貴方の行動は……な!? それは……私が「オーダー」の影響で寝落ちしていた姿!?! ど、どどどどうしてその写真があるのでですか!？」

殺生院キアラに対して：

「……マスター。キアラさんという尼僧の方が、「つまらない世界を否定し、快樂を以つて世を一つにしましよう」としつこく迫つてくるの

ですが、どうにか諦めて頂くように説得していただけませんか？……え、その格好のせいじやないかつて？……これはエトワリアの秘書の正装なのですが、何か問題でも？」

【各英霊の反応】

アルシーヴ：

「セサミ、あまり眞面目に悩み過ぎるなよ？　こここの英霊は、その……我が強いからな。いちいち付き合つては身が持たないだろう。ああだが、あのセクハラ男を制裁する時は言つてくれ。力を貸そう。」

ローリエ・ベルベット：

「セサミのあの格好は過激すぎるんだよ。いつかろくでもない英霊に乗せられて痛い目に遭うんじゃないかなーってさ。そうなる前に、人並みの恥じらいを覚えて欲しいのさ…………え、それはそれとしてセクハラをやめろ？セクハラじゃねえよ！B A D コミュニケーションわお！だよ！」

清姫：

「ますたあに付き従うことの何が悪いんですか！主人を一人に選べない優柔不断の浮氣者が、余計なお世話です!!」

B B：

「フフン、たかが人間がこのB Bちゃんにマウンントを取れるわけがないんですよ！」

英靈データ：千束

錦木千束

【召喚】

「錦木千束。千束って呼んでね！」

【基本データ】

クラス：アーチャー

ランク：☆5

天地人：人

属性：秩序・善

出典：『リコリス・リコイル』

I L L U S T：い・みぎむる

C V：ちかペット

パラメータ：

筋力・C

耐久・C

敏捷・EX

魔力・E

幸運・A+

宝具・A

【スキル】

回避EX

相手の攻撃を回避する。

千束は、相手の筋肉の僅かな動きから射線を予測して躱すことができる。その正確さは至近距離から銃を発砲しても当たらないほどであり、銃撃戦では無類の強さを誇る。

射撃C+

拳銃射撃で攻撃する。ただし、血糊の出る非殺傷弾を使っている為命中精度は高くない。近距離なら当たられるが、千束以外がやろうも

のなら先に撃たれてしまう。それでも実弾を使わないのは、ひとえに彼女の信念ゆえだ。

単独行動B+

弓兵特有の、マスターから長時間離れていても現界できる能力。

千束はかつて、旧電波塔をテロリストの手から一人で守ったと言わされており、歴代最強のリコリスとして名を馳せていた。彼女がそれを笠に着ることはないだろうが、それでもこのスキル形成に大きく関わっていることは言うまでもない。

【宝具】
アランズ・サイン
梶の首飾り

ランク：A

種別：対人宝具

レンジ：なし

最大捕捉：1人（自分）

彼女の身につける梶の首飾りは、『アラン機関』によつて才能を見出された子供達「アラン・チルドレン」である証拠。彼女はとある人物に「殺しの才能」を見出され、人工心臓を移植された。この首飾りは、宝具化することによつて、一時的にその才能を遺憾なく発揮させるトリガーに進化した。しかし、それでも千束は不殺を貫く。

【個人的プロファイル】

好きなもの

「えへ？ いろいろあるよお。例えばねえ、美味しそうな甘いものでしょ、誰かの笑顔でしょ、あとね、たきなも！」

嫌いなもの

「誰かの命を…時間を奪うのは気分が良くない。悪人にそんな気持ちにさせられるのはもーーっとムカつく。だから、死なない程度にぶつ飛ばす！」

聖杯に願うこと

「会いたい人がいるんだけどねえ……それは私の手で探したいから、

叶えてもらうのは良いかな。^{コレ}聖杯に願掛けするくらいなら良いけどね」

イベント開催中

「お、楽しいコトやつてるみたいだねえ。行つてみようよ！ね？」

【性格】

犯罪を未然に防ぎ、犯罪者を処分する秘密組織・D i r e c t A t t a c k：通称DAにかつて所属していた、少女エージェント……その名もリコリス。千束は、喫茶リコリコでは看板娘として親しめる一方で、歴代最強のリコリスとして活躍している。「命大事に」を信条としており、非殺傷弾を用い死者を出さずに戦闘を行う。優れた洞察力で銃の射線や射撃タイミングを見抜き、銃撃を回避する。

とある人物によつて「殺しの才能」を見出され、アラン機関として人工心臓を移植される支援を受けた過去を持ち、自身を助けてくれた人物に感謝を伝えるべくDAを離れ喫茶店で働いていた。

カルデアでは、眞面目になりがちなマスターやたきなを茶化しつつ、楽しく日々を送つている。

【対人関係】

たきなに対して：

「たきなも来てたんだねー！私は嬉しいよ！……あーちょいちょい、すぐに拳銃を抜くのはダメだつて！言つたでしょ、『命大事に』つてさ！…まあ、ここは色々変わつてるのは分かるけどねー」

カレン・オルテンシアに対して：

「あのね、私……あの人見るとミズキさん思い出すの。性格とかぜんぜん違うのに。なんでだろ？」

紅闇魔に対して：

「あの子、不摂生は許しまちえんとか言つて、野菜とか押し付けてくるのよ。クルミに声がそつくりなだけあって、ちょっと苦手……というか逆らいづらいかも」

【各英靈の反応】

ローリエ・ベルベット：

「ねえマスターちゃん、あのJKさ、拳銃持つてない？……なに、DA ?リコ里斯？なんだそのアニメになりそうな設定は！ ま、まさか木月の死後に放送されてたやつなんじゃ……くそつ！ 暗殺なんてされるんじやあなかつた!!」

紅闇魔（千束&たきな所持時）：

「千束とたきなから、たまーに『クルミ』って呼ばれることがあるんです。すぐに訂正してくれるんでちが、ご主人は何か知つてまちえんかね？」

英靈データ：たきな

井ノ上たきな

【召喚】

「初めまして、指揮官。井ノ上たきなです。」

【基本データ】

クラス：アサシン

ランク：☆5

天地人：人

属性：秩序・善

出典：『リコリス・リコイル』

I L L U S T：い・みぎむる

C V：若様

パラメータ：

筋力・C+

耐久・C

敏捷・A

魔力・D

幸運・B+

宝具・B+

【スキル】

射撃A

銃器の射撃で敵を攻撃する。D A のエージェント……リコリスたる彼女は拳銃からガトリングガンまであらゆる銃器を手足のように使い、飛び跳ねた車から監視ドローンに銃弾を当てるほどには命中精度も正確である。

気配遮断B-

アサシン特有の、気配を消すスキル。

リコリストの中では優秀だった彼女は、テロリストの殲滅から要人の

ボディーガードまで任せられた。その過程で気配を消して、目的の為に敵を撃つくらいできて当然である。ただし、彼女はどちらかというと要人警護には向かないようだが。

格闘術B

トップクラスのリコリスであるたきなは、鍛え上げられた運動神経で接近戦を仕掛ける事も可能。たとえ彼女の懷に潜り込んで一撃を与えても油断はできない。彼女は存外、やられたら根に持つタイプなのだ。

【宝具】 バレット・オブ・リコイル 反逆の跳弾

ランク：B+

種別：対人宝具

レンジ：120

最大捕捉：5人

超人的な反射神経と命中精度を持つた弾丸を放つ。たとえ標的が逃げたとしても、弾丸はあらゆるものに弾かれ、最終的には敵の肉体に直撃する。回避できるすべはない。

【個人的プロファイル】

好きなもの

「好きなもの…ですか。思いつきませんね。リコリスにとつて重要なのは成果を上げる事。それ以外のことには、最近まで興味ありませんでしたので…」

嫌いなもの

「嫌いなもの…強いて言うなら、結果を認めなかつたり、隠蔽するような人、でしょうか」

聖杯に願うこと

「……特にありません。」

イベント開催中

「特別任務が発生中のことです。……もつと肩の力を抜け? いえ、

そういうわけにもいかないでしよう。」

【性格】

犯罪を未然に防ぎ、犯罪者を処分する秘密組織・Direct Attack：通称 D.A. に所属していたエージェント……リコリス。たきなはその中でも優秀なりコリスであり、クールな性格を持つているのだが、結果主義で合理的な思考をしているためか、スタンダードプレーに走りがちな問題児であつた。

仲間を助けるためとはいえ放置されていた機関銃で生け捕り命令があつた武器商人たちを文字通り殲滅し情報を聞き出せなくし、護衛対象を囮にする、知らされてなかつたとは言え、護衛対象が潜んでいるスーツケースを盾にするなど問題行為が目立つ。

その為に喫茶リコリコに左遷され、そこで千束と出会う。この出会いが、彼女の運命を大きく変えることになる……

カルデアでは、マスターの事を指揮官として接し、完全に心を許すことはない。ただ、千束相手には年相応の態度を取る。

【対人関係】

千束に対して：

「千束……ここでも、千束らしいですね。ふふ。」

紅闇魔に対して：

「クルミ……じゃない？　え、紅闇魔さん、ですか？　闇魔って、あの闇魔ですか？」

エミヤ（殺）に対して：

「ビルごと爆破に、人質ですか：なんというか、やつてることはテロリストみたいですね……正義の味方のはずなのに。でも、効率的にいう面ではその手も…流石にない、ですかね」

姐己、BB、シェイクスピア、ジル・ド・レエに対して：

「指揮官。なぜ、あんな外道をカルデアに迎え入れていいのですか？　納得のいく説明をお聞かせ願えますか？」

【各英靈の反応】

アルシーヴ：

「ローリエにも勝るとも劣らぬ銃の腕に、いざという時は躊躇わない精神性……優秀な人物だが、まさかローリエがスカウトするとは思わなかつた。ああ、勿論その話は白紙にしたぞ。エトワリアに秘密警察を作る気はさらさらないからな」

ローリエ・ベルベット（千束&たきな所持時）：

「あの子にちよーっと声をかけてさ、デートと思つたんだけどね、同年代位の女子に攫われちゃつたんだ。……迂闊だつたよ。ちよつと遅ければ俺は極罪を犯してたかもな……え、極罪ってなんだつて？そんな『百合の間に割り込み隊長』に決まつてんだろーがよ！」

マシュ・キリエライト：

「私達は兵器ではありません。サーヴァントなんですよ、たきなさん。」

英靈データ：八仙紫

八仙紫

【召喚】

「ファーストリコリス・八仙紫、召喚に応じてここに来たよ……つて
ちよつと！なにその顔！「召喚失敗した!?」じゃないんだよ！ここに
いるから！無視しないでー！」

【基本データ】

クラス：アサシン

ランク：☆5

天地人：人

属性：混沌・中庸

出典：『リコリス・リコイル』？

I LLUST：不明

C V：大和なでしこ花守

パラメータ：

筋力・B+

耐久・B

敏捷・B

魔力・E

幸運・D+

宝具・A

【スキル】

気配遮断A+++

ほぼ世界そのものと同化する。紫は生まれたときから影が薄く、本
気で気配を遮断すれば誰にも気付かれない。世界に愛されてるのか
嫌われているのかよく分からぬ才能だが、その隠密スキルは天の寵
愛を受けた兵士が持つべき天衣無縫の才能である。

跳弾A

弾丸を壁などに当て、反射させるテクニック。幼少期に目立つて注目されることを夢見て修得した技である。結局存在感は増さなかつたものの、この技術は実戦でも使える程に昇華した。幽霊は絶対に獲物は逃がさないのである。

変装C

変装の技術。人間であれば親しい者でも騙し通せるレベルで変装できる。女性でありながら男性の変装にも長け、元々の姿の影の薄さも相まり見破ることが不可能なレベルにまで技術力が上昇している。

【宝具】
死を呼ぶ幽霊の殺戮宴
ホロゴースト・プラッディ・サバト

ランク：A

種別：対軍宝具

レンジ：500

最大捕捉：100人

生まれながらの“兵士の才能”。それを活かして、影に忍んで敵を撃つ。

隙だらけのリボルバーを使つても尚、誰にも、どんな組織にも悟られずに、気付いたら壊滅寸前にまで運ぶことが出来る。

【個人的プロファイル】

好きなもの

「口マンのあるもの！拳銃、車、アニメ、どうも、違つたなんでもない！」

嫌いなもの

「うーん。昔は色々嫌いだつたけど、だいぶ減つたからなあ。一概に嫌い、つて言えるものじやないけど。強いて言うなら……私の友達を見下すヤツ、かな」

聖杯に願うこと

「えー！どんな願いも叶うの!? どうしよう、何も思い浮かばない……限定グッズの全復活、あのキャラの声優さんの抽選握手会に参加

する……うーん……いやでも、こういう『願いを全部叶える系アイテム』って、大抵裏があるんだよなあ、アニメでは」

イベント開催中

「期間限定イベントの開催中なんだって！ マスター、周回しようよ周回！」

【性格】

カルデアに召喚された覚えのないはずなのにいつの間にかいた英靈で、しかも普段はどこで何をしているのか知っている職員もない。目撃情報もないのに、なぜこのデータベースがあるのだろうか？

〈追記〉

記録を確認したところ、召喚した記録もカルデア内で動き回る姿も確認でき、カルデアに登録されている英靈であることが発覚したため、詳細を記載していく。

犯罪を未然に防ぎ、犯罪者を処分する秘密組織・D i r e c t A t t a c k : 通称 D A に所属していたエージェント……リコリス。紫は、その組織の中では問題児であつた。訓練・講義の無断欠席は当たり前、任務の命令無視は日常茶飯事……本来ならば、国全体の利益の為にリコリス処刑部隊も担う男性軍隊・リリベルに処刑される……と思われていた。

だが彼女はリリベルを赤子の手をひねる様に返り討ちにし、それどころか壊滅寸前まで追い込んだ。それもその筈、彼女は一度も訓練を怠つたことがなかつたのだ。

彼女の才能は「誰にも気づかれないこと」。それによつて暗躍においては比類なき強さを發揮し、ファーストリコリスに抜擢されるまでに至つた。だが誰にも気づかれなかつた幼少期と、目の良い千束との出会いから、千束に対してはかなり心を開いている。

カルデアでは、前述した千束やその相棒・たきなへ絡みに行く様子が見受けられる。ただし、どうやら一人の方には紫との認識がないらしく、そのギャップを目にしてはさめざめと泣く姿が見受けられる。

だがそれでもめげてはいないうだ。

「なにこれ!? 最初私いない子扱いされてんじゃん! 怒るよ? まじでキレるよ!?

『すまないな、紫君。だがどうやら担当は、君を探し出すのに苦戦しているらしい。せめて、その気配遮断を断つてくれればうれしいのだが…』

「これは素だよダヴィンチちゃん!! 私はちゃんとここにいるからね! 自動ドアも5回に1回は反応するし!」

『ハハハ…』

「なんで笑うの…!!」

【対人関係】

千束に対して：

「分かつてたんだ。私はいてもいなくても変わらないんじやないかって。現に、千束はたきなと一緒にいるだけでも楽しく生きてる。でも、私は変わらないよ。たとえ本人が忘れても——千束は、私にとつての救世主だよ。……それはそうとマスター、ハンカチ貸してくれない? 泣きたくなってきた…」

たきなに対して：

「あのよそよそしい姿……リコリコに来たばつかのたきなを思い出すよ。でも、声を3回かけても反応しないことがあるのは勘弁してほしいな。知った顔にそんな真似されると…ちょっとキツイ。うう、本当に私の事忘れちゃったのかな、たきな…」

エミヤ系英霊に対して：

「ねえマスター。今度あの人達にさ、千束とたきな紹介してあげて。なんかね、ああいう人たちを見ていると、胸の奥がギュってなつて、苦しいんだ。」

風魔小太郎に対して：

「わああ、忍者だ、本物の忍者! かつこいいなあ、サイン貰つてもいいですか?」

坂田金時に対して：

「私つて、いつも誰にも気づいてもらえないって……だから、金時さんみたいにゴールデンで派手派手にした方がいいかなって聞いてみてね、ちょっとゴールデンなの分けて貰ったの！似合うかな？……え、似合つてない？ うーん……」

清少納言に対して：

「私の知つてる清少納言は、春はあけぼのつて感じの、趣深い人だつて感じなんだ。決して、あんな髪も服もカラフルで、ギャル口調の春はあげぽよキャラじやないと思う。思つたんだよなあ……」

真島に対して：

「どうしてお前がここにいる…………マスター、そいつとすぐに契約を切つて。本当に危ない人なんだよ、ソイツは!!」

【各英靈の反応】

錦木千束：

「紫さんは、いつも気付いたらそばに立つて、声をかけられる度にビックリして、生きてる気がしません。指揮官、の人にもうちよつと気配を出して声をかけるように言つてくれませんか？ ……え、あれが素ですか？そんな、生半可なりコリスなんかとはけた違ひの隠密スキルですよ！」

井ノ上たきな：

「紫さんは、いつも氣付いたらそばに立つて、声をかけられる度にビックリして、生きてる気がしません。指揮官、あの人にもうちよつと気配を出して声をかけるように言つてくれませんか？ ……え、あれが素ですか？そんな、生半可なりコリスなんかとはけた違ひの隠密スキルですよ！」

風魔小太郎：

「僕に憧れる子も出てきたんだね。なんだか、ちょっとこそばゆいな」

坂田金時：

「オレのゴールデンに憧れるのは良い事だが、嬢ちゃんは嬢ちゃんなりのゴールデンを探し出さねえとな！困つたらいつでも言いな！力

になるぜ！……ふう、行つたか。なあマスター。あの子、超戦い慣れしてるだろ。気配を消し、当然のよう銃を使いこなす。……で、あんなん身に付けたんだ？」

英靈データ：間島スバル

間島スバル

【召喚】

「間島スバル、クラス・ランサー。お前の力となろう。……俺さ、FG
〇あんまやつてなかつたんだよ。だからさ、色々と教えてくれると助
かるぜ？」

【基本データ】

クラス：ランサー

ランク：☆5

天地人：人

属性：中立・中庸

出典：『ブルーアーカイブ』？

I LLUST：三毛猫

C V：水瀬いのり

パラメータ：

筋力・A+

耐久・B+

敏捷・A+

魔力・E

幸運・C

宝具・EX

【スキル】

霸気（擬）B+

対魔力が変化したスキル。

こことは全く違う世界で発達した、人間が本来持ちうる “意志の力”的到達点。

未来を見るかのように攻撃を躊躇し、見えない鎧を纏つて圧倒し、威圧だけで敵の意識を刈り取ることさえする。彼女は、それと似たような技を擬似的に使用することが出来る。

制圧軍略B+

軍をまとめ上げ、敵を制圧するスキル。

スバルは厳正なるトリニティ総合学園において、工口漫画を描く部活「プレアデス性団」を築き、その地位を安定させた。

人を束ねるカリスマだけでなく、運命を自らの手の中に引き寄せる気力もまた、彼女に備わる力である。

神秘解放・魔王・戦神EX

キヴオトスの神秘の権限とも呼ばれる生徒、その全力を発揮する。

スバルの場合、自身に眠る二つの神秘を目覚めさせ、圧倒的な自己強化を得る。

だが代償も大きく、時間切れになるとほぼ動けなくなるという。

【宝具】
擬^{スターダスト}・昴^{クルセイダ}流星軍

ランク：B+

種別：対軍宝具

レンジ：50～100

最大捕捉：100000人

スバルの元に集まつた同志たち、プレアデス性団。集結したその力で、敵を蹂躪する。

スバル自身の『擬似^{神槍}・戦争^{ア・グレ}ト剣戟^{ノグ}ノ破壊^{ニル}槍』を中心に、他の部員たちの鉄火の嵐が巻き起こる。

【個人的プロファイル】

好きなもの

「あらゆる工口は、俺の正義だ。工口のない世界は、繁栄することはない。」

嫌いなもの

「まあ、俺だって聖人じやないから、嫌いなもの一つや二つはあるよ？子供を搾取する大人とか、百合の間に割り込み隊長とか…」

聖杯に願うこと

「言つておくが、俺の工口の野望は、俺自身の手で叶える。こんな盃に

ソレは求めないよ。…じゃあ何を求めるかつて？ そんなの……ア
イツらに来てもらうコト、くらいしか思いつかないさ。」

イベント開催中

「さあ、期間限定イベントがやつてるみたいだからね。周回しまくろ
うじやないの。」

…めんどくさがるんじやない。モンスト然り、ブルアカ然り、期
間限定で手に入るアイテムは有難いもんさ。」

【性格】

男勝りどころかまるで男のようなやや粗暴な口調で喋り、またキ
ヴオトスの中でもとりわけ貞淑と格式・気品を重んじるトリニティ総
合学園の中で、更に本人が18歳未満であるにも関わらず、「プリンス
メロン」というペンネームでナマモノの18禁本（つまりブルーアー
カイブのエロ同人誌）を描いているというトリニティきつての超問題
児。

自身のエロ同人誌をキヴオトスに広めることを己の使命と信じて
疑わず、それを邪魔する者・嘲笑う者はどこかで見たことのあるよう
な技の数々を使って片つ端から叩きのめしたという札付きの不良。
だが己が認めた人間や先生、プレアデス性団の部員に対しては非常に
寛容で情に厚く、気難しいどころかむしろ仲間意識は非常に強い。
『ブルーアーカイブ』と呼ばれる少女たちの青春の物語の世界から召
喚されたが、どうやら彼女が居た世界と彼女以外の『ブルーアーカイ
ブ』のサーヴァントの世界は似て非なるものの様子。

【対人関係】

浦和ハナコに対して：

「やあ、ハナコ……あ、違った。失礼、俺の知り合いに貴女が超絶似て
いたもので…」

下江コハルに対して：

「コハル、元気か？……うーん。やっぱり、見知った顔に「誰お前？」つ
て顔されるの結構くるわ」

阿慈谷ヒフミに対して：

「なあ、ファウストさんよお……またあの時みたいに、ウェーブキャットさんを紹介してくれないかな……？」

エミヤに対して：

「うおつ!? ホントにいるんだ……いやなに、俺の知ってるエミヤがまんま生きてるからよ、超くくくビックリしただけだ。……え? キヴオトスで会ったのかつて? 馬鹿言うな。会つてはいない。こつちが一方的に知つてるだけだ。」

ギルガメッシュに対して：

「オイ、ギルガメッシュがいるぞ……性格もだけど、戦力としても相性は良くなさそうなんだよな……なんでつて? 俺にはまだ、『究極の一』も“無限の剣”もないからさ……」

グレゴリー・ラスプレーインに対して：

「ま、マスター……さつき俺、言峰綺礼に会つたんだけど! 誰それつてお前、あの愉悦神父だぞ! ……なに? 人違い? ラスプレーインだつて? そ、そうか……そうなんだ……」

イスカンダルに対して：

「フェイ……聖杯戦争の話では、あの王の生き方に魅せられたよ。俺もいつか、誰かに魅せられるような生き方が出来るといいな……」

ティーチに対して：

「まさか、こつちに来てまで俺の同人誌を買ってくれる人がいるとは思わなかつたなあ。工口話も結構、波長が合うのよ、アイツ。嬉しいなあ、やつぱり性欲=正義なんだなつて。」

バーソロミューに対して：

「なに? メカクレ好きの海賊がいるつて? そうか……マスター、キヴオトスについて、ソイツには黙つてくれよ。なにせ、俺の娘がメカクレな上にあの世界のモブちゃん全員メカクレだからなあ……」

紫式部に対して：

「源氏物語の作者さん……属性てんこ盛り・チ^{ペー}○コ盛りなハーレム物語を書いた方に、俺の工口漫画がお気に召すかは分からんが……尊敬する人間だけは、思うぜ?」

清少納言に対して：

「意外とノリが良くてなあ、結構話してて楽しい相手だぜ？　ただ、俺の工口漫画に対してもうと引くのよ。なんでかねえ？」

シェイクスピアに対して：

「ああ…「ハムレット」の作者さんね。いちおう、話はしたんだけど……あまり合わなかつたんだよ。いやいや、俺が極度なハピエン主義者だつたつてことをちょっとと思い出しただけだ」

【各英靈の反応】

下江コハル：

「マスター。あのスバルってヘンタイ、あつちの世界で私とどういう関係だつたの？」

…はああつ!? 友達!? ウソウソ絶対ウソ！ 変態はハナコだけで十分よ!!」

浦和ハナコ：

「もしも、私たちの世界にあのスバルちゃんつて子がいたら……私の運命は変わつっていたかもしませんね。

……いいえ、今のは独り言です。忘れて下さい」

阿慈谷ヒフミ：

「スバルちゃんつて子、私たちと似た世界から来ているんですね？…あ、疑つてゐるわけじやありません。ウェーブキヤツト様を知つてゐるのですから……でも、よりもよつてどうしてファウストの件も知つてゐるんですか……？」

イスカンダル：

「敬意を表することは素晴らしいことだ。そもそも、王とは誰よりも強欲に、誰よりも豪笑し、誰よりも激怒する…清濁を含めて人の臨界を極めたる者。間島スバル：彼女についてくる者がいるという事は、かの少女に魅せられた者もいると言う事。精進するのだぞ。」

ティーチ：

「あの間島スバルとかいう少女、拙者たちオタクの好みを分かり過ぎではござらんか？…いやべつに悪いことではござらんのよ？プリン

スメロン先生の薄い本はどれも素晴らしい、リスペクトしたいものなのですぞ！ただ、その、あれらを描いているのがあれほどの美少女と分かるとその……説明しがたい謎の罪悪感が……」

バーソロミュー：

「マスター。次のレイシフトには、キヴォトスを選ばないか？風の噂でキヴォトスには見目の整つたメカクレ女子が山ほどいると聞いてな……なぜそのような目をする？乱暴などしない、少し我が船に誘うだけだ！」

紫式部：

「あそこまで本の著作に熱心な方も、なかなかおりませんでしたね。私と会話するためにわざわざ『源氏物語』を読んでくださる程とは意外でしたが……その、彼女の描く漫画、ほぼ全て同人誌だとは、思いましたんでした……」

清少納言：

「ちゃんマス！ちょっとスバルたんに開けつぴろげにエッチな話をし過ぎだつて言つてくれない？あたしのお誘いに乗つてくれるのは良いんだけど、行く先々でエッチな漫画のネタを集めようとしてるし、をあたしちゃんにも意見求めてくるし！」

ローリエ・ベルベット：

「マスターちゃん……あの間島スバルって可愛い子ちゃんさ……『覇氣』使つてない!?透き通る世界観には絶対出てこない技使つてるの何なんだアイツ!?しかも魚人空手とか雷霆とか術式反転・赫とか、確実にジャンプ系を知つているヤツなんだけど!!何者なんだ……え、ただのエロ漫画家？知つてんだよそんな事!!まさか俺の同類か……？」

大乱闘スマツシユブラザーズ編

スマブラSPL風ファイター技一覧・ローリエ

ローリエ

出典：きららファンタジア 魔法工学教師は八賢者

特徴

長身で判定を貰いやすいが、吹つ飛びにくいやや重量級。にも関わらず出の早い技が数多く、軽量級のスピードに負けない強みがある。様々な道具を使うため、使用する武器によつて特徴がかなり違う。大剣や魔法符のリーチ、ハンマー、バットの威力、ナイフ、オーブ、片手剣の汎用性などを併せ持つ。特にバイソン&イーグル、アイリス、ルーンドローンと飛び道具は優秀で、自動追従＆自動攻撃はズルい性能となつてゐる。

なお、女性ファイターには与えるダメージが20%減少する。大乱闘にレディーファーストを持ち込むのは頂けないが、女好きのローリエにはご愛嬌である。

技一覧

弱攻撃：カルダモンの持つナイフで連撃を放つ。ジョーカーの弱のようなもの。

横強攻撃：シユガーナの持つ大剣で薙ぎ払う。セフィロスファイナルファンタジーVIIから参戦したDLCファイター。思い出の中でじつとしていられなかつた人の横強に近い。

上強攻撃：シユガーナの持つ大剣で突き上げる。真横の敵に当たり判定はない。

下強攻撃：ソルトの持つハンマーで前方を叩きつける。真後ろにも一応当たり判定はあるが気休め程度。

ダツシユ攻撃：フェンネルをイメージした盾の突進。発生は可もなく不可もない速さでダメージと吹つ飛ばしも強くないが、飛び道具に若干打ち勝ちやすい。

横スマツシユ：セサミの持つオーブからアクアスプレッドを放つ。

発生スピードは勇者よりかはやや早いくらい。

上スマツシユ・ハツカの魔法符で上に魔法陣を張る。横方向にも判定があり発生も早いが硬直が長い。

下スマツシユ・ソルトのハンマーを左右に振り回す。モーション的にはベレトスマニアーエムブレム風花雪月から参戦したDLCファイター。男主人公ベレトと女主人公ベレス二人の通称。のアイムール下スマによく似ている。

空中N：カルダモンのナイフで周囲を斬りつける。発生が早いが判定が長続きしない。

空中前：銅剣サイレンサーで前方を斬りつける。発生がダントツで早いが、リーチにやや欠ける。

空中後：ハツカの魔法符で後ろに攻撃する。リーチがベレトス並みに長く、範囲も吹っ飛ばしもそこそこあるが、発生が空前・空Nよりも少し遅い。

空中下：ソルトのハンマーを振り下ろす。発生が遅いが、メテオを狙える。

空中上：シユガードの大剣で上方に向かって振るう。モーション的にはセフィロスの空上だが、彼ほどリーチは長くない。

N B 「バイソン&イーグル」【アヴエンジャー・アイリス】

二丁拳銃バイソン&イーグルで射撃を行う。ジョーカーのガンによく似ているが、ため押しでショットガン・アイリスのエネルギーを貯め、アヴエンジャーという極太レーザーを放つ。ための保持はできるが、1回ためるとアヴエンジャーを放つまでバイソン&イーグルは使えない。

横B「シユートバースト」【メガバーストMk. 2】【アンブツシユスライダー】

ジンジャーのバットによる必殺技。ため具合でシユートバースト↓メガバーストMk. 2↓アンブツシユスライダーに技が変化する。シユートバーストはほぼため無し。範囲はカービイハンマーよりもマシ程度だが、コンボにも使って十分な撃墜性能あり。

メガバーストMk. 2はため有り。シールドの削り値が高い。

アンブッシュユスライダーは最大ため。ギガフレア並みのため時間があるが、当たれば強力。要するにファルコンパンチ・魔人拳・アイムール等のロマン技の仲間である。

上B【ディープライン】

セサミのオーブから水流を放ち、その勢いで上昇する。復帰技に使い、横にも上にも復帰力があるが、頭上に判定が無いので復帰狩りに要注意。

下B【ルーンドローン】

ルーンドローンを2機召喚する。ルーンドローンはローリエ工に追従し、近づく敵を攻撃・爆撃する。ルーンドローンは一定時間で消え、また空中攻撃1、2発で吹っ飛ばせる。

前投げ：至近距離でパイソンをぶつ放す。後隙がほとんどなく、コンボに繋がる。

後ろ投げ：自分の真後ろに投げ捨てるように投げる。後隙はそれなりにあるが、飛び道具のコンボに繋がる。

上投げ・上空に放り投げる。後隙がほとんどなく、コンボに繋がる。

下投げ：自分の真下の地面に叩きつける。後隙がほとんどないが、相手の硬直も短く、反撃されやすい。

最後の切り札【ルナティックミーティア】

アルシーグの杖で前方を攻撃、当たった敵（最大3人）にアルシーグと共に遊星召喚魔法ルナティック・ミーティアを放ち、流星群を叩き落とすダイナミックな切り札。

総評

ローリエは、優秀な飛び道具をバラ撒きつつ、空中攻撃や投げ攻撃から始まるコンボでパーセント稼ぎつつリーチの長い撃墜技で一方的に敵を吹き飛ばすキャラとなっています。特に空中からの敵を出の早い空Nや空前で迎撃すればまず打ち勝てます。

ただし相手のコンボから抜け出しにくく、背の高さも災いして攻撃

を貰いやすいため、攻める時と受ける時のリーチ管理がしつかりしていないと一方的に攻められることになるでしょう。

スマブラSP 風ファイター技一覧・クロウ

神原クロウ

出典：まちカド暗黒神

特徴

MPをもち、それを使って様々な技を使うという点では勇者とよく似通っている。ただ、クロウは勇者たちと違つて爆発力こそ劣つているものの、コマンド技は守りや回復・補助の技も持つており、手堅く戦える。

それでもコマンド技には強力な技もあり、一挙逆転も狙うことは可能である。ただ、基本的にはドルマ系とギラ系で遠距離から攻撃していくキャラになるだろう。

技一覧

弱攻撃：神鳥の杖での三連撃。クロウの技の中では最も早く出る

横強攻撃：黒い雷をまとつた杖の薙ぎ払い。

上強攻撃：神鳥の杖の念じボールで攻撃。

下強攻撃：スライディング。スマブラにおいて悪さをする技である

ダツシユ攻撃：踏み込んで電撃を放つ。撃墜性能もあるにはあるが、隙は大きめ

横スマツシユ：杖先で突く攻撃。それなりにリーチがあり、先っぽの判定の方が強い。意外と後隙はない。

上スマツシユ：漆黒の魔法陣を上に描き、いなずまを走らせる。

下スマツシユ：左右に杖を振る技。クロウのスマツシユでは一番発生が早い。

空中N：杖を振り回す。発生は遅めだが、攻撃範囲が広い。

空中前：前方に黒い電撃を発生させる。攻撃範囲・ダメージ・吹っ飛ばしいずれも優秀。

空中後：後ろに闇を纏つた杖の薙ぎ払い。空前に比べて攻撃範囲とダメージに優れる。

空中下：下に向かつてキックをくりだす。範囲が狭いが、相手が100%を超えるとメテオを狙える。

空中上・上にアツパーを放つ。範囲は狭いが、発生が早くコンボを狙える。

N B 【ドルマ系の呪文】

ために応じて闇の呪文を放つ（ため保持可）。

ため無しはドルマ（消費MP：6）。

少しためでドルクマ（消費MP：16）。

最大ためでドルモーア（消費MP：36）。

横B【ギラ系の呪文】

ために応じていかずちの呪文を放つ（ため保持不可）。

ため無しはギラ（消費MP：8）。

少しためでベギラゴン（消費MP：20）。

最大ためでベギラゴン（消費MP：40）。

勇者のデイン系並みに出が早いが、デイン系と比べて威力と吹つ飛ばしが抑えられてる代わりに攻撃範囲が広くなっている（特にベギラゴンが顕著である）。

上B【バギ系の呪文】

ために応じて風の呪文を放つ（ため保持不可）。

ため無しはバギ（消費MP：5）。

少しためでバギマ（消費MP：9）。

最大ためでバギクロス（消費MP：18）。

完全に勇者の上復帰技である。

下B【コマンド】

ランダムで変化するコマンドが出て、そこから選択した技を発動する。選択肢の技は以下の通り。

・バイキルト（消費MP：16）：一定時間攻撃力UP。

・スクルト（消費MP：13）：一定時間防御力と吹つ飛ばされにくさがUP。

・ためる（消費MP：14）：次の一撃を強力にする。

・ラリホー（消費MP：16）：前方に放ち、当たった相手を眠らせる。

・メダパニーマ（消費MP：18）：周囲に放ち、当たった相手を一定時間反転状態にする。

・イオ（消費MP：9）：小さな爆発を起こす呪文。

・イオナズン（消費MP：37）：大爆発を起こす呪文。

・ライディン（消費MP：18）：中～長距離に素早き雷撃を放つ。

・ヒヤダルコ（消費MP：12）：前方に氷の波を放つ呪文。凍結効果あり

・マヒヤド（消費MP：29）：周囲に氷河の刃を発生させる。凍結効果あり。

・パルプンテ（消費MP：4）：何が起ころかわからない。

・祝福の杖（消費MP：14）：自身と周囲のキャラのダメージを回復させる。ホイミよりも回復量が大きいが、2回使うとストップを失うまで選択肢に出てこなくなる。

・ルーラ（消費MP：8）：安全な足場まで戻る呪文。天井に頭をぶつける仕様も存在する。

・マホトラ（消費MP：1）：ダメージはそれほどでもないが、相手に当たった場合自身のMPが回復する。また、時間経過等で回復する特有のゲージを減らす事も可能MP、リミットゲージ、反逆ゲージなど。

・さそうおどり（消費MP：16）：周囲がつられて踊ってしまうダンスを踊る。炭坑節バンデルフォン音頭を踊るのは誰だ!?当たり前だが、ダンスのモーションはキャラごとに違う。踊らせてみると案外可愛かつたり絶妙にダサかつたりするかも知れない

・やいばくだき（消費MP：10）：攻撃した相手の攻撃力を一定時間ダウン。

・グランドクロス（消費MP：30）：十字方向に光の攻撃。消費MPと吹っ飛ばしが高め。

・ジゴスペーク（消費MP：45）：地獄の雷いかずちを呼び覚ます。消費MPと吹っ飛ばしが高め。

・一閃突き（消費MP：15）：当たれば会心の一撃。魔神斬りと比べて上下の範囲は狭いが横方向のリーチが長い。

・いてつくはどう（消費MP：17）：前方に放ち、当たった相手の強化効果をかき消す。

前投げ：背負い投げ。コンボには使えない。

後ろ投げ：巴投げ。コンボには使えない。

上投げ：相手を真上に飛ばす。低%ならコンボに繋がる。

下投げ：相手を地面に叩きつけ、軽く浮かせる。コンボに繋がる。

最後の切り札【暗黒神の怒りの流星】

前方を念じボールが暴れ、相手に当たると（先祖である暗黒神ラップソーンと連携し宇宙から流星群を降り注がせ、追撃を加える切り札。

総評

クロウは、必殺技が強力で得意な距離を押し付けるタイプのファイターとなっています。特にドルマ・ドルクマ・ギラ・ベギラマ辺りは取り回しやすく、見てから回避が難しいため積極的に使っていきましょう。

ただしMP切れを起こすと復帰すら出来なくなる点のような勇者の欠点に加え、近接戦闘が勇者より苦手なキャラとなっています。相手の行動に合わせて必殺技を使つたり投げやコンボを決めてMP回復を図りましょう。

スマブラSP 風ファイター技一覧・シャミ子

シャミ子（吉田優子、シャドウミストレス優子）

出典：まちカドまぞく

特徴

背が低く、攻撃を貰いにくい反面、重さはヒカリゼノブレイド2から参戦したDLCファイター。エロいお姉さんその2。くらいしかないが、その分身軽だと言える。

デフォルトで持っている大きなフォークのような杖はリーチが長く、またNBで作り出せる様々ななんとかの杖は、数多くの場面で有効である。相手を翻弄しつつ、スキを突いて撃墜を狙うキャラだといえる。

余談になるが、下アピールでせん像が、上アピールで桃が登場する。

技一覧

弱攻撃：杖を上下に振つて攻撃。連打で杖で連續突きの百裂攻撃に変化する。どちらも発生が早く持続が長い。

横強攻撃：杖で薙ぎ払う。リーチが長い。

上強攻撃：杖を上方向に振り回す。真横の判定も拾うがスキは大きい。

下強攻撃：杖で足払いをかける。かがんで攻撃するため、空中攻撃に当たりづらい。

ダツシユ攻撃：キックの姿勢で飛び込む。極稀にすつ転ぶ。

横スマツシユ：踏み込んで杖で突く。先端に当てるにより吹つ飛ぶ。ベレトスマツシユアーエムブレム風花雪月から参戦したDLCファイター。男主人公ベレトと女主人公ベレス二人の通称。のアラドヴァアルに似ている。

上スマツシユ：杖による上突き。真横への判定はない。

下スマツシユ：かがみこんで左右に杖を突きだす。モーションはガノンドロフの下スマに似ているが、彼よりも発生は当然早い。

空中N：空中で杖を高速回転させる。ピットやベレトスの空Nに近

い動き。

空中前：前方向に杖を振り下ろす。発生が早く着地隙が少ない。また、撃墜扱のひとつになり得る。

空中後：後ろ方向に杖を突きだして攻撃。リーチは長いものの上下の判定は狭い。

空中下：杖を構えて急降下する。崖外では使えないが着地狩りの拒否に使える。

空中上：バク転しながら上方向に杖を振り抜く。攻撃範囲に優れるがダメージが低く、着地の隙が生まれる。

N B 【なんとかの杖】

一回目でどの杖に変化させるかを決め、二回目で使用する。

出てくる杖の順番は決まっている（炎→おやつ→雷→氷→回復→する→最初に戻る）。

・炎の杖：地を這う炎を放つ。性質上、空中で使うと攻撃範囲が減る。

・おやつタイムの杖：前方中範囲にランダムでおやつを降らせ、ダメージを与える。

・かみなりの杖：前方中範囲に雷撃を放つ。斜め上方向に範囲が広め。

・こおりの杖：前方に冷気を放ち、相手を凍らせる。

・かいふくの杖：自身のダメージを回復する。使用すればするほど回復量は減っていく。

・ずるい杖：発生と後隙が非常に大きいが、当たれば超強力な一撃。ルイージの出始め上Bやプリンのねむる、ゲーム&ウォッチの9ジャッジに似たロマン武器。

横B【山の神フォーム】

駅伝のような山の神フォームに変身し、横一直線に突進する。復帰にも使用可能。

上B【ものほしざお】

なんとかの杖を物干し竿に変え、斜め上に突きだす。崖に突き刺さ

れば復帰が可能。

下B【心の壁フォーム】

大きな二枚貝のような心の壁フォームに変身し、相手の攻撃を防御した時貝を開いて反撃する。飛び道具を反射することは出来ず、強力すぎる攻撃に破られるが前後方向の攻撃を防御でき、カウンター倍率も高め。

前投げ：背負い投げ。コンボには使えない。

後ろ投げ：トルネードスローで、遠心力を利用して相手を後ろに投げる。相手のパーセントが高ければ撃墜技にも使える。

上投げ：相手を真上にブン投げる。相手のパーセントが低ければコンボが繋がる。

下投げ：掴んだ相手を地面に叩きつける。コンボの始動技に最適。

最後の切り札【ずるい武器・天沼矛】

自身の杖を巨大な天沼矛に変化させて、前方をかき回す。吸い込みが大きく、持続が長い連続攻撃。

総評

シヤミ子はNBの必殺技で多様な攻撃ができるものの、全体的に攻撃力とバーストに悩まされるキャラです。相手を吹っ飛ばしにくく、また自身の身軽さが仇になつて崖外での空中戦で狩られやすいです。しかしリーチの長さや必殺技は優秀で、トリックキーな杖を臨機応変に使い技の距離を把握することさえできれば、相手を翻弄し続ける強キャラに化けることができます。相手との距離をうまく測りつつ、地に足を付けた堅実かつ意表を突いた攻撃で相手のペースを乱して撃墜技を当てていきましょう。

スマブラSP 風ファイター技一覧・ベロニカ

ベロニカ

出典：ドラゴンクエスト11 過ぎ去りし時を求めて

特徴

原作では魔法使いとして強力な魔法を数多く覚えてきたベロニカは、スマブラでもその強みを存分に発揮する。メラゾーマやイオナズンはそのままでも強力だが、魔力かくせいを行うとそれぞれメラガイアーとイオグラーンデに変化して、無類の攻撃力を誇るだろう。ただし、強力な魔法は消費MPも多く、またMPがなければ魔法を放つことが出来ない点は注意。

一応、スマツシユ攻撃で会心の一撃が出ることはあるが、勇者の会心率（8分の1）よりも低い（12分の1）ので、当たつたらラツキー程度に考えるべし。

技一覧

弱攻撃：ベロニカの杖を振つて攻撃する。連打でグリンガムのムチを使つた百烈攻撃。

横強攻撃：杖をバットのようにスイングする。

上強攻撃：ムチを振り回して真上を攻撃する。

下強攻撃：屈んで前方向をムチで叩く。元々の背の低さもあり攻撃時の姿勢が低く反撃を貰いにくい。

ダツシユ攻撃：スライディングで敵に突つ込む。元々の背の低さもあり、敵の攻撃を潜り抜けることができる他、崖掴まりに当たる。

横スマツシユ：光の魔力を目の前で弾けさせる。ベロニカのスマツシユではもつとも後隙が短い。

上スマツシユ：光の魔力を真上で弾けさせる。ベロニカのスマツシユではもつとも会心率が高い。

下スマツシユ：左右をムチで払う。ベロニカのスマツシユではもつとも発生が早い。

空中N：杖を回転させて攻撃する。多段ヒットする。

空中前：魔力のこもつた杖を前方に振り下ろす。

空中後：杖先を脇から通して後ろを突く。

空中上：上方に向いてムチを振り回す。多段ヒットするがカス当たりだとバーストしない。

空中下：下方に向いてムチを振り回す。多段ヒットするがカス当たりだとバーストしない。

N B 【メラ系の呪文】

ために応じて炎の呪文を放つ（ため保持可）。

ため無しはメラ（消費M P : 6）。

少しためにメラミ（消費M P : 16）。

最大ためでメラゾーマ（消費M P : 36）。

魔力かくせい+最大ためでメラガイア（消費M P : 55）を放つ。

横B【イオ系の呪文】

ために応じて爆発の呪文を放つ（ため保持不可）。

ため無しはイオ（消費M P : 9）。

少しためにイオラ（消費M P : 18）。

最大ためでイオナズン（消費M P : 37）。

魔力かくせい+最大ためでイオグラnde（消費M P : 58）を放つ。
勇者やクロウの下Bでランダムに出てくる爆発呪文が、ベロニカは横Bで使える。

上B【トベルーラ】

自身が飛翔する呪文（消費M P : 10）。溜めることで多少の飛距離には差はあるものの、N Bや横Bのように強力な呪文に変化することはない。また、攻撃判定が出始めにしかない（ステイ一ブのエリトラのようなもの）。

下B【コマンド】

ランダムで変化するコマンドが出て、そこから選択した技を発動する。選択肢の技は以下の通り。

- ・バイキルト（消費M P : 16）：一定時間攻撃力UP。
- ・マホカンタ（消費M P : 14）：飛び道具を反射する
- ・ギラ（消費M P : 8）：当たると火炎を発生させる速い弾を放つ

・ヒヤダルコ（消費MP：12）：前方に氷の波を放つ呪文。凍結効果アリ

・マホトラ（消費MP：1）：ダメージはそれほどでもないが、相手に当たった場合自身のMPが回復する。また、時間経過等で回復する特有のゲージを減らす事も可能MP、リミットゲージ、反逆ゲージなど。

・ボミオス（消費MP：15）：前方広範囲に放ち、当たった相手をものすごく遅くする

・ピオリム（消費MP：13）：自身をものすごく素早くする。

・魔力かくせい（消費MP：20）：次に放つメラゾーマ／イオナズンをメラガイア／イオグランデにする。

前投げ：トルネードスローで前方向へ投げる。コンボには繋がらない。

後ろ投げ：トルネードスローで後ろ方向へ投げる。コンボには繋がらない。

上投げ：掴んだ相手を上へ放り投げる。

下投げ：掴んだ相手を地面に叩きつける。

最後の切り札【クロスマダンテ】

自身の周囲にムチを飛ばし、相手が当たつたら妹のセニヤを呼び出してクロスマダンテの大爆発で追撃。クロスマダンテ本体は巻き込み判定があるが、初撃のムチに誰も当たらなかつたら発動しない。

総評

ベロニカはとにかく魔法の攻撃が優秀です。メラゾーマ・メラガイア・イオナズン・イオグランデあたりは一瞬で戦況をひっくり返せる程のダメージとバースト力があります。

ただし魔法を使わない接近戦にめっぽう弱いと言わざるを得ません。ダメージ稼ぎにくく、掴みも短いうえに各スマッシュ・空前・空後など普通なら撃墜技になる技も軒並みバースト力に欠けます。重さもないでの懷に入られたらあつという間に吹っ飛ばされてしま

う事もあるでしよう。

近づかれたら背と姿勢の低さを最大限活用して敵から距離を取り、
MPに気を配りながら強力な魔法を叩き込むのが良いでしよう。

スマブラSP 風ファイター技一覧・博麗靈夢

博麗靈夢

出典：東方 project

特徴

幻想郷で百戦錬磨の巫女として知られる靈夢は、日常的に空を飛んでいるため、空中攻撃の長めのリーチや弾幕で相手を翻弄する事に長けており、そのため空中戦を得意とする。武器キヤラではあるが剣士ではないため投げ技もそれなりに強い。ただし軌道がふわっとしているという事は着地を狩られやすいことも意味しているのでそこには注意。

技一覧

弱攻撃：お祓い棒での三連撃。連打で針の連射の百裂攻撃を行う。

横強攻撃：お祓い棒の縦振り→封魔陣。最初の一撃は一步踏み込むため当てやすい。

上強攻撃：お祓い棒で上を突く。見た目以上に攻撃範囲がある。

下強攻撃：お祓い棒で足払いをする。相手を宙に浮かせることができる。

ダツシユ攻撃：スライディングで敵に突つ込む。後隙はあるが上強攻撃に繋がる。

横スマツシユ：陰陽玉を出現させて攻撃する。靈夢のスマツシユではもつとも後隙が短い。

上スマツシユ：上方向にキック2連撃。靈夢のスマツシユではもつとも威力が高いが、回避された時の隙は大きい。

下スマツシユ：左右の足元にお札を叩き込む。靈夢のスマツシユではもつとも発生が早い。

空中N：回転して左右をお祓い棒で攻撃。攻撃判定は左右に広く、上下に狭い点は注意。

空中前：お祓い棒で前方に殴りかかる。攻撃の持続と範囲に長けており、素手のファイターの空中攻撃には打ち勝ちやすい。

空中後：回転しつつ振り向いてハイキック。バースト力がダントツ

で高い。

空中上：空中昇天脚というサマーソルトキック。メタナイト並みに全体フレームも少なく、後隙も短い為連撃に向く。

空中下：お祓い棒で下方向を払う。メタナイト並みに全体フレームもなく、後隙も短い為連撃に向く。

N B 【妖怪バスター】

前方にお札を4枚投げて攻撃する。弾道が早いが、ダメージやよろけ性能は低い為、スーパーアーマーで耐えられることも。

横 B 【即妙神域札】

前方に正方形の陣を張つて攻撃する。結界を投げてから発生されるまでのタイムラグがあるが、威力はそこそこ高め。結界は発生中に飛び道具を防いでくれる。

上 B 【天霸風神脚】

上方に向かつて放つ連続サマーソルトキック。空中では大きく上昇するため、復帰にも攻撃にも使える。

下 B 【博麗大結界の隙間】

持つているお祓い棒を振り上げてスキマを設置し、そこから卒塔婆を発射する。お祓い棒の振り上げは攻撃判定になつており、バーストも可能。

前投げ：背負い投げ。コンボには使えないが、相手をステージ外に出す時に使える。

後ろ投げ：トルネードスローで後ろ方向へ投げる。コンボには繋がらない。

上投げ：掴んだ相手を上へ放り投げる。低%なら上強や空上が繋がるほか、バーストの扱にもなり得る。

下投げ：掴んだ相手を地面に叩きつける。コンボの初動に。

最後の切り札【夢想封印】

敵を追尾する6発の巨大弾幕で攻撃する。相手が2人以上いると

追尾がランダムになる。威力は高め。

総評

靈夢は何といつても投げ性能と空中攻撃に優れるキャラで、コンボを繋いでダメージを稼ぐオーソドックスな性能をしております。その反面、必殺技はトリックキーであり、遠距離攻撃で翻弄することもできるファイターです。『空を飛ぶ程度の能力』を持つ、弾幕シユーティングゲームの主人公らしく、派手な弾幕と隙を見せない空中戦で、相手に攻撃のヒマを与えずに撃墜していきましょう。

ただし、バーストする技をしつかり当てないとバースト難になりがちな点と、靈夢本人のふわっとした空中機動・軽さには要注意。

スマブラSP 風ファイター技一覧・きらら

きらら

出典：きららファンタジア

特徴

クリエメイトを『コール』で呼び出し力を借りながら戦うファイター。クリエメイトはクラスという特殊な力を備えており、ナイト・せんし・アルケミスト・まほうつかい・そなりよで別々の強力な力を発揮する。その辺の力は大乱闘でも十分に通用し、頼もしい味方となり得るだろう。

原作でもきららを支えた仲間のランプやマッチは左右アピールや上アピールで登場するほか、勝利画面にも登場する。

技一覧

弱攻撃：そなりよの通常攻撃のように軽く杖を振る打撃。リーチは短いが発生が早く連打できる。

横強攻撃：杖を下から前に振るう攻撃。リーチが弱よりも長い。

上強攻撃：杖を掲げてくるくる回す。杖先の魔法の光で攻撃。

下強攻撃：相手の足元に向かつて杖先を突く攻撃。自身もしやがみながら攻撃するため、姿勢がたまに悪さをする。

ダッシュ攻撃：走った慣性を利用してスライディングをする。マリオやソラのDAと似る。

横スマッシュ：杖を思いきり振り下ろす。その際、杖先から星型弾を放つ。星型弾にも判定があり、ふつ飛ばし力があるが、杖に当たた方がよく飛ぶ。

上スマッシュ：杖を思いきり突き上げる。杖先から星型の光も放たれ、攻撃判定が広い。

下スマッシュ：姿勢を屈め、回転しながら左右に杖を振るう。当てれば真横にふつ飛ばす。

空中N：杖を2回転させて周囲を攻撃する。持続が長いため、空中での暴れに使える。

空中前：前方に杖を振り下ろす。シンプルな前方攻撃。

空中後・振り向き回転しながら杖を横に振るう。上下への攻撃判定は短いが、撃墜性能は空中前攻撃よりも高い。

空中下・下方に向けて3連キックを放つ。スネークの空下によく似ている。

空中上・杖を振り上げて光で攻撃。持続が非常に長い。デデデの空上のようなもの。

N B 【風魔法／竜巻砲／メガ粒子レクイエムシュート】

涼風青葉をコールして、前方に風の魔法を放つ。ための保持が可能である。

ためなしでスタンダードな魔法。メラやサンダーによく似た、牽制用の魔法。

ため有りで竜巻のような弾を放つ。メラミやエルサンダーと同じで、汎用性と火力のバランスの取れた魔法。

最大ためでメガ粒子レクイエムシュート。太いレーザービームなような風魔法を放つ。最大チャージショットやトロンのように、当たれば撃墜も狙える。反射に注意。

横B【ねこハンマー】

野々原ゆずこをコールして、前方にねこハンマーを振り下ろす。ためとキヤンセルが可能だが、最大ためが確定したらキヤンセル不可。ためるほどに威力が増し、最大ためは強力。クロムやロイのN Bとよく似ている。

上B【きららジャンプ】

千矢をコールして、上方に向の大ジャンプをする。千矢の剣型スピアは前方斜め上に攻撃判定あり。また、足の出始めにも攻撃判定がある。技の発生が一番早い。

下B【コマンド】

きららファンタジア式コマンドが4つ登場し、選んで発動する。一度使用すると、再使用するまでに時間がかかることがある。

・パラライズ・ランプをコールして、山なりにフラスコを投げる。当たった敵を中確率で痺れさせる。リキヤスト3秒。

- ・必殺エターナル波動剣：九条カレンをコールして、次の一撃を超強力にする。勇者の「ためる」とよく似ている。リキヤスト12秒。
- ・癒しのお絵かき講座：ゆのをコールして、自身を20%ほど回復&防御力と吹っ飛びにくさを上げる。リキヤスト35秒。
- ・おじさまはいつも心の中に・本田珠輝をコールして、自身のスピードがものすごくアップ。リキヤスト8秒。

前投げ：掴んだ相手を突き飛ばす。低%ならコンボが繋がる。

後ろ投げ：トルネードスロー。投げによるバーストに適する。

上投げ：上空に放り投げる。後隙がほとんどなく、上強や空中などのコンボに繋がる。

下投げ：自分の真下の地面に叩きつける。コンボの初動に最適。

最後の切り札「力を貸して！」【シャイニング・ダイアリー】

周囲に敵の有無でとつておきが変わる、リュウ・ケン仕様。

敵がない時はとつておきで体力を80%（体力制では最大HPの80%）を回復し、一定時間攻撃力が上昇する。

敵がいる時は前方に攻撃を放ち、ランプと共にシャイニング・ダイアリーで追撃。最大3人まで巻き込みが可能。

総評

きららは、クリエメイトを『コール』した必殺技が強力なファイターです。メガ粒子レクイエムシユートやねこハンマーのバースト力が高いのはもちろん、コマンドのバフや回復、状態異常も中々に強力です。ただし、『コール』を使用した必殺技は隙がかなり大きく、暴れが空Nしかないため、接近戦がかなり苦手なファイターになつております。NBや横スマッシュの星型弾などで相手を近づけさせない戦い方をするのが最も良いでしょう。

スマブラSP 風ファイター技一覧・アリーナ

アリーナ

出典：ドラゴンクエスト4 導かれし者たち

特徴

原作では類まれなるお転婆さと会心率で主人公を支えたアリーナが、勢いそのままに大乱闘に参戦した。会心の一撃を敵の懷に殴り込むテクニックは健在で、会心率はなんと勇者（8分の1）を上回る。上・下スマッシュは7分の1、横スマッシュは脅威の5分の1を誇る。また彼女自身のすばやさも目を見張るものがあり、スピードがありながらも十分な爆発力を持った武闘家だと言えるだろう。

技一覧

弱攻撃：三連撃と連續蹴りの百裂攻撃がある。

横強攻撃：ばくれつけん。前方向に4回の連撃パンチを放つ。ボタン連打をやめると途中で止まる。

上強攻撃：アツパーかつ攻撃。マリオの上強に似ている。

下強攻撃：しゃがんで足払いをかける。相手を上へふつとばす。

ダツシユ攻撃：スライディングで攻撃する。持続に優れるが、隙が大きい。

横スマッシュ：回し蹴り。会心の一撃が最も出やすいが、外したりガードされると隙ができる。

上スマッシュ：上方向に向かって拳を突き上げる。真横に密着しても当たらないほど範囲は狭めだが会心時のふっとびはピカイチ。

下スマッシュ：前→後と下方向を蹴りつけるキック。崖掴まりに当たる。

空中N・ライダー系。発生と持続に優れるが、リーチにやや難がある。

空中前：飛び膝蹴りを放つ。ファルコンの空前と似たようなモーション。

空中後：ばくれつきやく。後方にキックを4連撃。持続が長く、バースト力も高い。

空中下：回転しながら急降下し、地面に叩きつける。自滅するため崖外では使えない。

空中上：サマーソルトキック。他のキャラのサマーソルトと比べて全体フレームが少ない（＝発生は早いが持続が短い）。

N B 【かまいたち】

腕から真空の刃を放つ。刃はまっすぐ飛んでいく。連打することで連續して放つこともできるが、威力は段々と落ちていく。

横B【せいけん突き】

腰をおとして突進しながら真っすぐに拳を突き出す技。ためで突進の距離（若干）と威力（けつこう）が上がる。横からの復帰に使えなくもない。

上B【ひしようけん／改／極】

回転しながら飛び上がるアッパー・カット。ためることでひしようけん改→ひしようけん極に変化し、威力と飛び上がる距離が上がる。基本的には復帰に使う技だが、コンボの〆にも使用可能。復帰時のため不足による事故に注意。

下B【いつかつ】

周囲の敵を一喝し、一定時間動けなくなる。当たれば確実にスマッシュを打ち込めるが、ガードされたら隙が生まれる。

前投げ：背負い投げ。コンボには向かない。アリーナの投げではダメージが大きい。

後ろ投げ：トルネードスロー。コンボよりも崖に追い出す時に。アリーナの投げではふつとばしが強い。

上投げ：掴んだ相手を真上に放り投げる。低%なら上強や空上が繋がる。

下投げ：相手を地面に叩きつける。コンボの始動に。

最後の切り札【閃光烈火拳】

前方を殴り抜け、当たった相手（最大3人）に火炎の玉を拳で打ち出して爆発を引き起こす。

総評

アリーナは、なんといつても接近の戦闘に長けた武闘家タイプです。すばやさも高いほか、会心の一撃が出やすくなっています。早い身のこなしから放たれるばくれつけんやその他の格闘攻撃、投げで敵を翻弄しつつ、スマッシュの会心の一撃で早期撃墜が可能なキャラとなっています。ただし重さが軽めでふつ飛ばされやすい上に、復帰が安直にならざるを得ません。上手くジャンプと横Bと上Bを使い分けなければ、帰つてこれなくなることも多々あることも念頭に置いておきましょう。

スマブラS.P風・ローリエと仲間の通信記録 in エトワリア大神殿

【通信記録について】

ステージ「エトワリア大神殿（戦場化・終点化は除く）」にて、下アピールボタンをちょこつつつと押すと発動。会話中も戦う事ができるが、会話中にローリエが撃墜されると会話がキヤンセルされる。1バトルに1回のみで、3人以上で複数のキャラと戦つていると、その中からランダムで1人が選出される。

【ファイターの知識について】

ローリエ……かなり偏っている。知ってる人については筋金入りだが知らない人は全く知らない。

アルシーヴ…プロフェイールと戦闘力程度しか知らない。

ソラ ……世界を観測する女神だからか、かなり博識。

その他賢者…ほぼ知らない。ソラやアルシーヴの報告を鵜呑みにしがち。

【マリオ】

ア「ローリエ、マリオと戦っているな？」

ロ「ああ、そうだ。世界的大スターと手合わせできる日が来るとは思わなかつたぜ！」

ソ「1981年に生まれて、今もなお主人公として躍進している。まさに世界の大スターよ。」

ア「ならば命令は一つだな…大スターの胸を借り、悔いのないように戦い抜くのだ！」

ロ「八賢者ローリエ、了解。命令を遂行する。」

【ドンキーコング】

ロ「アルシーヴちゃん、ドンキーコングがいるぞ。」

ア「あの剛腕の一撃には注意だ。まともに食らえばひとたまりもないだろう。」

ソ「しかも俊敏で多芸。ジャングルで鍛えられた力は伊達じやないのね。」

ア「だが、パワーで勝てないなら策に嵌めればいいだけだ。ソルトのように、頭を使うといいだろう。」

ロ「もとよりそのつもりだ。」

【リンク】

ア「リンクと戦っているのか、ローリエ。」

ロ「ああ。ハイラルの勇者、ゼルダ姫を助ける宿命にある勇者だよ。」

ソ「一口にリンクといつても、色んなリンクがいるみたいね。時を超えて、勇者リンクの名は受け継がれるつてことかしら。」

ア「戦闘では弓やブームランなど、様々な武器を使うようだ。」

ロ「なるほどな。だが、奴も相手が悪すぎるな。技術の違いを見せつけてやろうじゃないか。」

【サムス】

ロ「見ろ、パワードスーツを着た女がいる。あれがサムスだな。」

ア「なつ…サムスは女性なのか!?」

ソ「ええ、そうよ。連邦の切り札とも言われる歴戦の傭兵。鳥人族の技術で作り上げたパワードスーツと多種多様な兵器、何より本人の不屈な意志で出来ない事はないとされているわ。」

ア「成る程、宇宙最強の戦士と言われる訳だ。間違つても手は抜くなよ、ローリエ。」

ロ「分かってる。ただ、あの技術力は欲しいな。俺の強化に繋がる。」

【ダークサムス】

ロ「ソラちゃん、真っ黒なサムスがいるぞ。」

ソ「あれはダークサムス。サムスとは全くの別物よ。フェイゾンがサムスの遺伝子情報を元にサムスの装備を再現して蘇ったの。」

ロ「つまり、中身は別物つてことか。」

ソ「そう。性格は残忍で狡猾。サムスとは似ても似つかないわ。」

ア「だが：ソラ様の説明にもあつたが、戦い方はサムスに通ずると

ころがあるようだ。弱点も似通っている可能性がある。」

ロ「分かった。戦いながら探つてみる。」

【ヨツシー】

ソ「ヨツシーと戦つているのね、ローリエ。」

ロ「タマゴを使って戦つてきるのが、なかなかに厄介だ。」

フ「タマゴを生むという事は、あのヨツシーはメスなのですか？」

ソ「いや、そうとも限らないわよ。一人称は『ボク』だし。」

ロ「そもそも、色んなヨツシーがいて、そいつらが全員タマゴを吐き出すからな。」

フ「まさかの雌雄同体ですか…!? 珍しい恐竜ですわね…」

ソ「大乱闘では、地上戦も空中戦もこなすけれど、復帰がちょっと弱いみたい。強くふつとばすことを意識するといいかもね。」

【カービィ】

セ「ローリエ、そのピンクの生命体は危険です！」

ロ「え、危険？ そんな訳ないだろう、カービィだぞ？」

セ「カービィは様々な生き物を吸い込み、捕食してしまうのです。そして…その生き物の能力を強奪する『コピー能力』という特殊能力を持つっています！」

ロ「…いや、まあ確かにそうだけさ。」

セ「その能力で数多の強者を屠つていて、『ピンクの悪魔』という通り名もあるようです。いいですか、絶対に捕食されてしまひませんよ！」

ロ「…………了解した。」

【フォックス】

ロ「今にも乗り物に乗りそうなキツネがいるな。」

ソ「フォックス・マクラウドね。やとわれ遊撃隊・スターフォックスのリーダーよ。」

ア「俊敏な動きで敵を惑わす戦法を得意としているようだ。」

ロ「なるほどね。突き詰めた速さは厄介だな。だが、その分攻撃は直線的になりやすい。」

ア「そうだ。敵の狙いを読んで、生まれた隙にデカい一撃を叩き込

んでやれ。」

【ピカチュウ】

シ「わあっ、かわいい！」

ロ「シユガード！」

シ「あの黄色くてかわいいのがソラ様が言つてたピカチュウなんだね！」

ロ「…あ。ポケモンの代表格で、電気を操る力とすばしつこさが特徴だ。」

シ「ねえ、おにーちゃん！ピカチュウをゲットしてきてー!!お願ひ！」

ロ「勘弁してくれ。モンスターボールを作れる自信がないし、何より俺はポケモントレーナーじゃない。」

シ「えー、ケチー。」

ロ「見てるだけで我慢しなさい。」

【ルイージ】

ロ「おい、あそこに永遠の二番手がいるぞ。」

ア「ちゃんとルイージと呼ばないか。調子に乗っていると、何もできずに負けるぞ？」

ソ「ここまでたくさんファイターの中で二番手って相当よ？状況によつては、お兄さんに勝るボタンシャルを秘めてるんじゃないの？」

ロ「む……それもそうか。」

ア「ロケットの暴発には気を付ける。思わぬ場面で大ダメージを受けるやもしれないからな。」

【ネス】

ロ「おい、この戦場に子供がいるぞ！」

ソ「あの子はネス君ね。P.S.I.っていう超能力を持つた男の子よ。」

ア「光や雷、炎まで超能力で出してくるという。子供だからといって油断していい相手じやないな。」

ロ「読心術テレパシーは使つてくるのか？」

ア「いや、聞いた事はないな。」

口「それは良かつた。手の内を読まれたら、俺の武器もほぼ形無しだからな」

ソ「例え使えてもそんな事をする子じやないわ。ネス君はまつすぐな心を持つているもの。」

口「……後で色々話したいもんだ。」

【キヤプテン・ファルコン】

口「キヤプテン・ファルコンがいるぞ！」

ア「キヤプテンか：何かの船長なのですか、ソラ様？」

ソ「船長っていうより、レーサーね。凄腕のバウンティハンターなのよ。」

口「いや、ファルコンつていつたらアレだろ？誰もがやりたくなるアレ。」

ア「アレ？」

口「ファルコン・パンチ！！」

ソ「ファルコンキック!!」

ア「……よく分からんが、ふざけてパンチに当たつても知らないぞ？」

【プリン】

口「二人とも、プリンがいるぞ。」

ソ「ふうせんポケモンね。ふわふわしてるから、空中戦は不利かもしないわ。」

ア「それ以上に、奇妙な事が判明した。あのポケモン、どうやら眠る瞬間にだけ、体内に爆発的な魔力を発生させるようなのだ。」

口「噂には聞いたことがあるぜ。たしか『ねむる』だつたか。そんな時に触れたら、一瞬で吹っ飛ばされるんだとか。」

ア「分かっているなら対処はできるな。くれぐれも、その超必には注意するんだ。」

口「了解だ。」

【ピーチ】

口「あそこを見ろ、二人とも。ピーチ姫がいるぞ！」

ソ「キノコ王国のお姫様ね。いつもはクツパに攫われてはマリオに

助けられる日々だけど、たまにマリオ達を助けることがあるのよ?」

ア「つまり…見た目以上に肝が据わっている可能性が高いと。」

ローリエ、ピーチ姫を口説こうなんて思うんじゃないぞ?」

ソ「そうなつたら、間違いなく配管工のお兄さんに懲らしめられるわね。」

ロ「口説かないよ…ここは大乱闘なんだから。」

ソ「地面から引っこ抜く野菜に気を付けて。彼女を浮かせば封じることができるわ。」

【デイジー】

ロ「おお…この大乱闘、デイジーも来ているのか!」

ソ「サラサランドのお姫様ね。ピーチ姫とは違つて、明るく快活な性格よ。だからか、お姫様同士仲がいいみたい。」

ア「なるほど。ピーチ姫とも交流があつたのですね。使用する技が似通つているのも道理です。」

ロ「確かに…強力な野菜は、地面についてないと引っこ抜けないんだつたか。」

ア「そうだ。強力な技には弱点がある。他のファイターにも、お前にもな。」

ロ「ああ。肝に銘じておくよ。」

【クッパ】

ロ「クッパだ! クッパが大暴れしているぞ!」

セ「あれが噂に聞くクッパ大王ですか。マリオの宿敵にして、クッパ軍団の首領であると。」

フ「なんだか、亀の甲羅を背負っていますわね。体格も我々とは段違いです。見て分かるパワータイプと言つたところでしようが?」

ロ「アレで、炎も吐くんだぜ? 流石、ピーチ姫を攫いまくつてる張本人は伊達じやない。」

フ「なつ!なんて不埒な輩なのでしょう! すぐに成敗してしまいますい、ローリエ!」

セ「どうかご健闘を。まあ…セクハラ魔に言うのもなんですが。」

ロ「何を言う。拉致監禁犯よかマシだろーが。」

【アイスクライマー】

口 「おい、あの二人組はなんだ？」

ソ「アイスクライマーですね。普段は雪山でどちらが先に頂上へ着くか争っているわ。」

ア「命を落としかねない雪山で競争か……なんてタフな連中なのだろうな。」

ソ「そんな日常を送ってるからか、大乱闘では息のあつたコンビネーション攻撃で攻め立ててくるわ。」

口 「2対1か：流石にちょっとキツいな。対策はあるか？」

ア「ナナを先に倒して分断すれば、戦いやすくなる。是非とも狙つておきたい所だ。」

【シーク】

口 「おい、ゼルダがシークに変身したぞ!?」

ソ「忍びのデザインのシークね。なかなかカッコいいわ！」

ア「見る限り、動きがとても素早いな。隙を突いて連續攻撃を加えるタイプのファイターといったところか？」

ソ「そうね。懐に入りこまれた時には大ダメージを覚悟しなきやね」

⋮

口 「俺の銃火器やリーチのある武器を使って、近寄せない戦い方が有効、なのか？」

ア「軽くて吹っ飛ばしやすいのも特徴だ。覚えておくといいだろう。」

【ゼルダ】

ソ「ゼルダと戦っているのね、ローリエ。」

口「乱戦の中ドレス姿とは：破れたりしないんだな？」

ア「ローリエ。貴様は我々を代表してそこにいるんだ。発言には気を付ける。」

ソ「ゼルダ姫は攻撃力も防御力も魔法で底上げしているわ。戦力は見た目以上で当然と考えた方がいいわね。」

ア「自動攻撃のファンタムやディンの炎といった魔法をくぐりぬけて戦いを仕掛ければ有利にもつていけるはずだ。下手に撃ちあうな

よ。」

口 「オーケイ！」

【ドクター・マリオ】

口 「マリオが医者やつてんぞ!?」

ア「ドクター・マリオだな。カプセルに入った薬品をファイアーボール代わりに撃つてくる。」

ソ「あんまり体を動かさない仕事だからか、本来のマリオよりも動きはちょっと遅いわ。でもその分、吹っ飛ばす力も増してるから注意ね。特に高学歴パンチには気を付けて。」

ア「コウガクレキ……一体どんな技なんだ…!？」

口 「高学歴つてなんだつけ…！」

【ピチュー】

口 「ピチューを発見したぞ。」

シ「ちつちやいピカチュウみたいだね。かわいいなあ～！」

口「それもその筈、ピチューはピカチュウの進化前だからな。」

ソ「まだ電気を上手く操れないからか、雷を使うと自分もダメージを受けるみたいね。」

シ「おにーちゃん！シユガー、ピチューも欲しい！」

口「俺はポケモントレーナーじゃないから諦めてくれ。」

ソ「軽くて吹っ飛ばしやすいけど、小さいから攻撃が当たらない事もあるかもね。戦う時には、しつかり狙わないといけないわよ。」

【ファルコ】

口「なんかスカウターをつけた鳥がいるな。」

ソ「ファルコ・ランバルディね。スターフォックスのエースパイ

ロットで、元宇宙暴走族のヘッドでもあつたのよ。」

口「暴走族？そんなものを制圧できなきや、賢者やつてられないでしようよ！」

ア「ましてやここは大乱闘の場。暴走族が可愛く見える程の連中など山ほどいる。」

ソ「ブラスター・やりフレクトシユートみたいな遠距離攻撃に気を付けてね。」

【マルス】

口 「アルシーヴちゃん、あの剣を持ったイケメンは誰だ？」

ア「マルスだな。アリティア王国の王家に生まれるも、祖国が滅び、逃げのびた後で王国の再起という逆転を果たした：『英雄王』だ。あの剣の先端には氣を付ける。思わぬ場面で吹き飛ばされるかもしないぞ。」

ソ「逆に、先端以外は強い攻撃力じゃないわ。落ち着いて剣のリーチを見極めましょう。」

口 「なんだ、意外と強くないのか？」

ソ「そうじやないわ。マルス本人は決して強くないけど、だからこそ彼を助ける仲間がいて、『英雄王』たる所以なのよ。」

口 「…不羨な事を聞いたな。戦闘を再開する。」

【ルキナ】

口 「マルスに似た剣術を使うあのお嬢さんは一体…？」

セ「あれはルキナです。マルスを名乗つていただけあって、似ているのでしょうか。」

口 「マルスを名乗る…？どういうことだ、セサミ。」

セ「ソラ様によると、マルスが英雄王になつていた時代に、窮地に陥つた自軍の士気を上げるために名乗つたそうです……」

口 「…救つてほしかったのは、自分自身かもしれないな。」

セ「変な気は起こさないように。ソラ様によると、大乱闘には彼女の父親も参戦しているそうですから。」

口 「なつ!? そいつは誰だ！ 教えてくれ！」

セ「私も知りません。ソラ様のことですから、わざと教えなかつただけかもしませんが。」

【こどもリンク】

口 「なんだか小さいリンクがいるな。」

ソ「通称こどもリンクね。『時のオカリナ』なんかに登場する、まだ幼い時のリンクよ。」

ア「勇者リンクは複数人いるんでしたよね。武装がリンクに似ているは何だか珍しい。」

ソ「大人のリンクと比べて戦法もちよつと違うわ。だから、対処法もかなり変わるはずよ。」

口「それもそうだな。：アルシーヴちゃんとハツカちゃん、カルダモンで魅力が全く違うのと同じだ。」

ア「：お前は何を言っているんだ？」

ソ「間違いなく違うと思うわよ、私は。」

【ガノンドロフ】

ア「ローリエ！ ガノンドロフと戦っているな？ 用心しろ！」

口「分かっている。同じ空間にいるだけで肌がピリピリしまくるなんて異常だからな。」

セ「ガノンドロフは世界を征服せんとする野望とそれに見合うだけの魔力を持つています。」

ア「生半可な戦い方などしようものなら、戦いにすらならなくなるだろうな。」

口「ああ、あのパワー、見てるだけでおぞましいな。叶う事なら一発も食らいたくないぞ。」

セ「そう思っている時ほど、重い一撃を受けてしまうのです。」

ア「魔人拳や大剣の大振りに最大限注意しつつ、一瞬も油断せずに堅実に戦うんだ！」

【ミュウツ】

セ「ローリエ、ミュウツーと戦っているのですか。」

口「ああ、そうだ。」

ア「ミュウツーは人間の改造によつて生まれたポケモンだそうだ。その為か、技のスペックが軒並み優秀だ。飛び道具をねんりきで反射されないように気を付ける。」

セ「しかし、ミュウツーを作り出した者達も愚かなものです。強さを求める過ぎた結果、自分達の手にすら負えなくしてしまったのですから。」

口「…まあ、人間そんなもんさ。今は戦いに集中させてもらう。」

【ロイ】

口「おい見る。あそこの男、剣に炎が纏わりついてる…！」

ソ「若き獅子、ロイのことね。アレでもまだ15歳だそうよ。」

ロ「中学生でアレだと…!?どんな人生を送ればああなるんだ?」

フ「おまけに貴族なのに謙虚で、頭の回転も行動力もあるそうですわ。どこかの八賢者にも、見習ってほしいですわね。」

ロ「フェンネル、大乱闘に出たいならそう言えよ。ド派手に吹っ飛ばしてやるから。」

ソ「こらこら、喧嘩しないの！：ロイは間合いを離せばやりやすいかもだけど、一気に距離を詰められたら大変よ。エクスプロージョンには警戒してね。」

【クロム】

ソ「ローリエ、クロムと戦っているのね？」

ロ「あの剣士のことか？」

ソ「封剣ファルシオンから繰り出される剣技は強力よ。何回も食らつていいものじゃないわね。」

ロ「…」

ソ「聞いてる？」

ロ「いや、聞いてる。聞いてるんだが……アーツの戦う姿を見ていると、何だろう…奇妙な親近感があるんだ。声が似てるからかな——」

」

ア「奴は復帰が読みやすい。そこを叩くんだローリエ！」

ロ「聞けよっつ!!」

【Mr. ゲーム&ウォッチ】

ロ「…いるのは知つてたが、平面が動くのを見るのはなかなかの驚きだ。」

ソ「Mr. ゲーム&ウォッチと戦っているのね。元々この名前は1980年に発売された『ゲーム&ウォッチ』に出てきた人たちの総称なのよ。」

ロ「年齢に換算すると完全にオジサンだな。」

ア「奴のジャッジには注意しろ。もし“9”のジャッジに当たつたら一発撃墜は免れられん。追い詰めたからといって、油断はしないことだ。」

口「わかつた。最後の最後まで、全力で相手をすることにしよう。」

【メタナイト】

口「対戦相手はメタナイトか。」

ア「『ブブブランド』の剣士であるメタナイトは、神速の剣技を得意とする。一度スキを突かれたら、3、4発以上の連續ダメージは覚悟しろ。」

ソ「しかもメタナイトは戦艦ハルバードを持つてゐるわ。空を飛ぶ軍艦よ。」

口「余談だが、素顔はカービィとそつくりらしい。アルシーヴちゃんがお望みなら、剥いできてやろうか？」

ソ「え、ほんとに!……いやでも、メタナイトに悪いわよ…」

ア「いや、それ以前に話を聞いていたのか？それでスキを見せたら本末転倒だというのに。」

【ピット】

口「あ：天使だ。スマブラで見た事ある天使がいる！」

ソ「あれはピット。パルテナ親衛隊隊長の彼はエンジエランドに住もう天使よ。」

ア「天使か……架空の存在だと思つていたが、実在していたとは……！」

口「あいつが持つてる弓だか剣だか分からん物も科学じや説明できそうにないヤツだな。手の内が読めない分、戦闘中の読み合いが大切になるか。」

ソ「飛翔の奇跡は攻撃技じやないから、スマッシュや空中攻撃が狙えるはずよ。余裕ができたら狙いたいわね。」

【ブラックピット】

口「真っ黒なピットがいるな。」

セ「ブラックピットですね。」

ソ「眞実の魔鏡という、人の邪心を映し出す鏡によつて生まれた、もうひとりのピットよ。」

セ「邪心……つまり、彼は凶悪な闇の心というわけですか。」

ソ「いいえ、そんな大層なモノではないわ。ブラピだし。」

セ 「ブラピ?」

口 「なんだその外国人みたいな略は?」

ソ「愛称みたいなものよ。ブラピはピットと比べて攻撃力に軍配があがるけど、ダメージ稼ぎはピット程ではないわ。違いに気を付けてね。」

【ゼロスースサムス】

口 「さ、サムスが脱いだぞ!!」

フ「パワードスーツを脱いで、より身軽になつたサムスですか。」

ソ「サムスは鳥人族の細胞を移植して、鳥人族の元で修行をしてたから、そのままでも十分強いのよ。宇宙最強は、装備程度じや揺るがないってことね。」

口「だが、防御力はパワードスーツがあつた時よりもないはずだ。何とかして攻めに転じたいな。」

フ「ところで、ローリエ?」

口「ん?」

フ「最初の発言に悪意を感じるのですが…?」

口「……俺は目の前の状況を的確に言い表しただけだ。」

【ワリオ】

口「うわ、あそこにワリオがいるな…」

フ「どうしたのです、露骨に嫌な顔をして。」

口「ワリオは、メイドインワリオなんかで知られる有名な実業家だが、その食生活は最悪だ。朝から晩までニンニクをしこたま食つていて、大乱闘ではその口で噛みついてくるらしい。」

フ「……想像したくありませんわね。」

口「しかも奴は、放屁で攻撃をしてくることもあるそうだ。」

フ「色んな意味で最悪ではありませんの。そんなファイター相手にどう戦うつもりなのです?」

口「腹が膨らみきる前にカタをつけたいところだが、果たして……」

【スネーク】

口「スネークだ!伝説の男がいるぞ!」

ア「スネーク:確かに、聖典の言葉でヘビを意味していたな。」

ソ「豊富な火器を持つている上に、戦車をハツチにグレネードを投げ込むだけで破壊する武器のエキスパートよ。銃火器勝負はこっちがキツいかもね。」

ロ「戦車をグレネードで!?な、なんて奴だ…！他の賢者達の武器のレプリカを作つて来といて良かつたぜ……」

ア「…二人で盛り上がつてゐるところ、申し訳ないが…戦車とかグレネードってなんだ？」

ロ「…………後で教えてくれるか？」

ソ「……わかつたわ。」

【アイク】

ロ「あの剣士、相当の強敵だな。」

ア「アイクと戦つてゐるな、ローリエ。グレイル傭兵团を束ねるあの男は、両手剣を軽々と振つてゐることから分かる通り、豪腕の持ち主だ。」

ソ「神剣ラグネル……あの剣は元々、英雄オルティナの片手剣だったみたいよ？」

ロ「いや、アレはどう見ても片手剣の重量じやないぞ!?そのオルティナとやらは、化け物か!？」

ソ「飛び上がりつてから斬りつける技『天空』は厄介よ。距離を取るか真上から攻め込みたいところね。」

【ポケモントレーナー】

ロ「あれがポケモンのトレーナーか。生まれて初めて見たぜ。」

シ「ポケモンバトルつてことだよね。かつこいーなー！」

ソ「あのポケモントレーナーはゼニガメ、フシギソウ、リザードンを持ちにしているわ。それぞみず・くさ・ほのおタイプのポケモンね。」

ロ「…つてことは、ゼニガメが鬼門だな。」

ソ「あら、どうして？」

ロ「他の二体の苦手な炎と水は俺の武器にはあるが…ゼニガメの苦手なでんき・くさタイプの攻撃がない。これは苦戦しそうだな。」

シ「ねーねーソラ様、大乱闘にタイプとか関係あるの?」

ソ「うん、聞いたことはないわね。ローリエ、タイプ相性とかあんまり気にせずに暴れてみなさい?」

【ディディーコング】

ロ「セサミ、ニンテンドーの帽子を被つたチンパンジーがいるぞ。」
セ「ディディーコングですね。彼はドンキーコングの仲間です。チンパンジーらしく身軽なだけでなく、結構多彩な武器を使います。背中のバレルジエットで空を飛び、バナナの皮を投げ、木製の銃で落花生を放ちます。」

ロ「落花生? 食べ物じやねえか。大乱闘を何だと思つてやがる。」
セ「悔つてはなりません。その落花生ですが…当たると痛いです。」

ロ「お…おう…そうだな?」

セ「しかもバナナの皮は、踏むと転びます。スマッシュを入れられるスキになりますのでご注意を。」

ロ「そ…そうだね。俺も、眞面目に戦うとするよ。」

【リュカ】

ロ「戦場に子供がいるが…あれも特殊能力持ちなのか?」
ソ「そうよ。彼はリュカ。ネス君と同じで超能力P.S.I^サを使う事ができるわ。」

ロ「表情を変えずに超能力を使つてくるさまは、少し怖いな。」
ソ「そう言わないであげて。彼も彼なりに、理不尽な目に遭つているのよ。お母さんを殺されたり、大人たちから異端扱いされたり…」

ロ「それと大乱闘とは別だ。それに…身に降りかかった不幸をどうやって乗り越えるか…そこが大切なんじやないのか?」
ソ「それもそうね。あの子には折れないで欲しいわ。」

【ソニック】

ロ「ソニックが丸まつて走り回つているな。」
ア「奴のスピンドルアタックは、どうやら大乱闘の場でも活躍するようだな。」

セ「あのスピードは脅威です。カルダモンでもない限り、封殺はできないかもせんね。」

口 「確かに。アレに追いかけてのはかなりの無茶だぜ。」

ア 「だが、落ち着いて対処すれば問題はないはずだ。ローリエ、お前のルーンドローンや拳銃、アイリスのビームで奴を狙い撃つのはどうだろうか?」

口 「おお、良いな!早速やってみるか……!」

【デデデ】

口 「あつ、デデデがいるZOY!」

ア 「……なんだその口調は。」

口 「いや、デデデといつたらこの喋り方でしょ?」

ア 「確認できる限り、あのデデデは喋らないようだ。デデデ大王は、 PPPランドの王を名乗っていて、大きなハンマーを軽々と振り回す。鈍重な動きをよく見て、攻撃は確実にかわすことだ。」

口 「……」

ア 「なんだローリエ。デデデが喋らなかつたのがそんなに意外か

口 「……まあ、それなりに。」

【ピクミン&オリマー】

口 「セサミ、ピクミンを引き連れた宇宙飛行士がいるが……?」

セ 「あれはキヤプテン・オリマーです。ホコタテ星という惑星の住人で、ピクミンや原生生物を観察するのが趣味だそうです。」

口 「……で、趣味が高じて一緒に参戦か。好きなモンの知識が牙を剥かないことを祈りたいが……無駄かな?」

セ 「そうですね。ピクミンは色ごとに特徴があります。赤ピクミンは火に強い、青ピクミンは溺れない、黄ピクミンは高く飛ぶ……」

口 「紫ピクミン力持ち、白ピクミンには毒がある、と。ピクミンの色が攻略のカギになりそうだな!」

【ルカリオ】

シ 「おにーちゃん、あのポケモンかつこいーねー!」

口 「はどうポケモンのルカリオか。」

シ 「はどう……つてなーに?」

口 「あらゆる命のオーラだ。ルカリオはそれを自在に操ることがで

きる。ダメージを受けた状態で波導を強化して、ピンチから一転、敵を吹き飛ばすなんて芸当も可能だ。」

シ「わああ……！かつこいーねー!!ゲットしてみたいなー！」

ロ「言つておくが、ルカリオは人の気持ちを読むことができる。その為、正しい心を持つてるトレーナー以外に懐くことはない。高潔な精神を持った波導の勇者、それがルカリオだ。」

シ「おにーちゃん、頑張つてね！」

【ロボット】

ロ「フェンネル、あのロボットはなんだ？」

フ「あれはロボットです、ローリエ。」

ロ「え？……いや、そのロボットが何かを聞いてるんだが…」

フ「ソラ様によると、ロボットという名前だそうです。日本以外ではR.O.Bとも呼ばれておりますわ。」

ロ「そらなんだ…」

フ「ロブが投げてくるコマは、こちらが拾うことも出来ますわ。投げ返して、逆に追い詰めてしまうと良いでしょう。」

【トゥーンリンク】

ロ「あれはリンクか…？やけに小さいが。」

ソ「いわゆるトゥーンリンクね。リンクに比べてコミカルな顔が特徴よ。」

ロ「こういうかわいめなタイプも、モテる男の要素なのかな？」

ソ「言つておきますけど、トゥーンなローリエはあまり人気は出ないと思いますよ？」

ロ「な…なぜだ!?」

ソ「オリジナルが残念だからに決まってるじゃない。勇者の秘訣は見た目じゃないのよ？」

ロ「辛辣すぎる…」

【ウルフ】

ロ「フェンネル、あの狼は誰だ？」

フ「ウルフですね。」

ロ「え？…あ、ウルフって名前なのか？」

ア「そうだ。ウルフ・オドネル。スターフォックスのライバルチーム『スター・ウルフ』のリーダーで、一匹狼を体現したかのような性格だ。」

ロ「まあ、狼だしね。」

ア「奴は鋭い爪やキバなどを使つたオオカミらしいワイルドな戦い方をする。引き裂かれると厄介だから気を付けて戦うんだ。」

【むらびと】

ロ「おい、どうぶつの森のむらびとがいるぞ!？」

ソ「あら、本当だわ。」

セ「しかし、『むらびと』とは、随分と大雑把な名前のような…」

ソ「まあ、ああいう人たちの総称ですからね。」

ロ「木を植えたり、家を建てたり、日常の光景で攻撃するとは斬新な。」

ソ「ルーンドローンをしまわれると、あつという間に追尾攻撃が無効化されちゃうわ。使い時には気を付けてね。」

【ロックマン】

ロ「あれがロックマンか。」

ア「平和を守るため、戦闘用への改造を志願したお手伝いロボ、か。アイツの世界はどうなつているのだろうな。」

ロ「少なくとも、ロボットやA.I.が自立思考できる時代なんだろう。」

ア「大乱闘ではリーフシールドやフレイムソードなどを使う。飛び道具も侮れない強敵だ。」

【W.i.i F.i.t トレーナー】

ロ「スポーティな格好をした、真っ白い人間がいる。」

ソ「W.i.i F.i.t トレーナーね。彼らはヨガや筋トレの動きで戦つてくる非常に珍しいタイプのファイターよ。」

ア「その筋トレ等のふいとねすやポーズの攻撃は、動かした手足全てに判定がある。奴の動きを良く見て余計なダメージを防ぎたい所だな。」

ロ「へえ。ヨガに筋トレ、フィットネスね。興味あるな。体操のお

姉さんに是非色々教わりたい所だ。」

ソ「……ローリエ？」

ア「……やましい事は控えろ、この馬鹿者が。」

【ロゼッタ&チコ】

ロ「小さな星がお姫様に付き従つてゐるな。」

ア「ロゼッタ姫とチコだな。『スーパーマリオギャラクシー』シリーズに登場する、ミステリアスな女性だ。」

ソ「ロゼッタに付き従つてゐるチコは、撃墜すること自体はできるけど、すぐに復活するみたいなの。」

ア「ただ、ロゼッタの主な攻撃はチコと繰り出すようだから、全く無意味だとは言わんがな。」

ロ「そうか。しかし、ロゼッタは何者なんだ？」

ソ「それが良くわかつていないので。未来のマリオとピーチの娘なんて噂もあるくらいだから。」

【リトル・マック】

ロ「アルシーヴちゃん、あのボクサーは誰だ？」

ア「奴の名はリトル・マック。ドック・ルイスとの出合いによりボクサーの道を歩んだアメリカ出身の若者だ。その名の通り、アメリカ人にしては小柄な体格でありながら、巨漢な相手を幾度となく撃破した若き新星でもある。」

ロ「ボクサーだけあつて、地に足をつけた接近戦は強そうだな……」

ア「無類の強さといつてもいい。K.O.ゲージが満タンになつた際に放つアッパー・カットは、どんな重量級でも場外へ殴り飛ばすだろう。空中戦だ！ 空中戦をしかけてアドバンテージをもぎ取るのだ！」

【ゲッコウガ】

ロ「なんか忍者みたいな力エルがいるぞ、ソラちゃん。」

ソ「あれはゲッコウガ。しのびポケモンよ。」

ロ「忍び？ マジで忍者だつたのか。」

ソ「みずしゆりけん、かげうち、みがわりといった忍者らしい技で翻弄する事が得意なポケモンよ。」

ロ「多彩な技ならこつちも負けていない。逆に翻弄し返してやるぜ

翻弄する事が得意なポケモンよ。」

ロ「多彩な技ならこつちも負けていない。逆に翻弄し返してやるぜ

！」

ソ「落ち着いて戦うといいわよ。ガードや回避を上手く使うと更に良いわね。」

【M·i·iファイター（射撃／格闘／剣術）】

ロ「おいおい、なんか一般人が大乱闘に紛れ込んでないか？」

ソ「一般人じやないわ。あれはM·i·iファイターといつて、M·i·iというアバターをファイターにビルドアップした、立派な戦士なんだから。」

ロ「つまり一般人じやねえか…」

ア「侮るな、ローリエ。M·i·iファイターは格闘家、剣士、射撃手の3つのタイプが存在する上、技のタイプもそれぞれ何種類があるようだ。つまり、手の内を読みにくくこちらの手を読まれやすい。」

ロ「成る程…意外と手強い伏兵だつたか。」

ソ「細心の注意を払つて戦つて。情報は、戦つて集めるしかないわ！」

【パルテナ】

ロ「あつ…なんて美しい女神様だ…！」

ソ「ローリエ？ 私というものがありながら、女神パルテナに浮気がしら？」

ロ「浮気とは人聞きの悪い…ソラちゃんも可愛いよ？」

ア「調子の良い奴め…パルテナは、オート照準や爆炎など、見事に遠距離性能に優れた戦い方だ。接近戦に持ち込めば有利に戦えるかもしけん。」

ロ「あの人に近づくと!? 任せてくれ！」

ソ「…アルシーヴ？」

ア「しまつた…アドバイスしたのは間違いだつたか…」

【パックマン】

ロ「おい、あそこにいるのはパックマンか!？」

ソ「そうよ。1980年生まれのレトロゲームからやつてきたヒーロー。最初の頃は口の部分が欠けただけの黄色い丸だつたけど、時代と共に目やグローブ、ブーツなんかが描かれるようになつたわ。」

ア「黄色い丸：聖典の隅に書かれてたのを見たことがある。確か『黄色い伝説』と。」

口「マジか……伝説揃いだな、ここは！」

ソ「彼の投げてくるフルーツ、特にメロンに気を付けてね。」

【ルフレ】

口「何だか本やら剣やらを持つて魔法をぶつ放してくる奴がいるな。」

ソ「あれはルフレね。海外ではロビンと呼ばれてるわ。」

口「ロビン？そりやどうして？」

ソ「男の世界線と、女の世界線とで観測されるのよ、あの人。」

口「つまり…男でも女でもあると？」

ソ「うーん。ちょっと違うけど、まあいいわ。軍師と呼ばれるだけあって、限りある武器を計画的に使つてくるわ。フットワークが弱点よ、頑張って。」

【シユルク】

ア「ローリエ、シユルクと戦っているな？」

口「シユルク？」

ア「奇妙な剣を持つた熱い青年のことだ。モナドアーツによつて戦い方を自在に変化させて戦いを挑んでくる。」

ソ「翔、疾、斬、撃、盾の5種類の攻撃法を織り交ぜてくるわ。特に撃は吹つ飛ばしに優れているからスマツシユを受けないように注意して。」

ア「撃状態のシユルクは自身もふつとびやすくなつてている。隙を見つけて逆に吹つ飛ばし返してやるんだ。」

口「ピンチはチャンスってことが…了解した。」

【クッパ Jr.】

口「小さなクッパみたいなのが機械に乗つて戦つているが。」

ア「クッパ Jr. とコクッパ達か。乗つて機械はクッパ Jr. クラウンだな。」

口「大砲を放ち、メカクッパ攻撃を行い、果ては自爆して乗り捨てている。羽振りが良いコトだが、捨てるくらいなら譲つてほしいモン

だ。」

ア「機械に攻撃をしてもダメージが通らない。ここは本体を狙うのがセオリーだろうな。」

【ダックハント】

ロ「犬と鴨が一組になつて戦つているな。」

ソ「あれはダックハントね。厳密に言うと、彼らは犬と鴨、そして謎のガンマンの三人一組のファイターよ。」

ロ「ガンマンの姿が見えないが……？」

ア「位置の特定を行つているが……難航中だ。狙撃されないように気を付けて欲しい。」

ソ「といつても、昔と比べて腕が落ちたつて噂もあるようだけどね。」

ロ「見えないヤツに怯えてても仕方ない。まずは見える二匹を吹っ飛ばしてやるとしよう。」

【リュウ】

ロ「おい見ろあそこ！リュウだ！リュウがいる！」

セ「知つてているのですか、ローリエ？」

ロ「ああ。『ストリートファイター』の顔と言つても過言じゃない。真の格闘家を目指して世界を放浪する、実直な格闘家だ。」

セ「アルシーヴ様とソラ様によると、彼の必殺技は……」

ロ「昇龍拳だろ？ 波動拳や竜巻旋風脚みたいな他にも注意する技はあるが、一番はそれだな。」

セ「分かつてているなら宜しいですね。健闘を祈ります。」

ロ「真正面からの攻略は骨が折れそうだ。搦め手に頼るのも手だな。」

【ケン】

ア「ローリエ、ケンと戦つているな？」

ロ「ああ。ケン・マスターズ、マスターズ財団の社長だぜ！」

ア「社長だと……!? 経営者と格闘家は両立できそうには見えないが……」

ソ「そこら辺は本人も考えてあるそよう。弟子を取つたり、通信教

育で格闘術を広めたりしているわ。でも…本人の戦闘力も決して落ちているわけじゃないわよ。」

ア「リュウと比べて、昇龍拳や竜巻旋風脚で攻めてくるデータがある。対処の違いに気を配るんだ。」

【クラウド】

口「みんな見てくれ、あそこ!! クラウドだ!!」

ソ「口一理工、クラウドについてどれだけ知ってるの?」

口「あのバスター・ソードを器用に使つて戦うことくらいか。過去とかは良く知らん。」

ソ「まあ…彼も複雑な事情があるからね。深く語らないけど、一言でいうならば『自分の弱さと向き合える不器用な人』よ。」

ア「リミットゲージが満タンになつたら、あらゆる必殺技の威力が上がる。一発受けただけでかなり吹っ飛ばされてしまうだろう。時間経過で解除されるから、逃げまくるのも手かもしれない。」

【カムイ】

口「あの人は一体何者だ? シカに変身するなんて…!」

ソ「鹿じやないわ、竜よ。白夜王国の王族だつたカムイは、竜石の力でその姿に変身することができるの。暗夜王国で育つたカムイはある時に自分の出身を知つて、運命の選択を迫られます。」

ア「大乱闘では真祖竜の力をふんだんに使う……竜穿を始めとした技は攻撃力が軒並み高い。竜の力にだけは当たらないようになければな。」

口「了解だ。」

【ベヨネット】

口「うおおおおおお！ なんだあの超絶プロポーションの美女は!?」

ア「ここでくらい、その節操のなさを改めろ！ ……あいつはベヨネット。エンジエル・ハンターなる存在だ。」

ソ「ああ見えて、百戦錬磨の危険な魔女よ。ナンパ気分で戦つたら、痛い目見るんだから。両手両足の銃を駆使した体術『バレットアーツ』に注意して。連続攻撃を受けたら、すぐにズラすのも重要よ。」

口「銃だつて？ なるほど、拳銃使いか。ますますスリルを感じるぜ。」

隙は見せないようにするべきか…」

ア「…おい、ホントに分かつてんんだろうな?」

【インクリング】

ロ「ソラちゃん。あのイカ…スプラトゥーンの子の名前つて何だつ
け?」

ソ「インクリングのこと? 確かにイカの姿にもなれるし、イカつて
通称もあるけど…」

ア「奴らはナワバリ意識が強いのか、敵を含めたあらゆるもの自身のインクに染めようと/or>する習性があるようだ。」

ソ「ただ染め上げられるだけじゃないわ。インク塗れにされると、
インクリングの攻撃が通りやすくなっちゃうわよ。気を付けて。」

ア「奴らのインクも無限ではない。インク切れを狙つて思いきり反
撃をお見舞いしてやれ!」

【リドリー】

ロ「なんだかプレラノドンみたいな奴がいるぞ。」

ア「リドリーだ。サムスの宿敵だな。」

ソ「スペースパイレーツの最高司令官で、残忍なだけじゃなく、狡
猾で高い統率力もあるわ。『狡猾の死神』と恐れられていて、数多くの
文明を滅ぼしたこともあるそうよ。」

ア「宇宙最強の宿敵もまた、宇宙最凶か…ローリエ、奴の地面を引
きずる技には気を付けろ。捕まつたら最後、一気に場外まで運ばれる
かもしれないぞ!」

ロ「了解。八賢者ローリエ、全力をもつてあの恐竜を排除する。」

【シモン】

ロ「いかつい戦士が、斧やらクロスブームランやらを投げてくる
ぞ。」

ソ「シモン・ベルモンドね。ヴァンパイアハンターよ。でも、斧や
ブームランよりも注目すべきはあのムチかしら。」

ロ「ムチか。確かに使つてきているが…」

ア「あのムチからは、シモンが触れた時のみ魔力を感知することが
できた。血縁関係の力で呼応するムチであり、ヴァンパイア殲滅特化

の能力を持つと推測するが。」

口 「あいにく、俺はヴァンパイアじゃないんでね。心配は無用だ！」

ソ 「長いリーチの攻撃や投げてくる武器は、どれもシンプルかつ強力よ。」

【リヒター】

口 「あのイケメンの武器、どつかで見たことあるような…」

ア 「奴はリヒター・ベルモンドだ。」

口 「ベルモンド……つてことは！」

ア 「ああ。シモン・ベルモンドの末裔でもある。ベルモンド家は先祖代々ヴァンパイアハンターの家系であるようだ。奴の持つ魔力をを持つ鎖ムチも、先祖から受け継がれたものだろう。」

口 「ほう……で、どんな奴なんだ？」

ソ 「リヒターは正義感が強くて、曲がったことが嫌いな熱血漢よ。アネットっていう恋人やマリアって義妹もいるみたい。」

口 「リア充か……よし、ぶちのめそう。」

ア 「男の嫉妬は見苦しいぞ？」

口 「嫉妬じゃない。ただ、ベルモンド家の末裔のお手並みを拝見したいだけだ。：超厳しめにな。」

【キングクルール】

口 「アルシーヴちゃん、あのメタボリックなワニは誰だ？」

ア 「キングクルールというそうだ。かのドンキーコングのライバルを名乗っている。大きな腹に付けられた鎧が特徴で、例え殴られても気にせずに殴り返して強引にパワーで押しきる戦法を得意とする。」

口 「タフさがご自慢つてことか：厄介だな。」

ア 「だが、鎧が碎ければ大きなスキが生まれる。豪快かつ迫力満点の動きに圧されない事が肝要だ。鎧を無視して掴んで投げるのも有効だぞ。」

口 「ありがとうございますアルシーヴちゃん。意識してやつてみよう。」

【しづえ】

口 「あの戦いに似つかわしくない犬はなんだ？」

ソ「しづえさんね。シーブー犬だから、しづえ。とある村で、村長の秘書として働いているわ。」

ロ「その村長つて、まさかむらびと……？」

セ「大乱闘に参戦した村長に続いて、秘書も参戦ですか……アルシーヴ様が参戦した時は、私も参戦した方が宜しいのでしょうか？」

ロ「おいやめろ。俺が戦いづらくなるだろ。」

ソ「戦い方はむらびとさんに似ているけど、だいぶ違う点もあるみたい。しづえさん特有の戦い方で吹つ飛ばされないように注意して。」

【ガオガエン】

ロ「あれは猫？いや、ポケモン、なのか？」

ア「あいつはガオガエン。ヒールポケモンだ。」

ロ「ヒール？」

ソ「悪役とか、そういう意味ね。リングのロープへ投げてからのラリアットみたいな、プロレスの技を多用するわ。」

ア「技を当てるとき觀客にアピールするクセがあるようだ。サービス精神旺盛で結構だが、つけいるスキになりうるな。」

ソ「ローリエは、必要以上にアピールとかしなくていいからね？」

ロ「えつ？そりや分かったが……何故？」

ア「そんな事しなくとも、お前には私達がついていいからだ。」

ロ「…へへ、美女二人に応援されたら頑張らねーワケにはいかねえな！」

【パックンフラワー】

ロ「パックンフラワーだ：パックンフラワーが戦っているぞ！」

ア「マリオの世界にいる、肉食植物だな。」

ソ「今回は、愛用の土管に似せた鉢植えとともに参戦ね。」

ロ「もうマリオのファイアーボールで焼き払われるだけの存在じゃないと…出世したな…」

ア「噛みつくだけじゃなく、鉄球や毒霧まで吐き出してくるという。復帰直後の崖で出されたら厄介だな。」

ソ「待ち受けての不意打ちは得意だけど、自分から仕掛けるのは苦

手みたい。あつちから仕掛ける試合運びを強要したいところね。」

【ジョーカー】

ロ「ソラちゃん、ジョーカーが現れたぞ。」

？「ふふふ…成功だ。」

ロ「？ ソラちゃん？」

双「やあ～八賢者くん。発明家を名乗るには情報管理が甘いんじやないのか～？」

ロ「!? お、お前は…怪盗団のナビ本名・佐倉双葉。ペルソナ5主人公がリーダーを務める怪盗団の文字通りナビゲーターで、UFOのようなペルソナ『ネクロノミコン』を使役する。CV悠○碧。！電波を傍受されたのか…！」

双「知ってるんなら話は早いな。この乱闘、我々が貰うぞ！」

ロ「そうはいかない。こっちにも事情があるんでね。何より、ペルソナの力はなんとなく理解している。弱点は突かせてもらう。」

双「できるといいな、八賢者くん。リーダーのスピードをなめるなよ？ それじや、サラダバー！」

【勇者】

ロ「見てくれ！ 勇者だ!! 勇者がいるぞ!!!」

ア「落ち着け、ローリエ。ソラ様、勇者とは一体…？」

ソ「勇者と一口に言つても、色んな勇者がいるの。まとめて言うならば勇者とは…魔王を倒す宿命にある、勇ましき人、かしらね。」

ア「多彩な呪文や特技を覚えていて、状況に応じて使い分ける強さを持つというデータもある。お前もエトワリアに生まれたなら魔法くらい知つているだろう？」

ロ「もちろんだ。中には一発で戦況がひっくり返る呪文もある。少なくとも、イオナズンとザラキにだけは当たりたくないな。」

ソ「魔法にはMPを使うわ。何が飛んでくるかをMPと照らし合わせてみてね。」

ア「奴が顎に手を当てたら全力で距離を取るかガードをしろ。いいな？」

【バンジョー＆カズーイ】

口 「セサミ、あの鳥を背負った熊は誰だ？」

セ 「熊がバンジョーで、鳥の方がカズーライと言うそうです。彼らは妹を助けるために魔女グランチルダと戦い、これに勝利した経験を持ちます。」

口 「魔女に勝つた熊と鳥か……魔道具についての記述とかあつたか？」

セ 「いえ、そのようなデータは何も。」

口 「そうか。魔道具に勝つた経験持ちとか、やりにくいつたらいいからな。」

【テリー】

口 「如何にもアメリカンな男がいるな、アルシーヴちゃん。」

ア 「テリー・ボガードだな。」

ソ 「テリーは父親の敵討ちのためにキング・オブ・ファイターズという格闘大会に出場したわ。必殺技はパワーゲイザーとバスター・ウルフ。どつちも驚異的よ。」

口 「必殺技を持っているのか…」

ア 「必殺技は、ダメージが重なり体が温まつてきたら使つてくる。奴にそれらを使わせない為には、速攻で勝負を決める必要がありそうだ。」

【ベレト／ベレス】

口 「コイツの槍や蛇腹剣、中々に面倒だな…！」

ア 「ベレトと戦っているのか。…いや、ベレスか？」

ソ 「男の人がベレトで、女の人がベレスよ。魔剣・天帝の剣や魔槍アラドヴァル、魔弓フェイルノートに魔斧アイムールと色々な武器を使い分けてくるわ。」

口 「武器は状況に沿つた形をするものだ。沢山持つてれば良い訳じやないだろう？」

ア 「…ローリエ。差し出がましいようだが。それは、お前が言えたことか？」

口 「…………。」

【ミエンミエン】

口 「ソラちゃん、あの腕がバネみたいな中華娘はどなただ?」

ソ「あの子はミエンミエン。中華料理店『麺天飯食堂』の看板娘よ。」

ア「両腕がバネみたいになつてているのは、彼女特有のA R M S 能力だそうで、腕についている武器を自在にチエンジすることも可能なんだそうだ。」

ソ「ドラゴンアームから吐き出されるレーザーと、黄色いボールみたいなパーティのメガボルトに注意して。間合いを詰めれば、彼女に苦戦を強いることができるはずよ。」

【ステイーブ／アレックス】

口 「妙に何から何まで角ばっている奴がいるぞ……！」

ソ「あ、アレは見たことがあるわ：確かに『マインクラフト』の住人……！」

口 「マインクラフト……こいつがあそこの住人つてわけか！」

ア「知つているのか？」

口 「まあな。クリーパーつて動く爆弾がここにいながら救いか。ソ「でも、彼らが持つサバイバル技術は本物よ。どんな悪さをされるか分からぬから、気を付けて。特にT N T 火薬はダメージも吹っ飛ばしもすさまじいわ。」

口 「火気厳禁かよ……わかつた、気を付けてみる。」

【セフイロス】

口 「みんな、緊急事態だ。セフイロスが現れた！」

ソ「なんですって!?」

セ「セフイロス：あの途轍もなく長い刀を持つた男ですか？」

口「超絶リーチを使つた斬撃や獄門みたいな突きを放つてくる。しかも、ギガフレアみたいな超爆破も放つてくるようだ。」

セ「しかし、あんなに長い刀を振り切つた後には十分な隙ができるはずです。長身の割には軽いという噂も聞きました。」

ソ「そう、ね。でも気を付けて、ローリエ。相手はジエノバ細胞を埋め込んだ人間よ。生身の人間が渡り合うには実力と勇気が必要だわ。」

【ホムラ・ヒカリ】

口 「おい見ろ、2種類のエロいお姉さんが華麗に戦ってるぞ！」

ソ 「…」

ア 「…」

口 「おい、あのお姉さんを見ろと言ったんだ。俺をゴミを見る目で見るな。」

ア 「自重をしろと常日頃言つているだろうが。」

ソ 「赤い子がホムラで、金髪の子がヒカリよ。彼女はブレイドと呼ばれる存在で、天の聖杯とも言われていてるわ。ちなみに、ホムラが第二人格ね。」

口 「なんてこつた…一粒で二度おいしいだと!?」

ソ 「…ほんとサイテー。」

ア 「お前はまつたく…フォトンエッジやプロミネンスリボルト、フリアスマッシュで炎をすえられて来い。」

【カズヤ】

口 「おい、あのいかついムキムキのおっさんは誰だ？」

ソ 「三島一八ね。格闘家としては強力で、信じられないほど苛烈な人生を歩んだ男よ。」

ア 「実の父を憎んで殺し合い、実の息子を道具扱いする程だ。並々ならぬ事情があつたのだろう。」

口 「えつ、アイツらの親子関係どうなつてんだ!?」

ア 「死にたくなかつたら、深入りしないことだ。」

ソ 「ダメージが重なつてレイジ状態になつたら強力なレイジドライブを使つてくるわ。掴まれないように気をつけてね！」

口 「お…おう…（駄目だ…親子関係がどうしても気になる…）」

!!)

【ソラ】

口 「ちょ、ちょ…待て!!アレはいいのか!?大乱闘に来ていい存在なのか!?」

ア 「何だローリエ。あの鍵の剣をもつた少年がどうしたというんだ？」

?」

口 「ソラだよ！キングダムハーツのソラだ！」

ア「ソラ様……？」いや、同名か。それで？」

口「いやだつて、あいつ確かミツ……」

ソ「ローリエ。戦いに集中して。その少年は空中戦が得意で、復帰を潰すことに長けているわ。とんでもない距離から復帰阻止しに来るわよ。」

ア「だが……見た限り、本人もふわふわしていて軽そうだ。ローリエ、長所は短所になりえる。強くふつ飛ばせば、案外撃墜できるかもしないぞ。」

【ローリエ】

口「二人とも、聞いてくれ！俺だ！俺がいるぞ！」

ソ「う、嘘!? 一体これはどういうことなの!?」

ア「ソルトの変身魔法の類……なのか？」

口「いいや違う。背格好から装備、あらゆる動き方まで瓜二つだ。そつくり過ぎて気味が悪い。」

ソ「違いかはないの？」

口「そうだな：服の色が若干違うな。それと、戦法も少し違うようだ。」

ア「戦法……そうか、同じ戦力でも戦法によつて差は何倍にもなる。ローリエ、お前が誰よりも本物を知つてゐるはずだ。全力を尽くして戦いに望め！」

口「了解だ！」

【クロウ】

口「ソラちゃん、あの鳥を模した杖を持つ男は誰だ？」

ソ「あの子は神原クロウ。クリエメイトよ。」

口「えつ!? あいつがクリエメイト!? 見たことないぞ、どこの住人だ？」

ソ「たま市のせいいき桜ヶ丘に住んでいる、暗黒神ラープソーンの子孫みたい。」

口「ドラクエとまちカドまぞくの混合……!? どうなつてゐるんだ……？」

ア「大乱闘では、勇者の様に多彩な呪文で攻めてくるようだ。M P

の残量には気を付ける。」

ソ「彼の優しい性格からか、ザキ系やマダンテ、メガンテがない代わりに冰呪文ややいばくだき、祝福の杖なんかがあるわ。クロウが腰に手を当てたら要注意よ。」

【シャミ子】

口「シャミ子!? な…なんでシャミ子が大乱闘に出てるんだ!?!」

ア「なんでも、千代田桃と本人の希望のことだったが…」

口「大丈夫か? 簡単に吹っ飛ばされて『これで勝ったと思うなよ!』ってならないか?」

ソ「シャミ子ちゃんだから大丈夫なんじやないの? 亂闘では持つてる杖を色んな形に変えて魔法を放つてくるわ。」

ア「シャミ子の使いたい杖を常に先読みして、状況に応じた動きをするんだ。間違つても振りの大きい『ずるい杖』に当たるというマヌケだけは晒すなよ?」

口「わかってるって。」

【ベロニカ】

口「なかなか面倒な魔法を使う少女がいるな…」

ソ「ベロニカと戦っているのね、ローリエ?」

口「ああ。聖地ラムダの天才魔法使いだけあって、撃つてくる炎やら爆発やらが怖くて近づけないぜ。」

ソ「魔力をかくせいさせてメラゾーマやイオナズンをパワーアップさせてくるのね。一発くらつたらすぐに逆転されるわよ。ただ体が小さいから、魔法以外の攻撃のリーチや軽さがネックだと思われるわ。」

口「あの凶悪な魔法に臆さず突っ込んで欲しいってか。なかなか勇気がいるが…」

ソ「近づければそれだけで有利なはずよ! 一発逆転に注意して、頑張つてね!!」

口「了解した。」

【博麗靈夢】

口「あれは…靈夢!? 幻想郷にいるはずなのに、どうして…?」

ア「彼女を知っているのか？」

口「ああ。『空を飛ぶ程度の能力』を持ち、あらゆる弾幕戦を制した妖怪退治のエキスパートだ。」
ソ「そんな強い子が観測されないなんて、なにか事情があるみたいだけど……」

口「大乱闘では、厄介な飛び道具と独特的な空中戦をしかけてくると思われる。彼女自身は軽いと思うから、その弱点を突いてみるよ。」
ア「そういうことなら、お前に任せてみよう。だが、何かあつたらすぐに連絡してくれ。」

ソ「彼女の動きをよく見て、掴まれないように気を付けて！」

【きらら】

口「お、おい…大乱闘にきららちゃんがいるぞ！」

ソ「私達の世界の召喚士、満を持って参戦ね！」

口「しかし、こつちは大変だぞ。爆弾くらいまくつたり、インクまみれにされたり、すんごいコンボぶち込まれたり……」

ア「それは…難儀な予感だな。」

口「まあ、それを分かつていて参戦というなら、俺も手加減しないけどな。」

ソ「こつちでも、あの子は『コール』を使って、クリエメイトを呼び出して戦うのね！きらららしいわ！」

ア「両者とも、悔いのないよう全力で戦うように！いいな！」

口「ああ、分かった。」

【アリーナ】

口「あ…あれは、アリーナ姫!?」

ソ「ええ。サントハイム王国のお姫様ね。でも彼女はただ守られるだけのお姫様じゃないわ。城の壁を壊して、自ら旅に出るほどのお転婆姫よ。」

ア「何んまいからして、相当な武術の持ち主のようだ。身のこなしも素早いし、手強いな。」

口「そうだな。会心の一撃を受けたら、一気に盤面がひっくり返される。落ち着いて攻撃を見切つたら、とつと崖外に追い出しちまう

か
！
——

スマブラS.P風・きららと仲間の通信記録 in エトワ リア大神殿

【通信記録について】

ステージ「エトワリア大神殿（戦場化・終点化は除く）」にて、下アピールボタンをちょこつつつと押すと発動。会話中も戦う事ができるが、会話中にきららが撃墜されると会話がキャンセルされる。1バトルに1回のみで、3人以上で複数のキャラと戦っていると、その中からランダムで1人が選出される。

【ファイターの知識について】

きらら ……ほとんど知らない。

ランプ ……勉強したからか、プロフィール程度は頭に叩き込んだようだ。

マツチ ……ランプとソラの中間くらい。

ソラ ……世界を観測する女神だからか、かなり博識。

ローリエ……かなり偏っている。知ってる人については筋金入りだが知らない人は全く知らない。

【マリオ】

ラ 「きららさん、マリオと戦っているんですね！」

き 「マリオ……あの赤い帽子とヒゲがトレードマークのおじさんのこと？」

マ 「1981年に生まれてから今まで、ありとあらゆる場所を冒険してきた、世界一有名な主人公だよ。」

き 「なんだ。世界って広いね……」

ラ 「はい。こんな機会、そうそうありません。胸を借りるつもりで、全力でぶつかっていきましょう！」

き 「うん、わかったよ！」

【ドンキーコング】

き「ランプ、ネクタイをつけた大きなゴリラがいるよ。」

ラ「ドンキーコングですね。見たままのパワーはもちろん、ジャングルに家を立てたり、カートレースに参加したりと知能も高いみたいですよ」

き「すごい強敵だね……弱点とかは分かるかな?」

マ「上方向への復帰がものすごく弱いみたいなんだ。復帰阻止を

狙つてみるのが有効かもしないね。」

き「分かった! ありがとう、マッチ。」

【リンク】

き「マッチ、あの剣を持つた男の人は誰?」

マ「リンクだね。息吹の勇者だ。」

き「息吹の勇者?」

マ「リンクにもいろいろいるみたいだけど、あのリンクは厄災を沈めた後、100年も眠った上に、記憶喪失になってしまったそうだよ」

き「そんなことが…記憶は取り戻せたんでしょうか?」

マ「仲間のお陰で、取り戻せたみたいだ。」

き「良かつたです…!」

ラ「大乱闘では、弓やブーメラン、爆弾といった、様々な飛び道具も併用するみたいです。それぞれの特徴をとらえて、しつかり対処していきたいですね。」

【サムス】

き「あのメカメカしい鎧を着た人は一体…!」

ロ「きららちゃん、サムスと戦っているのか?」

き「ローリエさん、あの人を知ってるんですか?」

ロ「宇宙戦士サムス・アラン。銀河を股にかける凄腕の賞金稼ぎだ。チャージショットやミサイルなど、様々な飛び道具で攻撃していくぞ。」

き「飛び道具…ってことは、近づいて接近戦をしかければ勝てそうですか?」

ロ「それで何とかなる程サムスは甘くない。何せ、幼いころから戦闘訓練を積んだプロだ。細心の注意を払えよ。」

き「はい！」

【ダークサムス】

き「あれは、真っ黒な姿のサムス…？」

ラ「きららさん！それはダークサムスです！サムスとは違つて、フェイゾンがサムスをコピーした別物です！」

き「えーと、フェイゾンってなに？」

マ「危険な物質だよ。エネルギー資源としては有効だけど、生命体⋮つまり僕らには猛毒つてことらしい。ダークサムスは戦い方もサムスに似ている。最大威力のチャージショットには気を付けるんだ。」

き「わかつた！」

【ヨツシー】

き「ソラ様、あのトカゲみたいな生き物はなんですか？」

ソ「あれはヨツシーね。ヨースター島に住む恐竜よ。カメレオンの
ような舌に気を付けて。巻き込まれたらひとたまりもないわ。」

き「タマゴを投げたり生んだりしてますね⋮つてことは、メスなん
でしようか？」

ソ「いいえ、ヨツシー族全体の特徴らしいわよ？」

き「す、すごい生き物ですね…！」

ソ「宇宙での目撃例もあるみたいだし、ますます謎が深い爬虫類だ
わ。」

【カービィ】

き「あの丸っこくてかわいい生き物は何？」

マ「あれはカービィ。星のカービィだ。あいつの能力は可愛いなん
てもんじやないけどね。」

き「どういうこと？」

マ「カービィに吸い込まれたら最後、強靭な胃袋で、何でも溶かし
てしまうそなんだ。」

き「な、何でも溶かす…！」

マ「しかもカービィは相手の能力を奪う『コピー能力』という力が
ある。きららをコピーされたら、カービィも『コール』が使えてしま

うつて事さ。」

き「そんな生き物がいたなんて…世の中、見た目によらない点もあるんだね……」

マ「幸い、カービィの軽さは見た目通り軽い。ダメージを与えたらすぐにふっとばしてしまおう！」

【フォックス】

き「あのキッネ、素早い…！」

ラ「フォックスと戦つてるんですね、きららさん。やとわれ遊撃隊・スターフォックスのリーダーで、『アーウィン』って戦闘機でいくつもの戦果を挙げているようです。」

き「そうだつたんだ…どうりで強いわけだね。」

ラ「フォックスはその速さを生かして、突撃したり接近戦をしかけたりしてくると思われます。だから、できるだけ距離を取つて、遠くから攻撃するといいと思います。」

き「うん。頑張つてみるよ、ランプ。」

【ピカチュウ】

ラ「あつ！かわいい！」

き「そうだよね。あの黄色いの、かわいいよね！」

マ「あれはピカチュウ。世界的に人気のあるポケモンだ。キュートな見た目だけど、頬の電気袋から色んな電撃を放つてくる。シビれて隙を晒さないようにね。」

ラ「ところで…きららさん、できれば、ピカチュウをゲットしてくるとか…できますかね？」

き「ランプ、ポケモンのゲットつてどうやるの？」

マ「きららに無茶をさせるなよ、ランプ。きららはポケモントレーナージやないし、何よりモンスターボールがないじゃないか。」

【ルイージ】

き「マリオに似てる、緑の帽子の人人がいる…」

ラ「ルイージですね。そのマリオの弟です。」

き「マリオって、弟さんがいたんだ…」

ラ「『永遠の二番手』なんて言われていますが…その爆発力はお兄

さんに及ぶものがあります。飛び上がりながらパンチを放つスープージャンパンチで、一気に撃墜されてしまうこともあるかもしれません。」

き「そつか…アドバイスとかは、何がある？」

ラ「えーっと…ルイージは、オバケが苦手だそうですよ?」

き「お、お化けかあ…流石の私でもお化けは『コール』できないなあ…」

【ネス】

き「ねえ、あの子供…なんか、変なバスを感じるよ。」

マ「ひよつとして、ネスのP_サS_イIを感じているのかい？」

き「P_サS_イI…?」

マ「分かりやすく言うと、超能力かな。テレビポーテーションにパイロキネシス、サイコキネシスなんかを操るんだ。」

き「そんなことが……」

マ「僕たちの世界も似たような魔法があるだろう。それとほぼ一緒にだ。」

き「そう言われると、そんな気がする、かも?」

マ「PKサンダー弾は、自分自身に当たると電撃を纏つた超強力な体当たりになる。ガードを途中で解かないようにな。」

【キャプテン・ファルコン】

ラ「ファルコン・パンチ!!」

き「えっ!? 急にどうしたの、ランプ?」

ラ「キャプテン・ファルコンの必殺技です!」

マ「F—ZEROと呼ばれるレースカーのパイロットだよ。ランプが叫んでたのは、彼の代名詞とも名高い技だ。」

き「そんなに強い技なの?」

マ「当たればひとまりもないけど、隙が大きい。よっぽど油断してなければ当たらないよ。とはいって、崖際の攻防で仕掛けてくることがある。復帰は気を付けて戻るんだよ。」

き「ありがとう、マツチ。」

【プリン】

口 「プリンと戦っているな、きららちゃん。」

き 「プリン?あのピンクの丸っこい生き物ですか?」

口 「ふうせんポケモンと呼ばれるプリンは、普通の人間よりも自在に空を飛べる。空中からの“ころがる”に気をつけろ。」

き 「他には何がありますか?」

口 「そうだな：“ねむる”的威力は凄まじいと聞く。」

き 「眠るだけなのにですか?」

口 「寝る瞬間にプリンの中心部に触れると、凄まじいエネルギーの餌食になる。これを食らえば、たちまちK.O.されるだろうな。」

き 「いつたい、どういう原理でそんなことが起きてるのでしよう?」

口 「世の中は広い。特に、この『大乱闘』ではな。」

【ピーチ】

き 「綺麗なお姫様みたいな人がいるね。」

ラ 「あれはピーチ姫です。キノコ王国という国の、正真正銘お姫様ですよ。クッパ軍団のボス、クッパにしょっちゅう攫われているそうです。」

き 「え、大丈夫なの!」

ラ 「いつもマリオが助けてくれるそうですよ。」

き 「なんだか、白馬の王子様みたいだね。」

ラ 「白馬じやなくて、ヨツシーに乗つてきそうですがね。大乱闘で厄介なのは、やはり投げてくる野菜でしょうか。たまにボム兵という爆弾を投げてきます。」

き 「分かった。その爆弾だけは絶対に避けないと、つてことだね。」

【デイジー】

き 「ピーチ姫と似ている女人人がいるけど…」

ソ 「あれは、デイジー姫ね。サラサランダのお姫様よ。宇宙人に攫われた時に、マリオに救われたようだわ。」

き 「経歴が似ていますね。」

ソ 「しかも、ピーチ姫とも交流があるらしいわよ。」

き 「だから、ピーチ姫と技も似ているんですね!」

ソ「ピーチとは細かい違いがあるわ。距離を取つて、どんな戦い方をするのか観察してみると良いかもしないわよ?」

【クッパ】

ラ「きららさん、クッパと戦つているんですね。」

き「あの大きな亀の魔物のこと?」

ラ「クッパ軍団のボスを勤めていて、しょっちゅうピーチ姫を攫つているんです。」

き「しょ、しょっちゅう!?なんだが、嫌な人?だね…」

ラ「クッパの武器は重量とパワーです。ぶつ飛ばされにくく上に、一撃一撃が重たいですから、気をつけてください。」

き「分かった。攻撃は落ち着いてガードしてみるよ。」

【アイスクライマー】

き「ランプ、二人一組で参加している子たちがいるよ。」

ラ「アイスクライマーですね。元々は雪山で頂点に登るのを競い合うライバルだつたんですが、大乱闘では息のあつたコンビネーションで攻めできます。」

き「まるでシユガードソルトみたいだね……何か、対策はある?」

ラ「はい。ナナを先に倒して分断すれば、攻撃力は半減します。崖付近で狙つてみるといいと思いますよ。」

【シーク】

き「顔を隠した忍者みたいな人がいます!」

ラ「シークですね。見た目の通り、足も攻撃スピードも早いファイターです。」

マ「でもそれは、裏を返せば一発一発はそれほど痛くないって事なんだ。落ち着いてコンボから抜け出すといいよ。」

き「なるほど…」

ラ「とても軽いファイターでもありますから、強くふつとばせば、墜墜できることもありますよ!」

【ゼルダ】

マ「ゼルダと戦っているね?きらら。」

き「また変わったタイプのお姫様だね。」

ソ「『神々のトライフォース』時代のゼルダね。七賢者の子孫であるゼルダは、幽閉された時テレパシーでリンクに助けを求めたそうよ。」

キ「七賢者…つてことは、神殿の賢者の誰かの…!?」

マ「いや、きららの考える賢者とは別人だと思うけど…」

ソ「まあ、セサミならもう子持ちでしたってなつても不自然じやないと思うけど…」

キ「そ、そうだつたんですね…！」

マ「ソラ様ー、きららにウソ吹き込むのやめてもらつていいですかー？」

【ドクター・マリオ】

キ「マリオって、お医者さんもやつてるんですね。」

ラ「ドクター・マリオですね。普通のマリオと違つて、重い一撃が特徴です。」

マ「カラダに詳しいから、急所を狙つた攻撃をしてくるだろう。」
ラ「ただし、重いということは、普通のマリオよりも遅い可能性があります。距離を詰められないようにしてください！」

マ「病院送りにならないようには。どんな治療をされるか、分かつたものじゃあないからな！」

【ピチュー】

キ「ランプ、あのちっちゃなピカチュウはなに？」

ラ「あれはピチュー。ピカチュウの進化前のポケモンです。まだ電気を扱うのが未熟なので、自分の電撃でダメージを負つてしまます。」

マ「とはいえ、あの小さい体とすばしっこさは厄介だ。一気に近づかれて掴まれないようにね。」

キ「幼い頃の方がすばしっこいんだね。」

マ「きららもランプもまだ子供だから分からなかもしれないけど、大人になつたらできなくなることもままあるつてことさ。」

ラ「なんですかマツチ。大人ぶつたこと言つちやつて…」

キ「あはは…」

【ファルコ】

き 「素早く動き回るキジがいるよ。」

ラ 「えつ？ どうしてファルコがキジだつて分かつたんですか？」

ファルコはチーム・スターフォックスのエースパイロットです。」

マ 「コンボ技をいっぱい持つているようだ。連續攻撃を受けそうになつたら回避やズラしで抜け出すようあがくと良い。」

ラ 「元宇宙暴走族のヘッドですかね。油断せずにいきましょう！」

き 「暴走族か…ちょっと怖いけど、頑張るよ。」

【マルス】

ソ 「きらら、マルスと戦つているのね。」

き 「あの剣士は一体何者なんですか？」

ソ 「暗黒竜メディウスを倒した英雄「アンリ」の子孫である、アリティア王国の王子様よ。だけど、とても難儀な人生を送つた人でもあるの。仲間に裏切られたり、国を追われたり、家族がバラバラになります。」

き 「そんなことが……」

ソ 「それでも諦めずに国を救つた英雄もあるのよね。そんなマルスだけど、彼の持つ神剣ファルシオンの先端がとても強力よ。」

き 「そうですか…となると、ガードを固めるか、遠距離で戦うか…」

ソ 「シールドする際はシールドブレイカーに気を付けて。シールドを壊されたら、一定時間気絶しちゃうわ！」

【ルキナ】

き 「ソラ様、あのマルスに似た剣術を使う女の人は誰ですか？」

ソ 「ルキナね。彼女は絶望の世界を救うために未来からやってきた人よ。」

き 「み、未来ですか！」

ソ 「マルスが英雄王と崇められてた時代に、自分たちの軍の士気をあげるためにマルスと名乗つてたこともあるの。だから、戦い方が似ているのかもね。」

き「そんな重たい事情が…」

ソ「大乱闘では、マルスみたいに剣攻撃のムラはないわ。爆発力はないけど、手堅い攻めが出来るという事よ。」

【こどもリンク】

き「アレはリンク：なんでしょうか？」

ロ「通称こどもリンク。時の勇者だ。」

き「時の勇者？」

ロ「時のオカリナを使って、魔王ガノンドロフに挑んだんだ。この結末と運命がパラレルワールドを生み、さまざま伝説が生まれたんだと。」

き「えーっと、どうしたことなんでしょう？」

ロ「もしも俺がいなかつたら、賢者は八人じやなくて七人になつているだろう？」

き「ええと、はい。」

ロ「目に見えないだけで、ありえない“もしも”の世界は存在する。それがパラレルワールドなんだ。」

き「……はい！よくわかりません！」

ロ「剣持ちにしてはリーチが短いけど、素早いのが特徴だ。気を付けていけ。」

【ガノンドロフ】

き「あそこで恐ろしいオーラを放っている人は…」

ラ「いらっしゃん！ガノンドロフは危険です！」

き「ガノンドロフ…」

ラ「世界をその手に收めようとする野望とそれを実現できるだけの魔力を持っています！」

き「ものすごい強敵だね：勝ち目はあるのかな…？」

ラ「繰り出される技はほぼ全て攻撃力が高いですが、その分スピードが遅いです。攻撃は確実にかわしていきたいですね。」

【ミュウツー】

き「あのポケモンは何者なんですか？悲しいバスを感じます…」

ソ「ミュウツーよ。全国図鑑N.O. 150、いでんしポケモン。幻

のポケモン・ミュウの遺伝子を改造されて生み出されたポケモンよ。」

き「いでんしをかいぞう…?」

ロ「俺達生き物の身体には、身体の設計図の役割をなす遺伝子つてモノがある。元々いたミュウつてポケモンのそれに手を加えて人工的に生み出されたのがミュウツーだ。」

き「それは…正しいことなんですか?」

ロ「ダメダメだな。自然の摂理に思いつきし反している。いくら人の技術力が上がっていくとしても、やつちやあいけない事はあるつてコトだね。」

ソ「ミュウツーのねんりきはきららの星型弾などの飛び道具を反射するわ。強力な技を反射されないようにね。」

【ロイ】

き「炎を纏つた剣を持った男の子がいるよ。」

ラ「若き獅子、ロイですね。」

き「若い?」

マ「15歳だそうだよ。きららよりも年下だねきららは16歳(公式設定)。」

き「そ、そうなの!! そうは見えないなあ…」

マ「貴族生まれな上に、留学中に故郷に呼び戻されて、病床の父の代わりに戦場に行つたからね。なるべくしてしつかりするようになつたんだろう。おまけに謙虚で頭も回り、行動力もある。どこかの女神候補生とは比べ物にならないな。」

ラ「ちよつとマッチ! それは誰のことを言つてるんですか!」

き「あはは……な、何か大乱闘に使える情報とかないかな?」

マ「ロイの持つてる封印の剣は、近くの相手に威力を発揮するんだ。遠め遠めで戦えば、彼に苦戦を強いることができるはずだ。」

ラ「でも、そんなことはロイも承知のはずです! 近づけさせない戦い方をしてくださいね!」

【クロム】

き「ローリエさんとおんなじ声の剣士がいます!」

ロ「やつぱり、君もそう思うか……彼の名はクロム。英雄王マルス

の末裔にしてイーリス聖王国の王子だ。クロム自警団の隊長でもあり、身分を気にせず誰とも接するフランクな性格だと聞く。」

き「そなんですか。意外と優しい王子様なんですね。」

口「おまけにちょっと抜けた性格で、自警団の中ではもつとも訓練中によく物を壊すそうだ。」

き「んん？ よく物を壊す？」

口「それの影響か、やつの突きの威力は想像を絶する。十分に気を付けて戦えよ。」

き「……やっぱり、綺麗なローリエさんのイメージが拭えません。」

口「オイ、誰が汚いだコラ。」

き「い、いえ、そうじやないんですけど……ローリエさんだつて、いつも実験で神殿を爆破させてるじゃないですか。」

口「…………まあ、頑張れよ。」

き「え！？ ちよ、ローリエさん！？」

【M r. ゲーム&ウォッチ】

き「ランプ！ マッチ！ 平面の人間が歩いてるよ！？」

マ「M r. ゲーム&ウォッチだね。1980年に生まれた、平面世界の住人だ。」

ラ「きららさん！ そのゲーム&ウォッチで気を付けるべき技と言えば、やはり “9” です！」

き「9？」

マ「横必殺技 “ジャッジ” の最高数字のことだ。これをくらえれば、どんな相手もタダじや済まない。どうしようもないピンチの時に、くじ運だよりで放つてくるかもしれないから、最後の最後まで油断はないようにね。」

き「そんな超必殺技があるなんて……分かつた。気を付けてみる！」

【メタナイト】

き「仮面をつけた丸っこい生き物が空を飛んでいるよ。」

マ「メタナイトだよ。ッププランドの剣士だ。宝剣ギヤラクシアを携えた高速攻撃が特徴なんだ。しかも、戦艦ハルバードと呼ばれる兵

器も所有しているらしい。」

き「あつ！それなら見たことがあるかも！艦首に大きな仮面がついてた！」

マ「どんな趣味をしてるんだ……それはともかく、高速の剣の連撃や回転アタックには気を付けるんだ。落ち着いてシールドをするのも手だよ。」

【ピット】

き「て、天使がいる……！」

ラ「ピットです。エンジエランドに住む天使。まさか、天使が実在するなんて……！」

き「弓だか剣だか分からぬ武器を持つてるけど……」

ラ「パルテナの神弓ですね。光の矢を放つたり、敵を切り裂いたりできますが……それよりきららさんに気をつけて欲しいのは衛星ガーディアンズです。アレはどんな飛び道具も跳ね返してしまいます。」

き「そ、そつか：クリエメイトの魔法を跳ね返されるのは痛いかも。」

ラ「相手がガーディアンズを使うタイミングを読んで、本命をきつちり当てるカンを養いたいところです。」

【ブラックピット】

き「真っ黒な天使がいます！」

マ「あいつはブラックピットだよ。真実の魔鏡がピットを映したことで生まれた、もう一人のピットだ。」

き「真実の魔鏡……また、リアリストが何か企んでいるのかな……？」

マ「分からぬ。ただ、ブラックピットはオリジナルのピットを敵視しているみたいだし、あんまり良い品ではなさそうだ。」

き「とりあえず、このブラックピットを倒さないといけないね……！」

マ「ピットと同じで反射技を持つ。飛び道具の多様は控えるんだ！」

【ゼロスースサムス】

き「あのピチピチスースのお姉さんは……？」

ロ「ゼロスースサムスだ。」

き「えつ!? サムスって…」

口「あのパワードスーツの中身がこの美女だぞ?」

き「サムスって女人だつたんだ?」

口「重いパワードスーツを脱いだからか、身のこなしや素早い上に体が細い。攻撃は落ち着いて狙うんだ!」

【ワリオ】

口「気をつけろ、きららちゃん! そいつはワリオだ!」

き「なんですか?あの、丸っこい男の人のこと?」

口「ワリオカンパニーの社長として名高いワリオは、かみつき攻撃が最悪だ。」

き「え、なにがどう最悪なんですか…?」

口「ワリオはニンニクが大好物だ。朝から晩までしこたま食つている。そんな口で噛みつかれてみろ。身体についた臭いはしばらく取れないぞ。」

き「う、うわあ…」

口「更に奴は、おならで空を飛び、おならで攻撃するらしい。」

き「お、おならで!? 何かの冗談ですよね!!」

口「残念ながら、本當だ。徹底的に距離をとつて戦つてくれ。」

【スネーク】

き「う、うわあつ! 気づかなかつた!」

ラ「スネークですね。」

き「あの男の人は何者なの?」

ラ「ある特殊部隊の工作兵です。常軌を逸したスニーキングスキルと豊富な武器の知識を持つ、伝説の傭兵です。追尾するリモコンミサイルやスイッチ一つで大爆発するC4爆弾みたいな、強力な爆発力を持つものを多く使つてきます。」

き「ローリエさんの爆弾アリみたいなものなのかな?」

ラ「そういうことです。対策を練る必要がありますね。」

【アイク】

き「ランプ、ものすごく大きな剣を振るつてる男の人がいるよ。」

ラ「アイクですね、きららさん。グレイル傭兵团の一員であるアイ

クは、神剣ラグネルという両手剣を軽々と振るつて戦います。」

き「両手剣を……ものすごくパワフルな人なんだね。」

ラ「その代わりといつてはなんですが、攻撃の拳動がゆっくりめです。特にスマッシュは力を込める分、隙が大きいですよ。」

き「分かった。他に気を付ける事はある?」

ラ「天空はアイクにしては素早いうえに変わった動きをします。落ち着いて見極めましょう!」

【ポケモントレーナー】

き「後ろでポケモンに指示を出しているのは、ポケモントレーナーかな?」

ラ「そうです! ポケモンを鍛えてバッヂを集めて、最強のトレーナーを目指す少年(少女)です。選択した性別によって呼び方が変わる!」

マ「あのトレーナーはゼニガメ、フシギソウ、リザードンの3体を手持ちにしているようだね。」

ラ「どのポケモンにもそれぞれの強みがあります。ゼニガメは地上での機動力が高いとか、リザードンはフレアドライブと投げが強いパワー型、とかですね。」

き「皆さんのが個性があるんだね。しつかり覚えなくっちゃ。」

マ「きららの『コール』やランプの聖典知識みたいに、強みを発揮できる者は強い。それはよく分かっているはずだ!」

【ディディーコング】

き「帽子を被つたチンパンジーがいるよ。」

ラ「ディディーコングですね。ドンキーコングの相棒です!」

ソ「ドンキーコングを頭脳でサポートするディディーコングは、技がちょっと特殊でクセが強いの。こつちが嫌なことをやってくる可能性が高いわよ。」

き「コンボを絡ませてくる、ってこと?」

ラ「投げてくるバナナは、もし踏んじやつたら転んでしまいます!スマッシュを食らう隙になりかねませんから注意してください!」

【リュカ】

き「ソラ様、あの悲し気なバスの男の子は誰ですか？」

ソ「あの子はリュカ。P_サS_イIを操る少年よ。タツマイリ村出身のシャイな男の子だつたわ。」

き「“だつた”？」

ソ「彼の人生は壮絶なものだわ。お母さんを殺され、兄弟とは生き別れて。他にも理不尽な目に遭つたわ。望むか否かに関わらず、力で道を斬り拓くほかなかつたのかもしだいわね。」

き「そんなことが……相手にしづらいな……」

マ「かわいそうに思う気持ちは分かるけど、大乱闘では話は別だよ。手加減無用だ。」

ソ「そうね。マッチの言う通りだわ。様々などころが、ネスとは違うわ。別々の対策を立てるべきね。」

【ソニック】

き「あの青い生き物は何者なの？」

ラ「ソニック・ザ・ベッジホッグですね。スピード自慢のハリネズミさんですね。」

き「ハリネズミ？ そうは見えないけどなあ。」

ラ「スピンドルシユは高速で、止める事は難しいと思います。距離を十分にとつて飛び道具で迎撃するかガードをするといいと思います。どちらにせよ、この戦いで一番大切なのは冷静さです。惑わされないようにしましょう。」

き「分かった、ランプ！」

【デデデ】

き「ペンギンが大きなハンマーを持って浮いています！」

ロ「デデデ大王だな。プロプランドの自称王様だ。」

き「自称ですか？」

ロ「自称だ。だが、あいつのハンマーの一撃はめっちゃヘビーだ。木槌の見た目に反して、ベアリングや小型ジェットが仕組まれてて、威力は凄まじい。」

き「聞いてるだけで肩が外れそうですね……」

ロ「鈍いが確実に重い一撃だから気をつける。あと、トゲトゲのゴ

ルドーは実は打ち返すことが出来るんだ。余裕があれば、狙つてみて
もいいんじゃないかな?」

【ピクミン&オリマー】

き「宇宙飛行士が野菜みたいな生き物を引き連れています!」

ソ「宇宙飛行士はオリマーで、野菜みたいなのはピクミンって名前
よ。ピクミンが色んな色がいるのは分かるわね?」

き「あ、はい。赤に青に黄色に……いろいろいるみたいです。」

ソ「色ごとに特徴を持っているの。黄色は高く飛びし、赤色は炎属
性とかね。」

き「なるほど……」

ソ「紫。ピクミンは一番重くてふつ飛ばしも強いわ。オリマーの後ろ
にいるのを見つけたら気を付けて!」

【ルカリオ】

き「あの生き物の周辺だけ、バスがおかしいことになつていてる……
まるでうずしおみたいな…」

マ「ルカリオの波動を感じているのかい?」

き「ルカリオ?」

マ「はどうポケモンで、あらゆる生命のオーラである波動を操ること
ができる。ダメージが大きくなつたルカリオの波動は、強力な爆発
力を生むんだ。」

き「逆転される可能性が高いってことだね。」

マ「そう。窮鼠猫を噛むとも言う。ダメージが溜まつた時こそ、慎
重に撃墜を狙うんだ!」

【ロボット】

き「大乱闘にロボットがいるよ!」

ラ「そう、あれはロボットです、きららさん!」

き「…? ランプ、あのロボットの名前は何?」

ラ「…? きららさん、あれはロボットですよ。」

き「??」

ラ「??」

マ「2人とも落ち着いてくれ。あれは『ロボット』という名前なん

だ。R·O·Bなんて名前もあるが、ロボットっていう呼び名が一番馴染み深い。」

き「あ、そうだつたんだ。」

ラ「ごめんなさい…ややこしい事を言つてしまつて…」

マ「ロボットが投げてくるコマは拾う事が出来る。ガードしたら、こつちから投げ返してしまおう！」

【トウーンリンク】

き「なんか、小さくてかわいいリンクみたいな子がいるよ？」

ラ「トウーンリンクですね。トウーンとは、カートウーンの略で、漫画映画みたいな意味を持ちます。」

き「漫画つていうと、かおすさん達が描いているまんがみみたいな…？」

ラ「はい、その認識で大丈夫です。」

き「漫画から参戦なんて、大乱闘も不思議ですね。」

ラ「トウーンリンクは素早いし、攻撃もまずまずですけどリンクより軽いです。豊富な飛び道具を見きわめて一気にふつとばしてしまいましょう！」

【ウルフ】

き「なんだか、怖い目つきのオオカミさんがいます…！」

ラ「傭兵部隊・スターウルフのリーダー、ウルフですね！」

マ「スターフォックスのフォックスとはライバルで、ライラット星系で何度も戦ったそうだよ。」

き「手ごわそうな予感だね…」

ラ「クローブラスターは遠距離攻撃ですが、近距離攻撃も兼ねています。」

マ「あと、リフレクターも持っているから飛び道具にも耐性があるんだ気を付けて欲しい。」

【むらびと】

ソ「むらびとと戦っているのね、きらら。」

き「むらびとつて…あの人のことですよね？名前がふわっとしてませんか？」

ソ「ああいう人たちの総称だからね。むらびとは動物たちの住む村でスローライフを送っているけど、そのポテンシャルはすごいわよ。木を切り倒すのは当たり前、ジンベエザメを片手で持つたり、UFOをパチンコで撃ち落としたり、タランチュラに噛まれてもちよつと気絶するだけで済んだり……」

き「…それって、ホントなんですか？」

ソ「私も実際に見るまで信じられなかつたわ。きららの魔法や星型弾をしまつて投げ返してくることもあるから、気を付けてね。」

【ロックマン】

き「青い機械みたいな男の子がいるよ！」

マ「ロックマンだね。Dr. ワイリーの世界征服から人間達を守る、機械のヒーローだ。倒した敵のチップから敵の能力を利用できるようになる機能もついているようだ。」

き「そつか。どうりで、ものすごい種類の弾を撃つてくる訳だね！」

マ「生半可な飛び道具ではロックスター等の相手にならない。接近して戦いを挑みたいところだね。メガ粒子レクイエムシユートみたいな強力な飛び道具で一方的に打ち勝つのも手だよ。」

【Wi-Fi Fit トレーナー】

き「なんだか、白い人がいます。」

ラ「Wi-Fi Fit トレーナーです。いわゆる、体操のお姉さん（お兄さん）選択した性別によつて呼び方が変わるですね。」

き「そうなんだ。後で健康にイイ運動法でも教わろうかなあ…」

ラ「あつ！その時は、私も一緒にお願いします！」

マ「おいおい、今は大乱闘の最中だろう。そういうのは、後にしてくれないかい。」

き「うつ、そ、そうだつたね…」

マ「腹式呼吸は、自前で回復できる上に攻撃力が上がる。使つてきたら要注意だ。」

【ロゼッタ&チコ】

き「なにやら神秘的なパスのお姉さんがいるよ。」

ラ「ロゼッタですね。付き従つている星の子みたいなのは、チコつ

ていいます。」

き「そのロゼッタさんって、何者なの？」

ラ「ほうき星の天文台に住んでいて、チコたちと一緒に宇宙を旅しているみたいです。」

き「宇宙を旅する、かあ。みらさん達が聞いたらなんて思うかな？」

ラ「きっと、お話が合うと思います！大乱闘では、チコはロゼッタを守るために動きます。ロゼッタだけに意識しすぎてチコにふつ飛びされないように注意しましょう。」

【リトル・マック】

マ「あれは、アメリカ出身のボクサー、リトル・マックだな。」

き「リトル？ そこまで小さくないと思いますよ？」

マ「まあ身長172センチだからね。でも、彼はボクシングで自分よりも更に大きいヘビー級ボクサーを次々と倒しているんだ。若きチャンピオンだね。」

き「わあ、すごいですね！」

マ「その経験があるからか、地に足をつけた接近戦では右に出るものはない。いくらきららでも、懷に入り込まれたら大ダメージを覚悟しないといけないな。」

き「そつか：じやあ、どうすればいいのかな？」

マ「あいつは空中戦がものすごく弱い。打ち上げて着地させなければ有利に戦えるはずだ。」

【ゲッコウガ】

き「あれは：カエル、なのかな？」

ラ「ゲッコウガです。忍びであり、カエルでもあるポケモンです。」

き「忍び：どんな忍法を使うのかな。」

ラ「水を使った手裏剣を始め、かげうちやみがわりの術も使つてきます。それらで敵を翻弄するさまはまさに忍者と言えるでしょう。」

き「なにか、アドバイスはある？」

ラ「差し込みのダツシユ攻撃が強力なので、相手に攻めさせない試合運びをしたいところです。」

【M·i·iファイター（格闘／剣術／射撃）】

き「見たことのない人達がいます。」

マ「アレはM・i・i・ファイターだ。格闘、剣術、射撃の3タイプがあるて、それぞれで戦い方が違う。しかも、同じタイプだからと言つて、使つてくる技が同じとは限らないんだ。」

き「そ、それって…戦つてみるまで分からないくつてことなの？」

マ「そういう事だ。彼らの使つてくる技の情報は、戦いながら集めるしかない。気をつけてくれ、きらら。」

【パルテナ】

き「あの神々しいパスの女の人は誰ですか？」

ソ「あの方は女神パルテナ。エンジエランドに君臨する、光の女神ですね」

き「め、女神ですか!? ソラ様みたいな…」

ソ「あの人には様々な奇跡を起こしたり、付与したりすることで戦う事も出来る実力派でもあります。爆炎の軌跡は見えづらいですから、乱戦の際は気をつけたいところですね。」

き「ソラ様は、パルテナ様と知り合いだつたりするんですか?」

ソ「いいえ? でもおんなじ女神として仲良くなりたいのは本当よ。」

【パックマン】

き「あの黄色くて丸っこい生き物はなに? カービイ…じゃないみたいだけど…」

ラ「きららさん、あれはパックマンです。最初は欠けたピザみたいな姿で1980年に生まれたんですが…時代と共に、姿が変わつていつたようですね。」

き「姿が変わつていく…か。なんだか不思議な生き物だね。」

ラ「今になつても、謎の多い人物なんですよ。分かつたことは、せいぜい食欲が旺盛であることくらいですね。」

き「そうなんだ…油断できないな。」

ラ「フルーツターゲットで様々なドット柄の果物を投げてきます! メロン、ベル、鍵には要注意です!」

【ルフレ】

き「ランプ、分厚い本を持つて炎や雷を出してるあの人は誰?」

ラ「ルフレです。イーリス聖王国で軍師をしています。」

き「軍師：つてなに？」

ラ「頭を使って、軍を動かす作戦を考えることだつて聞いています。ルフレは、魔導書から色んな魔法を放つて攻撃することができます。更に、もう片方の手にはサンダーソードが握られていますね。下手に近づくと、強力な一撃を受けてしまうかもしません。」

き「そうなんだ…」

ラ「でも、サンダーソードや魔導書には使用回数に限りがあるそうです。いちど使い切つたら、しばらく魔法は撃つてこなくなりますし、サンダーソードは攻撃力の低い青銅の剣に持ち替えるようです。」

き「限りがあるんだ。：つてことは、弾切れを狙うのもありなのかな？」

ラ「フットワークも遅いので、敵の攻撃を誘つて、弾切れの瞬間を作りましょう！」

【シユルク】

き「機械仕掛けの剣を持つている人がいるよ！」

マ「シユルクだね。剣の名前はモナドという。レーザーが出てくるから、普通の剣士よりも長いリーチに気を付けてくれ。」

き「ローリエさんの発明みたいな技術だね。」

マ「しかも、このモナドアーツによつて、5種類も自己強化を持っている。例えば『翔』なら、空中の機動力が上がる、とかね。」

き「そんな便利な機能があるんだね。」

マ「『撃』の自己強化をしたら気を付けて。シユルクのふつとばし力が上がるんだ。でもこの時、シユルク自身もふつとびやすくなつてゐるから、逆にふつとばしてやるといい。」

【クッパ Jr.】

き「小さなクッパみたいな子が丸い機械に乗つていてよ！」

ラ「クッパ Jr. 達ですね。クッパの子供たちです。」

き「クッパって、あの大きくてちよつと怖いクッパだよね。その子供がこんなに小さいなんて、ちよつとかわいいかも。」

ラ「見た目に騙されてはいけませんよ。彼らが操る機械は、凶悪な

装備がたくさんです。砲弾に爆弾、ドリルやチエーンソーまで備え付けられているんです。」

き「い、痛そうだね…」

ラ「いざという時は自爆機能も持っています。クツパJr.が飛び上がつたら気を付けてください。」

【ダックハント】

き「ねえマッチ、大乱闘に犬がいるよ！」

マ「ダックハントだね。犬と鴨と狙撃手のトリオ：らしい。」

き「犬と鴨しか見当たらないよ？」

マ「だから“らしい”って言つたんだ。ソラ様がそう言つたんだけど：狙撃手の姿が見当たらないんだよ。どこかできららを狙つているかもしれない。」

き「えええっ！狙撃なんて、どうやって対処すれば…？」

マ「ダックハントの周囲に気を付けるんだ。ひよつとしたら、爆発する缶やクレーを射撃しているのが彼かもしれないからね。」

【リュウ】

き「赤いハチマキをした武闘家がいます！」

ソ「あれはリュウ。最強の格闘家となるべく世界を旅してストリートファイターたちと戦っているわ。得意技は昇竜拳。これで多くの敵に勝つってきたわ。」

き「世界を旅してる、つてことは、多くの人達の戦い方を知つていいつてコトなんですね？」

ソ「そうよ。きららの『コール』までは読まれないかもしねないけど：生半可な体術は躲されると思つた方がいいわね。昇竜拳は飛び上がる技よ。コンボを食らう前に距離を取るように動きなさい。」

【ケン】

き「あの赤い武道着の男の人は誰ですか？」

ロ「ケンと戦つているのか、きららちゃん。ケンはマスターズ財团の御曹司であり、リュウとは兄弟弟子でもあるんだ。だから、使つてくる技がリュウとよく似ている。」

き「なるほど、確かに言われてみれば……」

ロ「明るくて快活、派手好きで妻子持ちのケンは、リュウとはまったく正反対の性格なのにな。」

き「奥さんがいるんですか!?」

ロ「ああ。俺も彼にその辺のテクニックを教えてもらいたいくらいだな。」

き「ええ、と……ローリエさんは……ナンパを改善するところから始めるべきでは……？」

【クラウド】

き「おつきな剣を振るう人がいるね……！」

ラ「クラウドですね。ソルジャー-1stとして名高いです。クラウドは、あの大きなバスター・ソードを軽々と扱います。リミットチャージに気を付けてください。満タンの状態になつたら、手痛い攻撃が飛んできますよ！」

マ「特に“画竜点睛”は恐ろしい。ダメージが溜まつた時に受けたら、一撃必殺間違いなしだね。」

【カムイ】

き「い、今、人間が竜に変身したよ!?」

ラ「カムイですね。白夜王国の王族である彼（彼女）選択した性別によつて呼び方が変わるは、真祖竜の力を自由自在に出し入れできるんです。」

き「竜の力つて強大そうだよね……」

ラ「水の自在に操る真祖竜の一撃は先端が強いです。中距離からチクチクやられたら、あつという間に撃墜されるので気を付けてください。復帰阻止を狙つて事故を狙うのもアリですね。」

【ベヨネット】

き「あのお姉さんから、危険なパスを感じる……」

マ「きらら！ベヨネットは危険だ！」

き「マツチ？」

マ「両手足の銃から放たれるバレットアーツの追い打ちを始め、様々な連続攻撃を得意としている。スマッシュでは魔神の手足を召喚し、おまけに『ウイッシュタイム』で時間をも操る。それらの能力で

狙つた天使を狩りつくす。それが“アンブラの魔女”であるベヨネッタなんだ！」

き「天使を……つてことは桃さんやミカンさんが危険かもしない。全力で戦つてみるよ。」

【インクリング】

き「あのイカみたいな人は何者なのかな？」

ラ「あれはインクリング。通称イカですね。今から約12000年後に、イカが進化した生命体だそうです。」

き「い、12000年後!? どんな時代なんだろう。想像もできないや……」

ラ「インクリングの世界では自分の色で周囲を塗つて、その面積を競う『ナワバリバトル』なるものがトレンドになつてているようです。この大乱闘でも、きららさんにインクを飛ばして塗りつぶしてくるかもしれません。」

き「うわ、ちょっとイヤかも…」

ラ「インクまみれにされたら服が汚れるだけじゃなくって、ダメージが更に大きくなります。でもインクを使う技を使えばインク切れになりますから、そこが狙い目です！」

【リドリー】

き「ソラ様、あの悪魔みたいな見た目の竜は……？」

ソ「リドリーですね。スペースパイレーツの最高司令官です。」

き「宇宙の生き物も、大乱闘に参加しているんですね。」

ラ「宇宙生命体なら、もう既にカービィとかピクミンとかいますけど……」

ソ「リドリーはそういった可愛い系とは違つて残忍で狡猾、高い統率力もあるのよ。」

き「サムスとの関係はどうなんですか？」

ソ「幼い頃に両親をリドリーに殺された…サムスにとつて、リドリーは宿敵よ。」

き「そんなことが…！」

ラ「リドリーは手を変え品を変えサムスに挑みますが、その全ての

戦いでサムスはリドリーをきつちり倒していますよ。」

き「サムス強いです！」

ソ「しつぽの刺突には気を付けてちょうだいね。」

【シモン】

き「斧を投げたりムチを振るったりしている男の人がいるよ！」

マ「シモン・ベルモンドだね。いかつい顔をしているが、ヴァンパイアハンターなんだ。シモンに限らずベルモンド家はヴァンパイアと戦い続けた歴史を持つ。その長さは実に900年だ。」

き「900年！時代がいくつも変わる長さだね。」

マ「その長い歴史の中で有名な装備はやはり、手にしたムチ・ヴァンパイアキラーだ。」

き「ムチを実践的に使う戦士って、初めて見るかも。」

マ「きららの杖が届かない位置から攻撃ができるから、あのリーチは脅威的だ。こつちも、魔法で対抗するといいだろうね。ただし、斧や燃える聖水にも気を付けてくれ。」

き「ムチと斧と聖水だね。わかつた！」

【リヒター】

き「ランプ、あの鎖ムチを持った人は？」

ラ「リヒター・ベルモンドです。シモンの子孫ですよ。」

マ「彼は熱血漢で曲がったことが大嫌いな、実直な人間だ。でも、その性格が仇になつて利用されることも多々ある。呪いを受けて悪魔城の主になつてしまつたという話も聞いたよ。」

ラ「それって、単純つてことなんでしょうか？」

マ「シンパシーを感じてると、悪いけど、ランプには一城の主は務まらないだろ。せいぜい見習い小間使いだ。」

ラ「な、なにをー！私だって、その気になれば城の主くらいできますよ！：多分。」

き「それ、敵に操られてることになつてるけど、いいの？」

【キングクルール】

き「あそこに、ものすごく大きくてまるまるとしたワニがいる。」

ラ「キングクルールですね。クレムリン軍団の総帥で、ドンキーコ

ングとはバナナを取り合うライバルです。」

き「あのドンキーコングと…！」

ラ「見た通りで分かると思いますが、キングクルールのお腹にしている鎧はとても頑丈です。アレを使って、打撃を反射する事もあるそうです。割ることができれば気絶させることができますが…」

き「何度もカウンターを受けることになるかもしれませんね…」

ラ「そう思つたら、思い切つて掴んで投げてしまいましょう！そうすれば、こっちが一方的にダメージを与えることができます！」

【しづえ】

き「犬が服を着て歩いてるよ！」

ラ「しづえさんですね。シーズー犬だそうですよ。どうぶつの森にある村で、村長の秘書として働いています。」

き「秘書つていうと…セサミさんみたいな？」

ラ「はい。村イチバンの人気者だそうですよ！」

き「なんだ！今度、しづえさんの村に行つてみたいなあ。」

ラ「それは同意しますが、まずは大乱闘を終えてからにしましよう！つりざおに注意してくださいね。シールドしても釣りあげられてしましますから。」

【ガオガエン】

き「大変！ムキムキの猫さんが燃えてるよ！」

マ「落ち着け、きらら。そいつはガオガエンというポケモンなんだ。」

き「えっ、あれもポケモンなの？」

マ「全国図鑑No.727のヒールポケモン。プロレスにちなんだ技を多く使う。単純な物理攻撃や掴みでこっちのガードを崩す戦法を得意とするんだ。他にも、こっちの攻撃わざと受けて次の攻撃を強化する『リベンジ』という技も持っている。」

き「強力な近接戦闘と変わったカウンターか。」

マ「でも、ガオガエンは飛び道具を一切持っていない。魔法が使えるきらら相手なんだから、アイツにとつてこれほど戦いにくいことはないと思うよ。」

【パックンフラワー】

き「あれ？あの植物、大乱闘に参加して良いの？」

ラ「油断は禁物です、きららさん。パックンフラワーは、マリオの前に立ち塞がる敵の一人なんですから。」

き「そうなの！？」

ラ「パックンフラワーには色んな種類がいますが、今回のアレは一番オーソドックスなタイプですね。噛みつくのはもちろん、鉄球や毒霧を吐き出します。復帰の妨害が恐ろしく強い植物です。もしふつ飛ばされたら、慎重に帰つて来ましょう！」

【ジョーカー】

き「派手な仮面をつけた人がいます！」

ロ「彼の名は雨宮蓮。秀尽学園高校の2年生だ。『表向きは』な。」

き「表向き？」

ロ「裏では、悪人の歪んだ欲望を奪つて改心させる怪盗団のリーダー・ジョーカーとして活動しているんだよ。」

き「怪盗ですか！しかも、悪人を改心させる⁈イイ人ですね！」

ロ「でも、彼がジョーカーになつたのもそれなりの重い経緯があつてだね。理不尽な世の中に反逆して、自分達みたいな被害者を出さないために日々戦つているのさ。」

き「そなんですね……」

ロ「反逆ゲージが溜まると、アルセーヌというペルソナが出てくる。その間はジョーカーのあらゆる攻撃の威力が上がるんだ。あつとう間に撃墜されないように気をつける！」

【勇者】

ロ「お、きららちゃん。勇者と戦つてるな？」

き「勇者つて、あの剣と盾を持つてる人ですか？」

ロ「勇者は近づけば剣技で攻撃し、距離を取ればリーチ外から魔法を叩き込む強力な戦士だ。特に魔法の中には信じられない威力のものもある。大爆発のイオナズンにどでかい火の玉を撃つメラゾーマ、相手を眠らせるラリホー……中にはダメージ次第で即撃墜のザラキなんて魔法もある。」

き「隙がないですね……」

口「だが、強力な魔法はMPを使うんだ。MPがなくなれば、強力な魔法が撃てない。それどころか、『しかしMPがたりない!』つづつて、隙を晒してくれるかも知れないぞ。」

き「MPが鍵なんですね……わかりました!」

【バンジヨー＆カズーイ】

き「ランプ、クマさんがトリさんを背負っているよ。」

ラ「クマがバンジヨーで、トリがカズーイです。彼らは魔女に攫われた妹を助け出すために大冒険をしたことがあるんです。あの二人のコンビネーションはまさに一心同体です!」

き「なんだか、私とランプみたいだね。」

ラ「そ、そうですか? えへへ……」

マ「あー…そんなきららなら分かると思うけど、相棒がいる者は強い。心して戦ってくれ!」

【テリー】

ソ「テリー・ボガードと戦っているのね、きらら。」

き「あのカジュアルな格好をした男の人ですか?」

ソ「彼は父親の敵討ちのために『キング・オブ・ファイターズ』っていう格闘大会に出場したのよ。必殺技はパワーゲイザーとバスター・ウルフ。テリーが傷ついて体が温まつてくると使い始めるけど、あつという間に逆転されかねない威力を持つてるわ。」

き「わかりました。」

ソ「それにしても、こんなに派手に参戦しているのに、不知火舞ちゃんだけ参戦できなんて、ちょっと惜しいわね。」

き「ソラ様…その不知火舞って、誰なんです?」

ソ「ローリエが喜びそうな恰好をしたくノ一よ。」

き「な、なんでだろ……知らないはずなのに、簡単にイメージできちゃいました…」

【ベレト／ベレス】

き「あの男（女）の人、色んな武器を使つてくるね…！」

ラ「ベレト（ベレス）と戦つてるんですね、きららさん。彼はガル

ク・マク修道院で貴族や王族の子供に戦闘を教える先生なんです。」

き「へえ、先生なんだ！ローリエさんみたい！」

マ「でも、戦争が起こつて修道院にも戦火が届きそうになつた時、彼（彼女）は運命の選択を迫られるんだよ。」

ラ「大乱闘では弓、槍、斧、蛇腹剣を使つてきます。特に槍…アラドヴァルには注意してください。思つたよりも遠くまで攻撃が届きます。距離を取る時は、気持ち遠めを意識してくださいね！」

【ミエンミエン】

き「あの子の腕、ものすごく伸びるよ！？」

ラ「ミエンミエンですね。普段は中華料理屋『麵天飯食堂』で看板娘をしていますが…ひとたび戦えばA R M S能力で腕を伸ばして攻撃します。ありえない距離からスマッシュをしてくることもありますよ。」

き「腕についている武装はいつたい…？」

ラ「早くて範囲の広いホットリング、パワー重視のメガボルト、口から炎を吐くドラゴンですね。どれも遠距離では脅威になります。でも、一旦ガードして距離を詰めてしまえば、ミエンミエンに苦戦を強いることができますよ！」

【ステイ一ブ／アレックス】

き「なんだか、全身が力ク力クしている人間がいます！」

ロ「マインクラフト世界に住む人間だ！匠の爆発に気をつけろ!!」
ソ「流石にクリーパーは連れてきてないようね。でも、彼らのサバイバル技術は本物よ。素材を採掘して武器を強化するのは当たり前、トロツコを作つたり、T N T爆薬を作るなんてこともできるわよ！」
き「ていーえぬていー……つて何ですか？」

ロ「一言でいえば超強力な爆弾だ。あんまりいじると爆発するぜ。」

ソ「復帰をブロツクで邪魔されないような試合運びも重要よ。」

【セフイロス】

き「あのおぞましいパスは何…!?」

ロ「きららちゃん、気を付けろ！そいつはセフイロスだ！」

ソ「もとは“英雄”だつた彼も、とあるきっかけで人類への復讐と

星をも超える神になることを企むようになつたのよ。」

き 「どうして、そんなことに…」

ソ 「彼も色々あつたのよ。まさか、たつた一つの勘違いでこうなるとは、誰も思わなかつたようだけど。」

ロ 「奴が持つてゐる刀・村正は見た目通りの超リーチを誇る。アレでの範囲攻撃に気を付けろ。」

ソ 「彼は状況に応じて片翼が生えたりするから、重さは軽いはず。頑張つて、きらら！」

【ホムラ】

き 「赤い女の人が、炎を纏つています！」

ソ 「あれはホムラ。ブレイドという生命体で、ドライバーという人間と契約をすることで戦う存在よ。ホムラは『天の聖杯』という伝説のブレイドで、炎をまとつた剣で戦うわ。斬り上げた後に急降下するプロミネンスリボルトと前方に剣を振り下ろすフレアスマッシュに気を付けて。彼女の細腕からは想像も出来ないパワーがあなたに迫る筈よ。」

き 「伝説の存在か…何だか、友達になれそうな気がします。」

ソ 「気持ちは分かるけど、今は大乱闘に集中してね？」

【ヒカリ】

き 「あれ？ ホムラの姿がさつきと違うような…？」

ラ 「ホムラがヒカリにチエンジしたんですね。ヒカリはホムラと比べて攻撃力では劣りますが、速さと技の後隙がなくなっています。それに加えて、『因果律予測』という特殊能力も持つてゐるそうです。』

き 「因果律…予測？」

マ 「きららがこの後どう動くか、どう攻撃するのかが見えるようになるらしい。戦いにおいて、先を読まれるのはかなり痛手だよ。」

ラ 「でも、万能ではないはずです。常に読んでくるとは限りませんし…読まれても、避けられないようにすればいいんです！」

き 「ランプの言う通りだね。まずは速さに対応できるようにならなくつちや。」

【カズヤ】

き「なんだか、物凄いコワモテのおじさんがいますね…」

ラ「彼は三島一八です。…恐ろしいくらいに冷徹な格闘家ですよ。」

き「冷徹…?」

ラ「父や子供に家族の情を全く感じていません。それどころか…会えればその瞬間殺し合いです。」

き「うそ…どうして?」

ラ「私にも理解出来ませんでした。そんなカズヤですが、『デビル因子』を持つていて影響で一時的にデビル化する事ができるようです。」

き「悪魔の羽とかが生えるの?」

ラ「その通りです。デビルの力を上乗せしたスマッシュユを喰らえばひとたまりもないです。絶対に避けてください。」

【ソラキングダムハーツのソラ。キーブレードを使う。】

き「あの子の武器、何だか鍵みたいですね。」

ロ「ソラのキーブレードのことを言っているのか?」

き「キーブレード?」

ロ「限られたものしか使えない、伝説の武器だ。ソラは、そんな武器を片手に様々な世界を旅するんだ。」

き「そうなんですね。大乱闘では、どんな感じなのでしょうか?」

ロ「ふわっとした空中機動とんでもない復帰力から、空中戦得意としている。復帰阻止にも全力で来るだろう。でもソラ自身が軽めだから、ふつとばしやすい点もある。」

き「分かりました。ふつとばしやすいんですね、頭に入れておきます!」

【ローリエ】

き「ええええっ! ろ、ローリエさんも大乱闘にいるんですか!?

ロ「そういうことだ。しかも今回は、八賢者全員の武器も持つ特別仕様だぜ。」

ラ「手札が一番多い賢者であるローリエ先生が相手だなんて…」

マ「でも、いつものきらららしく全力で戦えばいいはずだ!」

ロ「そういうことだ。だから…今回のアドバイスは、ナシだ!」

き「分かりました。勝負です、ローリエさん!!」

【クロウ】

き「ね、ねえランプ！あの男の子からクリエメイトのパスを感じるよ！」

ラ「ええええっ！そんな馬鹿な！私の知るクリエメイトに、あんな人はいません！」

ソ「きっと、彼はパラレルワールドから来たのかかもしれないわね。」

ラ「ソラ様!?」

き「あの、彼は何者なんですか？」

ソ「神原クロウ。たま市に住んでいる、暗黒神ラープソーンの子孫よ。」

ラ「暗黒神!?なんだか不穏な響きです…」

ソ「根は優しい子よ。コマンドで使う技も、勇者よりも優しめかも。でも、やる時はやるから気をつけて。素早い魔法で撃墜されないようにな。」

【シャミ子】

き「え、シャミ子さんも大乱闘にいるんですか!?」

マ「クリエメイトでは最初の参戦者だね。」

ラ「大乱闘で華麗に戦うシャミ子様、素敵です＼＼＼＼＼！」

マ「こら、ランプ！呆けてないできららにアドバイスしないか！」

ラ「そんなことより、シャミ子様の御姿を目に焼き付ける方が先決です！」

マ「やれやれ……きらら、シャミ子の変化する杖は厄介だ。よく見て、何の攻撃が来るかを意識してくれ。」

き「分かった。シャミ子さん！いざ尋常に、勝負です！」

【ベロニカ】

き「小さな女の子が、物凄い炎や爆発を出しているの…」

ロ「ベロニカだな。聖地ラムダ出身の、双賢の姉妹の姉の方だ。」

き「シユガーやソルトくらいの年齢のはずなのに、すごいや。」

ロ「ホントは10代後半なんだが、ワケあつて若返ったんだよ。そんな彼女だけど、メラ系の魔法とイオ系の魔法が得意のようだ。」

き「めら？いお？」

口「ああ、炎と爆発のことだ。特にメラゾーマとイオナズンには気をつける。しかもベロニカは、魔力かくせいを使つてメラガイア－とイオグランデという最上級魔法を撃つてくる。これにあたればひとたまりもないだろう。でも、強力な魔法はMPを大量に消費する。近づいて魔法を使う隙を与えないというのも大事だぞ。」

【博麗靈夢】

き「紅白の巫女さんが空を飛んでいます！」

口「博麗靈夢だと!? 幻想郷にいるはずじゃ…」

き「知つてているんですか？」

口「ああ。靈夢は、人々から忘れられた者たちが辿り着く楽園、幻想郷に住んでいる巫女だ。日々妖怪退治と幻想郷守護の役割を背負つて戦つている。」

き「妖怪と戦う巫女さんですか…」

口「日頃から人間ならざる者たちをぶちのめしているんだ。戦闘経験は飛び抜けてると言つても過言じやないだろう。お札や魔法陣、卒塔婆を放つたりお祓い棒で接近戦を制したりとスキのない戦いをしてくるだろう。」

き「強敵の予感です…」

口「ただ、パワーは重量級ほどじゃない。スマッシュや空中攻撃に当たらなければ、早期撃墜はされないはずだ。靈夢自身も軽めだから、逆にふつとばし返してやれば撃墜できるぞ。」

【きらら】

き「う、うそ…!? 私が、いる…!?

ラ「どうなつてるんですか!? まさか、変身魔法…」

き「ううん、違う。あつちも『コール』を使ってるし、何よりパスが私自身のものなの！」

ソ「そうね。こつちでも分析中だけど…データはきららそのものだわ。」

ラ「なにか違ひはないんですか!?」

き「服の色と…あと戦い方が違うような…」

ソ「そつか…本物のきららには、偽物にはない今までの経験がある

はずよ。頑張つて、きらら！」

き「分かりました。全力を尽くします!!」

【アリーナ】

き「ソラ様！あの活発そうな女の人は？」

ソ「アリーナよ。サントハイム王国のお姫様で、城の壁を蹴破つて旅に出るくらいおてんばな人よ。」

き「し、城の壁を蹴破る!? すごい強そうな人ですね…」

ソ「そうね。彼女自身が優秀な格闘家の上にスマッシュが時折『かいしんのいちげき』になるわ。」

き「かいしんの…?」

ソ「要するに、物凄く強くなるってこと。スマッシュを打ち込まれる隙はなるべく与えちゃ駄目よ。あつという間に勝負を逆転されるかもしれないわ！」

き「なるほど…わかりました！」

モンスター・ストライク編
モンスト×リコリス・リコイル『G h o s t
w e r e d』コラボ

ガチャ

火 ☆5 錦木千束にしきぎきちさと

水 ☆5 井ノ上たきな

木 ☆4 ミカ&中原ミズキ

光 ☆4 クルミ

闇 ☆5 八仙紫はちせんゆかり

イベントクエスト

火 ☆5 春川フキ&乙女サクラ

『急がば回れ』 ※常設

水 ☆5 サイレント・ジン

『ここまでは順調だ』

木 ☆4 姫蒲ひめがま

『覆水盆に返らず』

光 ☆4 吉松シンジ

『生まれか育ちか』

光 ☆5 狩崎紅熙朗かりさきこうたろう

『進化だけが才能を超越する』

※超究極

闇 ☆5 真島

『正反対の者同士は惹かれ合う』

闇 ☆6 バランスをとる戦争屋 真島

『リコリスの反動』

※超究極

【解説】

「サイレント・ジン」「姫蒲」「吉松シンジ」「真島」は道中ドロップ、ボスドロップ、クリア報酬・ノーコン報酬・ラック報酬によつて入手することができます。

「春川フキ＆乙女サクラ」はボスドロップによつてのみ入手できます。また、クエストにコラボ限定キャラを編成していくと、追加ドロップが出る可能性があります。また、1日1回クリアで7体ずつ入手することができます。

『進化だけが才能を超越する』は、コラボクエストをクリアすると稀に出現して挑戦することができるようになります。また、同クエストでは、「狩崎紅熙朗」がクリア報酬・ノーコン報酬・ラック報酬から必ずドロップしますキング・ブラッドレイやメルエム、獣の巨人ジークと同じ方式。

各クエストの初クリア報酬は、オーブ5個となつております。

火属性

☆6 電波塔の英雄 錦木千束

反射 バランス型 亜人族

超アンチ重力バリア／超アンチウインド／底力
ゲージ：アンチ転送壁／アンチブロッカ

S S：デトニクス45・不殺の弾丸【8+12ターン】

自身のスピード＆パワーがアップ＆停止後に非殺傷弾で攻撃ボイス

①「死なない程度にぶつとばす！」

②「いらつしやいませ！」

③「怒つても良いよ、泣いてもいい！だけど…独りにはなるな！」

友情コンボ：エナジーボール+全敵貫通ロックオン衝撃波

【解説】

S Sは残念ながら火力特化型ではない。ダメージの持ち越しによるゲージ飛ばしは可能だが、表面上にしか判定がないので弱点を拾いづらく、余程条件が良くないとワンパンは難しい。どちらかと言えば、自強化倍率や付属効果の敵攻撃ターン増加や防御力低下を活用するタイプである。

水属性

☆6 DAの狂犬 井ノ上たきな

反射 砲撃型 亜人族

超アンチダメージウォール／アンチワープ

ゲージ：アンチ減速壁／カウンターキラーM／SSターン短縮

SS：S&W ミリタリー&ポリス&PKM【16+8ターン】

自身のスピード＆パワーがアップ＆最初に触れた敵に銃撃し、更に機関銃で追い打ち

ボイス

- ①「千束を助けに来ました！」
- ②「次は眉間に撃ち込みますよ」
- ③「今すぐその薄汚い手を離しなさい！」

友情コンボ：超強スパークバレット＋超強スナイプマシンガン

【解説】

本コラボのワンパン粹その1。M&Pの射撃は割合、機関銃^P_{KM}は打撃倍率が乗るというやや特殊な計算式となつております、余程打撃倍率が低いクエストでなければ、弱点を拾いやすいためワンパンが容易である。

木属性

☆5 DA元教官 ミカ&DA元情報部 中原ミズキ

反射 スピード型 亜人族

超アンチ減速壁／超アンチワープ／アンチブロック／SSターン

チャージ

SS：大人の責務【16ターン】

自身のスピード＆パワーアップ＆触れた味方の攻撃力を一定期間アップ＆減速率を一定期間ダウン

ボイス

①ミズキ「ガキどものサポートは、大人の仕事でしょ！」ミカ「さあ、行つてらっしゃい」

②ミズキ「誰かあうつ！ここに変質者がいます!!」

③ミカ 「戦士は全てを見せないものだ。愛する者には、特にな」

友情コンボ：攻スピアップ

「解説」

本コラボにおいて、サポート特化のキヤラクター。攻撃力アップと減速率ダウンの割合はかなり高く、攻撃力1・8倍、減速率30%減となつていて。戦型によつて減速率が変わらないのもポイント。

光属性

☆5 最強ハツカーハウオールナット クルミ

貫通 砲撃型 亜人族

機鉱封じし／アンチ魔法陣／アンチ転送壁

ゲージ：超アンチ重力バリア／アンチブロツク

SS：ハツキング【16ターン】

スピードとパワーがアップ＆停止後に敵全体にハツキングを仕掛けるダメージ＋攻撃ターン遅延＋攻撃・防御ダウン

ボイス

①「ウォールナットに任せろ」

②「ボクの専門は電腦戦だぞ」

③「無知であることは嫌いなんだ」

友情コンボ：超強電撃

闇属性

☆6 死を呼ぶ幽霊 八仙紫

貫通 パワー型 亜人族

超マイインスイーパーM／アンチブロック／ステルスマード各

マップ開始時に一定ターン、ロックオン系の攻撃の対象にならなくなる。

ゲージ：アンチ転送壁／ファーストキラー／ダッシュユEL

SS：M19コンバットマグナム【20+4ターン】

自身のスピード＆パワーがアップ＆停止後に敵の弱点をマグナムで撃ち抜く

ボイス

① 「私に限つて言うなら、オートマよりこっちの方が強いんだ」

② 「私の救世主の：邪魔をするなツ！」

③ 「死を呼ぶ幽^{ホロゴト}靈^{スコト}はエモノを絶対に逃がさない：絶対にだ！」

友情コンボ：超強跳弾＋クロス分身弾

【解説】

本コラボのワンパン粹その2。追撃がボス必中なため扱いやすい。弱点を狙つて攻撃するため、弱点の存在しない敵にはダメージが伸び悩む一方で、弱点が強化されていたり全露出されていたりした場合には比類なき火力を叩きだすことが出来る。

魔法少女ルーラー

第一話：魔法少女大戦

物語は、一人の少女の夢から始まる。

そこでは、様々な姿をした魔法少女が戦っていた。

リボンが特徴的な少女。ゴシックでモノクロだがオシャレなデザインの少女。桃をモチーフとした姿で、魔力を両手に纏つて戦う少女。

だが……それら全ての魔法少女を圧倒する魔法少女がいた。襲いかくるリボンを難なく躱し、星型の魔法を跳ね返して宙を舞う魔法少女を撃ち落とし、拳の接近戦でも汗一つ流さず、すべてにカウンターを叩き込んで返り討ちにする。

やがて、戦いが終わると……立っていたのは、一人の魔法少女と、夢の主である筈の変身していない少女だけだった。

「……ルーラー……！」

夢は、変身していない方がそう呟く場面で終わる。

「……またあの夢……」

呟いたのは、夢を見ていた少女・青野凜あおのりん（演：斎藤恵那）だ。長い髪をした恵那——否、凜は突っ伏していたカウンターから起き上がり、先程の夢に思いを馳せようとしていた……が。

「ちょっと！寝てる場合!?」

「!？」

どう見ても不機嫌な客（演：スクライブの少女）に意識を叩き戻されてしまう。凜は察した。自身の店・『青空堂』へのクレームだと。

自身と母が経営する『青空堂』は、いわゆる画材屋と絵画販売を行っている。大通りから一つ奥へ入ったところに立地する隠れスポットとは裏腹に、閑古鳥が鳴いているわけでもなく、だが？ 盛はしておらず、ボチボチの客の入り具合だった。だが、最近になつて、凜の頭を悩ませる問題があつた。

「なによこの絵!! こんなのにお金を出せっていうの!?」「ちょっと描いてあげましようかーって言つてきて…!」

「それで任せたらコレかよ! 納得いかないわ!」

「前衛芸術って言われたほうが納得出来るくらいよ!!」

凜はまた頭を抱える。こんなトラブルを招くのはアイツしかいな
い、と。

「もしかして…唯彩ちゃん、ですか？」

「そうだ、そうだ!」

「酷いと思わないの!?」

「……うん、酷い。コレは酷すぎる!!!」

客が出してきた前衛芸術の絵（笑）を全て受け取り、『唯彩のダメ絵入れ!!』とある箱にブチ込むと、客の対応を母・たか子（演・町子リヨウ）に任せて走っていく。こんなクレームを招き入れた元凶の元へ。

凜曰く、

「（灯守唯彩。ちよつと前にフラット現れてうちに住み着いた変なヤツ。自分が何者なのか、なんの目的があるのか……）まだ喋らない！ しかもウチの店を出して変な絵ばっかり描く女！ 今日こそはとつちめてやる！」

——とのことだ。

⋮その頃。

一人の少女がスケッチブックに筆を走らせていた。

彼女こそ主人公・灯守唯彩。

演者はソルトだが、様相はかなり違う。ふわふわにウエーブがかかった髪はストレートに、かつ後ろでまとめポニーテールになつており、魔法かウイッグか不明だが特徴的な狸耳が見当たらない。また、服装もゆつたりとしたワンピースから一転、白地の半袖・薄い青ジーンズを身に着け、オレンジ色がベースのタータンチェックのスカーフを首に巻いていた。

「オイ!」

「！」

「こんなフザケた絵に金出せってのか？」

「こんな絵!!」

「言つたよなお前…『あなたの全てを描いてやる』つてな？ それがこのトンデモ油絵か!?」

そんな唯彩の元に、高圧的な声がかけられた。一人は恰幅が良いが厳つい顔つきにサングラスをかけた大柄な男。一人はその男の愛人と思われる女。もう一人は大柄な男の腰巾着だと思われる男だ。

3人が3人とも、カタギではなきそうだが、唯彩には覚えがあつた。自分が「貴方がたの全てを描きましよう」と声をかけ、描いてみたモデルの方々である。そして、3人が突き出してきた絵は、やはり前衛的すぎるほどに歪んでいた。

「ああ…またダメかあ…」

「ああん？ お前、ハナからマトモに描く気なかつたのかこの野郎!!」

失敗作の絵を見る唯彩に腰巾着の男が殴りかかる。唯彩はそれを見もせずに回避した。それを見たボスの男が唯彩に殴りかかるも、これも当たらない。ムキになつて一人がかりで再び掴みかかろうとするも、掴もうとした手は空振り、殴ろうとした拳もまた当たらない。きりがないと思つた男は、唯彩に尋ねた。

「……なんでこんな絵を描く？」

「上手く描けないからだ。私はこの世界の全てを描きたいと思つてる。だから、上手く描けるようになるまで描くのは当然でしょ？」

そして下書き途中のスケッチブックに向き直る。しかし……スケッチブックに描いた歪んだ風景から、謎の少女（演・神崎ひでり）が現れ、こう告げた。

「ルーラー。今日、貴方の世界が終わります」

「? ……ルーラー…?」

「? どうしたんだオメー」

そこにやつて来た凜が唯彩の耳の付け根に親指を突き刺して „笑

いのツボ』を刺激、凛が謝罪することでその場は上手く(?)収まつた。

「やめてよね、青リング。無理矢理笑わされるこっちの身にもなつてよ」

「あ・な・た・に・言われたくありません！　これに懲りたら、『青空堂』を広告するのをやめてください。」

「善処する——」

「……」(→無言の“笑いのツボ”用意)

「分かつた、分かつた!!」

いくら尊大かつ傲岸不遜な唯彩も、凛の笑いのツボにはタジタジだ。彼女は、ツボを押されることで無理矢理笑わされるのを嫌う。だが、凛がその手を使うのは唯彩が変な絵を客に売りつけるからであつて……要するに、自業自得だつた。

「唯彩。どうして、あんなへんな絵を描くんですか？」

「私はこの世界をありのまま描きたいだけよ。でも世界は私に描かれたがつてない。勝手に歪んじやうの」

「……え？」

「街も光も、自然も人も。私から逃げてく。……ここも、私の世界じゃあない」

「貴方の、世界？」

「私に描かれる資格を持つた世界つてこつた」

「……とにかく！　今後私達の店を代理店扱いしないでください！」

今までに無駄遣いした画材の費用やら立て替えたお金を合わせて

「……」

「成程。大体わかつた」

「大体じやなくつて!!」

そんな中、突然事態は急変する。

「……え？」

なんと、空から降ってきた壁か天井のようで、しかも水面のように揺らいでいるそれが……背の高い建物を押しつぶして破壊しだしたではないか。更に、破壊された建物の残骸の一片一片が、翼竜のような魔物に変化するオマケ付である。

そして、その壁のようなものは、唯彩と凜にも襲い掛かる。二人を分け隔てるように立ち塞がつた。

「唯彩ちゃん！ 唯彩ちゃん!!」

「凜――――!!」

二人はバラバラになつたお互いを心配するも、そんな余裕はない。なぜなら凜は多くの人々と合流できたものの、次々と景色や場所が変わる現象に見舞われたからだ。しかも、正体不明の魔物に襲われるというオマケ付きで。

「いやあああああ!!!」

凜は景色が次々と変化する中、逃げ続ける。共に逃げる人々の中には、逃げ遅れて怪人や怪物の手にかかり、命を奪われる人達の姿もあつた。それが余計に、恐怖心を煽る。

唯彩と再開するためにも、本能に掻き立てられるまま、凜は逃げ続けるしかなかつた。

一方唯彩は、再び現れた謎の少女と出会い、不可解な言葉をかけられた。

「ルーラー。今日がその日です。」

「お前は……！ うわっ！……危ないだろ！」

ビルが……否、街が頭上から降ってきて、地面に激突するという事態に混乱しながら少女に文句を言うも、少女はマイペースに話を続けた。

「……貴方のバツクルとメダルはどこです？」

「？ ゲーセンには行かない主義だ」

「世界を救うには、貴方の力が必要です」

バツクルもメダルも、身に覚えがない。唯彩が答えるが、少女は掴みどころのない事を告げながら、透けるように目の前から消えてしまった。

唯彩はわけのわからないまま、景色が切り替わっていくのを眺めているだけであった。

景色が次々変わる現象、人々を襲う魔物。殺されていく人間たち。パニックに陥りながらも逃げた先で、凛はあるものを見つける。

「これ……私の夢の！ どうして……？」

それは、夢で他の魔法少女を相手に無双していた魔法少女が身につけていたバツクルとケースだった。

「おい！ 青リンゴ！」

「！ 唯彩ちゃん!! 無事だつたんですね！」

「無事つて状況じゃないでしょこれ！」

壁を隔てて、再び唯彩と凛が合流する。

しかし、その安心もつかの間、脅威は訪れる。

「ひつ……！」

「おい！ 凜!! 凜!!!!」

凛の後ろに迫っていたのは、不気味な笑みを浮かべた、真っ黒い怪人だつた。更に二体、三体、四体と現れ、凛の逃げ場を無くす。

唯彩は壁を叩き壊して凛を助けようとするも、壁はまったく壊れる気配がない。全力のキックでも、全然効いていないようだ。

「こんな……こんなものなののか!! 世界が終わる日つてのは!!!」

そう叫ぶ唯彩だつたが……下ろした視界に入ってきた、凛の持つバツクルとケースを見て、思い出した。

「…………それか…………!!」

——貴方のバツクルとメダルはどうしたと、あの少女に言われたことに。

「おい、青リンゴ！そのメダルとバツクルをこっちに渡して！」

「ええつ!? でも……どうして…」

「いいから早く!! 世界を救つてやる！……多分」

凛からバツクルとケースを受け取つた唯彩は、右腕にバツクルを巻きつける。

そしてケースから一枚のメダルを取り出した。メダルには、9つのメダルのデザインと共に、『RULER』とアルファベットが刻まれている。

それを手に持つと、唯彩は叫んだ。人々を理不尽な悪から守るために、あの言葉を。

「変身！」

【M_マA_ジG_カI_ルC_アA_ルG_ガI_ルR_ル】

メダルをバツクルに入れると、女の子が好みそうなカワイイ電子音声がなる。迷う暇はない、と唯彩はバツクルを閉じた。

【R_ルU_ラL_エE_ラR】

瞬間、8つの人影が唯彩に集まり、彼女の服装に変化をもたらした。半袖・ジーンズ・スカーフの姿から一転、スカイブルーを基調とし、フリルやリボン、桔梗の花飾りが目立つコスチュームに身を包む。髪型はポニーテールが解け、ウエーブがかつた長髪になり。髪色も、変身前の薄い青色が、変身したら濃くなっている。

そして、先ほどまでヒビすら入らなかつた壁が、いとも簡単に砕け散つた。

これが——『魔法少女ルーラー』。世界を旅して、世界を救う使命を持った魔法少女である!!

変身を終えたルーラーは、素早く怪人に近づき凜を害そうとする者から殴りかかって、凜を救いだしている。

凜を解放されて不利を悟った怪人が逃げ出そうとするも、ルーラーは逃がすまいと二枚目のメダルを取り出した。そして迷いなく選んだそれを何の躊躇いもなくバツクルに入れる。

「ちよこまかと……！」

【M^マA^ジG^カI^ルC^ガA^ルL^ル G^ガI^リR^ルL】

【F^フR^リI^ルL^ル】

すると、先ほどまでルーラーだつた唯彩の姿形が、大きな赤いリボンに包まれて変わっていくではないか！

長い黒髪に大きなリボン、へそ出しのコスチューム、白・赤・ピンクがバランス良く映えたデザイン……先ほどまでとは全くの別人に変身したのだ。

変身した姿の名は魔法少女フリル。こことは違う世界でレースという少女が変身するこの魔法少女は、人々のファッショントの平和を守るリボンの戦士だ。

そして、続けて銀縁の青いメダルをバツクルに挿し込んでフリルの武器を構えたルーラーは。

【A^アT^タT^タA^クC^クK^ク M^マA^ジG^カI^ルC^ガ】

【F^フL^レA^{イム}M^エE^リR^リI^リB^ボB^ボO^ンN】

「ハアッ！ セヤッ!!」

「「「ぎやあアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア!!!」」

伸びた炎上するリボンを新体操選手のように振るい、怪人達に当てていく。鞭のようにしなつたりボンと炎を受け、爆発する怪人達。

攻撃を終えると、バツクルからメダルが飛び出し、色を失っていく。それに伴い、フリルだつた姿も元のルーラーの姿に戻った。灰色になってしまったメダルを手にした唯彩は、ただ戸惑っていた。

「なんで私、いまこのメダル選んだ……？」

そう。たった今怪人達を倒した姿に変身したメダルを選んだ理由が、唯彩には分からなかつたのだ。当然、さつきまで凛を襲つていた怪人の事は知らない。だが、戦闘中に何となく、唯彩——ルーラーはこう思つたのだ。

……『あの怪人達には、この力だ』と。

「ルーラー……！」

「おい、なんでその名前知つてんのよ」

「……一体、何処に行けば……？」

「帰るんだよ。ウチへ」

そう言いながら、どこからともなくバスを模したスクーターを呼び出し、エンジンを回すルーラー。凛は唯彩が夢に見た魔法少女になつた事に未だ納得がいかないが、世界崩壊中の今は、家に帰るしか手は残つていなかつた。

ルーラーの姿のまま、唯彩は凛をバスを模したスクーターに乗せ、『青空堂』に帰ろうとする。しかし……その途中に、また別の怪人達が後ろに乗つっていた凛をスクーターから落とし、攫おうとする。

「きやあ!？」

「おい、大丈夫、凛?」

『ヴァアアア……！』

『グルルル……！』

「ひつ……！ 嫌、来ないで!!」

「チツ、またか！」

〔MアAジGイIカCアLル〕
〔MムOンOレNンRアAンNジEヤR〕

再び、ルーラーが別のメダルをバツクルにはめて変身する。

今度は、紫がメインの露出の少ないウイットデザイン。月のエンブレムや白のフリルこそ見受けられるが、よりスタンダードなデザインだ。

ルーラー本人の顔付きもより勝ち気なものに変わり、髪色も青から金色に変化した。

この姿の名は魔法少女ムーンレンジャー。これもまた別世界に住もう、絶望から人々を守る魔法少女である。

【A T T A C K M A G I C】

【R E Q U I E M S H O O T】

「そこだああ!!」

「「「ぐわああああ!!!!」」

杖を誘拐犯の怪人に向けると、杖先が分身して複数のビームが放たれた。

ビームが命中した怪人達は、「たまらん…」などとのたまいながら、紫色の光に包まれて消滅した。

だが、安心できない。今度は崩壊した都市のガレキの中から、グロテスクで見るものを不安にさせるデザインの怪物が現れ、生き残りの人間達に遅いかからうとしている。また、空を飛ぶ怪物の個体も現れ始め、逃げ惑う人間をつけ狙う。

だから、ルーラーは再びメダルをバッклに入れる。

【M A G I C A L G I R L】

【M A D O K A】

【A T T A C K M A G I C】

【S H I N I N G A R R O W】

今度は桜色と白のパステルカラーを基調とした、ツインテールの魔法少女・まどかの姿となつたルーラー。

そのまま花のつぼみがついた木の枝のような弓をどこからともなく取り出して、光の矢を放つた。矢は一本残らず、怪物達を追尾していく貫き、爆散させていく。

「(どうして……?)」

自身が見知らぬ怪物達相手に慣れた手付きで次々と撃破していく

さまを見た唯彩は、戸惑いながらも、確信した。

「（私は、戦い方を知っている……しかも、一度や二度じゃない、常に戦場に身を置いてるヤツの戦い方だ……!!）」

最後の怪物を撃ち落とすのを確認すると、ルーラーの姿は元の唯彩のそれになる。同時にバッカルからメダルが飛び出し、「M A D O K A」と描かれたメダルからまた色が消え、灰色になってしまった。

「なんでだ…？」

「何がですか？」

「どうしてか、力が長続きしない…！」

「それは、かつて貴方がすべてを失ったからですよ、ルーラー」

「!!」

凛と唯彩が『青空堂』へ歩みを進める中交わした会話に、再び謎の少女が介入してきた。かと思えば、都市を巻き込む大爆発が起き——そして、場面は宇宙空間のような場所に変わる。

だが、地球のような青と緑の惑星が8個も見えるのは一体どういう事なのか。そう思つていると、唯彩がスケッチブックで見た、謎の少女の姿が現れる。

「お前……！」

「まだ、少しばかり時間があります」

「私が、世界を救えるって言つたよね？」

「ええ。すごい光景ですね。……なにか、思い出しましたか？」

「いや。戦い方だけよ。……ところで、アレらは何？ 地球が8つあるように見えるけど」

「全部地球ですよ。コレは、魔法少女を筆頭とした、特別な戦士が8人、生まれたことでできた8つの地球。それらは独立した別々の物語。ですが今…物語が融合し、世界が一つになろうとしています。やがて……全ての世界が消滅します」

「…………」

「ルーラー。貴方は、8つの世界を旅しなければなりません。それが

世界を救う、たつた一つの方法です」

「……なぜ私？」

「貴方は全ての魔法少女を統べる者だからです。魔法も、時空も、世界も……それが統治者ですからねえ。」

要領を得ない答えを言いながら消えていく謎の少女。「貴方が旅を終えるまで、私と、私の仲間がこの世界を生きながらえさせておきます」と告げて、場面は転換する。そこは、爆風も逃げ惑う人も何もないが時間を止めたかのように静止した……唯彩と凜のよく知る『青空堂』の前の通りだつた。

「つまり……貴方が世界を救うんですね？」
「まあ……そういうことらしいよ？ 8つの世界か……描いてみるかもしかしたら……」

「わかりました。行きましょう」

「なーんで青リンゴまで行くんだよ！」

「唯彩ちゃん、アテになりませんから。それに……（もしあの夢が、夢じやなかつたら…いつか、唯彩ちゃんも……）

「…？」

「それに！ 唯彩ちゃん、この機会に借金を踏み倒すかもしれないのです！」

唯彩と凜は、世界を救うたびに出なければならないことが分かつたようだ。凜は唯彩が自身の夢の通り、他の魔法少女を全て薙ぎ倒していく未来が当たるかもしれないという不安はあつたが、それを借金の踏み倒しで誤魔化した。

「…それで、どうやつて他の世界に行くんですか？」

「知らない」

「はあつ!? し、知らないって…………！」

「アソッ、肝心な事を言わないのでいつたな…」

「唯彩ちゃんが聞かなかつたのが悪いんでしょう！」

しかし、ここで問題発生だ。誰も、「他の世界へ行く方法」が分からぬ。これではあの謎の少女が唯彩たちの世界を生きながらえさせた意味がなくなってしまうではないか。

肝心なことを言わなかつたあの少女にいら立ちを覚える唯彩と、方法を聞かなかつたのが悪いという凛をよそに、人の身長を優に超えるキヤンバスを引っ張り出した凛の母・たか子が二人を諭すように話に割り込んだ。

「人はみんな、旅人ですよ。……あら？　おや？」

そこで、たか子含めた『青空堂』の三人は、気づいた。

その大きなキヤンバスに、見覚えのない風景画が描かれていたことを。そしてそれが、光っていることを。

その絵は、川沿いの絵だった。川の他には、ベッドタウンらしきニュータウンが描かれており、遠近法を使つて川が奥から手前に流れているのがわかる。川の側に小さく描かれていた看板から、かるうじて「多魔川」という名前は読み取ることができた。

「これって…………!!」

「あ、唯彩ちゃん!?」

唯彩はすぐさま『青空堂』を飛び出した。

するとどうだろう。なんと、扉を開けた先の光景が全く別のものになつてているではないか。

隠れスポット的な場所に建つっていたはずの『青空堂』が、大通りに面していたのだ！　しかも、街並みがさつきのキヤンバスに描かれたニュータウンに似ている気がした。

しかも、変化はそれだけではない。

『——警邏中の各移動に連絡。たま二丁目の南倉庫にて、まぞくの出現を確認。事件現状の指揮は——』

「な、なにこれ…？」

それは、唯彩の格好だ。半袖・ジーンズ・スカーフの格好だった筈なのに、今は警察官の……いわゆる女性警官や婦警の格好になつている。

大通りをパトカーがサイレンを鳴らしながら走つて行く中、唯彩は察した。

「——『まちカドまぞく』の、世界……か……」

○ ● ○

——その頃、まぞくが出現したというたま二丁目倉庫にて。

「麗花！下がつていてください！」

「ええ…お願いね、美晴！」

「美晴よ、時は来た」

「はい——変身!!」

美晴と呼ばれた、小柄な少女が麗花と呼ばれたスレンダーな少女を守るために、魔法少女に姿を変える。

美晴の私服は、虹色に光つた後、弾けるように魔法少女のドレスに変化して、ロングの髪の毛もツインテールにまとまつた。

「行くぞまぞく！」

「ジャラグスバ、ラゾグギョグジョ！」

そして、現れた異形の魔族との戦いを始めた。

美晴の変身した魔法少女の名はフレッショピーチ。喋る猫の姿をした光の一族・メタトロンと契約を交わして変身する、聖なる魔法少女である!!

To
Be
Con
tin
ued
...